

工業—電氣瓦斯

(OKW) 増設設計新案(一四、〇〇〇KW)地... (一四、〇〇〇KW) 増設設計新案(一四、〇〇〇KW)地... (一四、〇〇〇KW) 増設設計新案(一四、〇〇〇KW)地...

▲投資状況

Table with 2 columns: 投資先 (Investment Target) and 投資額 (Investment Amount). Lists various companies and their respective investment amounts.

瓦新事業

瓦新事業が開始されたのは後進新... 昭和十三年三月... 瓦新製造を開始し、次で鞍山、奉天、安東... 瓦新製造を開始し、次で鞍山、奉天、安東...

瓦新製造及供給状況

Table with 4 columns: 年度 (Year), 瓦新製造 (瓦新製造), 供給 (供給), 消費 (消費). Shows production and supply/consumption trends.

会社として滿鐵から分離し、昭和十年十二... 月五日未納込金七十萬圓を徴収し全額拂... 込となつた。同時に滿鐵關係会社開放の先... 鋒として株式總數二十萬株の内十萬株の開... 放を見た。分離當時作業所時代の興業費を... 八百二十九萬圓で繼承し、爾來年相當の投... 資を續け、一面その基礎を確實ならしめる... ために安産の設備償却に努め、爾後十一箇... 年間に三百十五萬圓を之に充當し、現在で... は興業費は九百四十六萬圓となつて居る、... 利益配當は分離以來、昭和二年上半期まで... 五分、同下半年から一分減の四分、昭和七... 年下半期五分に増進、更に昭和九年度上半... 期六分、同下半年七分、同十年上期下期は... 八分を配當し今日に至る。

三〇七



移民

邦人移民

事變前の概況

事變前の邦人農民移民は除隊兵移民、愛... 川村移民、大連農事會社移民の三つである... 除隊兵移民 大正三年より同六年に互り... 滿鐵は鐵道守備隊除隊兵中より農業に従事... して滿洲に定住せんとする者を滿鐵附屬地... に收容し四箇年に於ける收容者は合計三十... 四戸を數へた。土地の貸付、農舎の建築、... 農具の購入、經營の指導等あらゆる便宜を... 與へたが成績上らず昭和八年の殘留者は十... 七戸を算するに止つた。

金州愛川村

大正三年、當時の關東都督... 福島大將の案に依つて長野縣その他よりの... 移民を集め、専ら水田を主眼として經營し... てきたもので灌水不足、米價暴落等によつ... て幾多の辛苦に遭つたが、關東州廳では... 徹底的更生策を慎重研究の結果、十年六月... 關東局の認可を得て水田四十町歩、畑地六...

移民—邦人移民

十町歩時價約十萬圓の官有地を無償譲渡し... た。愛川村の移民たちは田畑三分の一を大... 連農事會社と金州農會に賣却し負債を一氣... に返済する事となり、目下更生途上へと邁... 進してゐる。

大連農事會社 昭和四年四月の設立にか... らる資本一千萬圓(半額拂込)滿鐵の全株所... 有傍系會社で、本社を大連市に置き専ら自... 作農の創定を主眼とし、昭和五年より移民... の招來を開始した。現在迄に買収した土地... は關東州内に於て四、五二七町歩で、移住契... 約を了り入地せる農家は六五戸(五三四町... 歩)外に一年契約による移住者五戸あり總... 計七十戸であるが成績は第一回移民... を入れたのみで移民募集を中止した。

Table with 4 columns: 年度 (Year), 戸数 (Number of Households), 人口 (Population). Shows migration statistics for various years.

Table with 4 columns: 年度 (Year), 戸数 (Number of Households), 人口 (Population), 備考 (Remarks). Shows migration statistics for various years.

三〇七

事變後移民計畫

移民部創設 昭和八年二月關東軍特務部内に參謀部、特務部、大使館、總領事館、拓務省、朝鮮總督府、關東廳、滿鐵を打つて一丸とした移民部を編成し、滿洲日本人移民事業の中心的統制機關とした。

新設移民會議 しかし移民問題は永く放置するわけに行かぬので更に不動の根本案を確立すべく昭和九年特務部は新設の移民會議を開いた。

使館、朝鮮總督府の關係者ら五十名出席し大農法小農法か、企業農か自作農かについて激論が闘はされたが機械を用ひざる自作農法によるべしとの説が多数を占めた。

拓務省の特別の農業移民は大規模の本格的農業移民を行ふまでの試験移民で最初武裝軍を入植したので自衛移民又は武裝移民を稱される。

自衛移民

昭和七年、八年に各五百名、昭和九年、十年に各三百名、計千六百名の

入植を見たが、何分最初の試みで幾多の豫期せざる困難に逢着した上に賑々匪賊の害を蒙り、除名、脱退者等も少くなかつたが、移民團全體としては堅忍不拔、大體に於いて當初の目的たる滿洲邦農移民の實驗的役割を果した。

Table with 2 columns: 種別 (Category) and 人数 (Number of people). Rows include 計 (Total), 共同浴場, 共同洗濯場, 共同設備, 第一次移民, 第二次移民, 第三次移民, 第四次移民, 第五次移民.

後援で東京深川天昭園の失業業者中より選抜し關東州内大房身に於いて實習せしめた後邦人自由移民の魁として昭和八年三月通過縣護家店の南方にある東亞勸業の所有地に小作人として入植せしめた。

民地の第二世生誕するもの多く、八月十五日現在在籍員五百六十三名に達し、基礎いよいよ堅實を加へた。

第二次移民

昭和八年六月第一次移民募集地域のほか東京、千葉、埼玉、山梨、神奈川、富山、石川、福井を加へた一府十八縣下より五百名を厳選し、第一次移民團の入植地たる永豐鎮の南方約十里の七虎力に七月下旬入植した。

第三次移民

第一、第二拓殖訓練所並に日本國民高等學校で長期訓練を受けたもの五十名と、山形、福島、宮城、長野、山梨、新潟の六縣の他に新に岐阜、鳥取、島根、高知、廣島、山口、福岡、佐賀、熊本および鹿児島十縣を加へ合計十六縣から詮衡し募集範圍も全国的となつた上に資格も必ずしも既教育在籍軍人たるを要せず、年齢も三十五歳以下とし特に適任者たる場合は四十歳まで引上げ著しく武裝移民の面影がなくなり一行二五九名は昭和九年十月濱北線克晉河原に近き濱江省松柳縣北大溝に入植し

移民—邦人移民

た(残り五十名は昭和十年三月に入植)移住者は九年度の冬營中宿舎の新築、薪炭の採集耕作準備をなし、十年度は畑作二〇町歩水田五〇町歩、計二七〇町歩の播種を行つた。第三次移民は第一次第二次移民の苦き經驗に鑑み極めて入念に準備し且つ移民の訓練も十分だったこと、移民地が交通の便よく匪賊の危険少きこと等より第一年度より非常に好調である。

第四次移民

昭和十年度北滿穆稜河の上流たる密山縣哈達河及び城子河に五百戸を移住せしめた。全國より募集しその條件も在籍軍人に限らず農業經驗者より選びこれを盛岡および支部の訓練所に於いて訓練した。先遣隊三十四名は林口に赴き同地より入植地に入つたが本隊は昭和十一年二月來滿。なほ永豐鎮にて訓練中の呼寄移民たる青少年三十名も一般移民として第四次移民地に收容した。

第五次移民

十一年度全国的に千戸を募集、濱江省密山縣朝陽屯、連珠山及錢察に入植させたが先遣隊は六月入植し本隊は十二年春入植の準備を進めてゐる。

自由移民

天昭園 天昭園は俗にいふルンペン移民團で昭和七年三月東京市社會局、關東廳の

天理教村 天理教團青年會が哈爾濱郊外阿什河の東亞勸業實收地を譲り受け天理教旨による移民農村を建設せんとするもので昭和九年十一月第一回移住者として四三戸二〇五人を入植せしめ十年度は東北地方より更に二五戸を補ひ耕作着手した。同移住地は小學校、醫務室、映畫映寫設備、電信電話、電燈設備等を有し、警備には領事館警察分署の保護を受けるなど、哈爾濱の郊外だけに諸種の施設早くも緒につき宗教移民團としてその成績注目されてゐる。

東京移民村

東京市では無料宿泊所に居る自由労働者中から優秀なるものを選抜して哈爾濱郊外志士の碑附近に東京移民村を造ることとなりその第一次移民團四十三名は多摩川べりの市營農場で一年間訓練された後昭和十年五月現地に入植した。

大量移民計畫

日本政府は拓務省の第四

移民——邦人移民

次までの移民の實踐と現地側の要望とによつて所謂試驗移民時代は過ぎたものとなし大衆移民計畫を樹立することになり十年秋「滿洲移民に關する根本方策」に就き海外拓殖委員會に提問した所次の如く答申された一、試驗移民の實踐を多量に相當數量の集團的移民送迎の途を速かに計る等

滿洲拓殖會社

滿洲拓殖株式會社は十年十二月十二日附勅令を以て公布せられた滿洲拓殖株式會社法に遵據して十一年一月設立せられた滿洲國法人たる特殊會社で、資本一千五百萬圓、株式額九百萬圓、滿洲國政府・滿鐵・三井・三菱の出席によつて同月二十三日東京に於て創立總會を開催した。言ふまでもなく同社は吾が對滿國家の擔當者として生れ出たのであるが、一方滿洲國としては拓殖司の官明の如く「本會社の内容は會社法によりて明なる如く滿洲國政府としては日滿兩國の

密接不可分の關係より先進者たる日本移民の來渡により農業を中心とせる國家經濟の基本を確立するためその移住を奨励した。在來農法の改善荒蕪地の開發を圖り國力を充實し日滿關係の基礎を穩固ならしむべき見地より設立せらるるものである。従つて國策會社たる「本會社の監督は民政部大臣の管掌する所にして從來各國に於ける移民事業關係會社を觀るに殆んど帝國主義遂行の機械化して全く營利事業として營せらるるもの多きを本會社は日滿關係の樹立たる移民事業の開發助成なる發展の助成をその目標とするものなるが故に國家の監督もかかる立場に於て之を行ふべきである。

滿洲拓殖の移民計畫

先づ北滿の荒蕪地百五十町歩に大衆の移民を入植せしむる事と大要次の事業計畫を立てた。即ち荒蕪地百五十町歩の内移民に分配し得べき面積は約八十萬町歩と推定せられるが移民一戸當り二十町歩を分算すれば三萬八千戸の入植が可能である。また之が當に荒蕪地内の先住滿鮮人の殆んど全部を立退かせる事は民族協和の精神に反するのみでなく、日本移民もために墾殖努力の不足等の不便が少くないとの見通しから、適當に滿鮮人部落を殘置する事とし、分譲可能面積約八十萬町歩中の四十萬町歩を日本移民に充當し、殘餘の約

四十萬町歩に滿鮮人の小作農を入れる事とし日本移民の入植を左の如くに豫想した。

Table with 2 columns: Year (Year 1-10), Number of households (5000, 9000, 15000, 18000, 21000, 24000, 27000, 30000, 33000, 36000). Total: 200,000 households.

百萬戶移住計畫

關東軍、滿洲國、滿鐵、滿拓等各機關は十年度國々移民會議を開き所謂大衆移民計畫を決定したが豫算十八億圓を要し二十年間に百萬戶、五百萬人を北滿洲に入植せしめやうと云ふのである。八月十三日の拓殖省建議書では「滿洲移民二十年間百萬戶五百萬人移住計程を年度五萬人

(一萬戶)移住に要する經費」として九百萬圓を計上した。

- 一、日 滿洲に對する内地人農業移民は概ね二十箇年間に約百萬戶(五百萬人)を目標として入植せしむるものとす
二、移民要員 移民要員は日本内地に於ける農漁山村の状態都市失業者の状態などを考慮の上思想感實身體健全なる者より之を選定するものとす
三、移民要地 移民要地の豫定地及びその面積概ね次の如し
1 三江省地帯 三百萬町歩
2 小興安嶺南端地帯 二百萬町歩
3 チチハル北、松花江上流地帯 二百萬町歩
4 鴨河愛輝地帯 五十萬町歩
5 濱州嶺地帯 二十萬町歩
6 京圖嶺及び拉濱嶺地帯 八十萬町歩
7 大興嶺地帯 五十萬町歩
8 遼河下流地帯 五十萬町歩
9 沈陽嶺地帯 五十萬町歩
10 三河地帯 五十萬町歩
11 西遼河上流地帯 一千萬町歩
計 一、一〇〇萬町歩
四、移民の區分 移民は之を區別して政府の補助厚くそれの直接取扱にかかる移民(甲種移民)と政府の補助薄く主として民間によりて行はるる移民(乙種移民)との二種となす
五、移民の入植 1 甲種移民と乙種移民との配置は移民地の状態農

移民——鮮農移民

經營の狀態によりて異なるべきも原則として甲種移民を要所に配し乙種移民の入植を容易ならしむるものとす
2 移民は便宜上五箇年を一期とし甲種移民と乙種移民とを適當の比率の下に概ね次の如くに入植せしむるものと豫定す
第一期 十萬戸
第二期 二十萬戸
第三期 三十萬戸
第四期 四十萬戸
計 一百萬戸

六、移民の助成

- 1 政府は甲種移民に對しては渡航費農具家屋及び土地購入の大抵一戸當り概ね一十萬圓以内の補助をなすものとす右補助額は成し得る限り逐次之を減するに務めるものとす
2 政府は乙種移民に對し渡航費土地購入の大抵一戸當り概ね三萬圓以内の補助をなすものとす乙種移民に對しては右政府の補助の外成し得る限り民間よりの補助を促進する様に考慮するものとす
3 滿洲拓殖株式會社は移民に對して低利資金の融通をなすものとす
第一期計畫 右の入植計畫第一期十萬戸入植豫定を更に細別し第一期第一年移民豫定を現地側では次の如く決定した。
一、萬戶入植豫定
(一)移民は區別して甲種移民(官行移民)と乙種移民(自由移民)とし、甲種移民を細別して若幹移民と一般移民とする
二、入植内額
甲種 移 民 七千戸

鮮農移民

沿革 (社會事業在滿鮮人の現状参照) 明確な數字ではないが事變前までに六、七十萬人の鮮人が滿洲に移住してゐた。彼等は支那人の不得手とする水田經營に熟達してゐたので多く水邊に據つて水田を拓き滿洲の米作が今日の發達を見たのはその功績による。然るに支那側では水田經營の有利を見て壓迫を加へ事變前の在滿鮮農は悲慘な地位にあつた。滿洲事變勃發の重要な誘因の一に數へられてゐる萬寶山事件の如

移民—鮮農移民

きも鮮支農衝突の好例である。事變後、朝鮮國內の人口過剰と生活難の自然的状態は、彼等を滿洲へ滿洲へと驅り立ててゐる現状なのでその統制と秩序ある發展をなさしむる對策は急務とされ朝鮮總督府では朝鮮の特殊事情に鑑み拓務省とは別個に昭和十一年より向ふ十箇年乃至十一年の編制事業として經費約五千萬圓を計上して鮮農の北滿移民を企て、又滿洲事變當時兵匪のため生活手段を奪はれた鮮農に對して總督府が資金の一部を支出して安全農村を設定し東亞勸業會社として經營せしむる。しかしこのみでは不十分なので鮮農滿洲移民のための特殊會社として鮮拓殖會社及滿鮮拓殖會社の設立を見た。在滿鮮人増加状況及び在滿鮮人分布状況については社會の部在滿鮮人の現況参照。

各省別鮮人經營水田面積及現收穫

Table showing the area of water fields operated by Koreans in various provinces and the current harvest. Columns include province names (e.g., 天、江、東、安、三、關、興) and numerical values for area and harvest.

Table titled '昭和十一年度安全農村設定計畫一覽表' (List of safety rural settlement plans for 1916). It lists settlement locations (e.g., 青、土、山、山、子、山、子、山、子) and associated statistics.

協力を得て左の四箇所に安全農村を設立、所用資金の三分の一を總督府より東亞勸業會社に補助して同社をして建設並に經營に當らせしむる。

本農村は昭和八年三月設立されたもので、教育戸數は先住者を加へて現在八五二戸、昭和十年春には定額の一千戸に達し實收戸數は二千歩、水田一戸につき二町歩を算定し、その。

集團部落 事變後兵匪の難を避けて間島琿春内商埠地その他安全地帯に移動して来た奥地在住鮮人中より選抜して集團部落を建設し隣邊を容易ならしめると共に生活の安定を圖り漸次自作農たらしめ將來國産農村たらしめんとするもので經營の主體は朝鮮人民會で總督府及領事館が監督指揮に當り創設費九萬六千圓を以て昭和八年九月第一次集團部落を建設した。然るに右の第一次集團部落建設の地方治安に及ぼした効果は大きかつたので關東軍では第二次建設を提唱し九年度總督府と協議の結果、經費十三萬三千圓を以て十六箇部落を建設、十年三月には更に九萬五千七百六十二圓の豫算で第三次の部落建設を行った。十年末現在の集團部落所在地の情況を示せば次の如くである。

Table titled '集團部落所在地' (Locations of group settlements). It lists settlement names (e.g., 北、太、仲、春、興、村、同、村、同、村、同) and their respective populations.

集團部落所在地 (續)

Continuation of the table for group settlements, listing locations like 石、塔、豐、太、五、牡、小、牛、龍、臥、石、倒、士、金、青、土、山、山、子、山、子、山、子 and their details.

呂榮實氏、關東軍糧垣顧問、竹下第三課長、秋水中佐、滿洲國側松田企劃部長、森重拓政司長等の設立委員および二宮治重氏以下全株主出席役員は左の如く決定した。

移民—鮮農移民

移民—鮮農移民

の使命遂行の嚆は鮮人と滿人との民族的軋...

第一章 總則

第一條 本公司は建德三年勅令第九十七號により設立...

第二章 株式

第七條 本公司の資本は之を三十萬株に分ち一株式の...

第三章 株主總會

第十七條 株主總會は定時及臨時の二種とし定時株主...

第四章 役員

第二十三條 本公司に理事長一人理事五人以内及び監...

第五章 計算

第二十九條 本公司の營業年度は毎年一月一日に始ま...

三三四

第三十二條 利益金の配當は毎營業年度末現在の株主...

附則

第三十三條 本公司の設立費用は五萬圓を限度とし...

Table with columns for names and amounts: 十萬株, 十萬株, 十萬株, etc.

交通・通信

鐵道

滿洲の鐵道

近代滿洲の生みの親たる鐵道で滿洲に最初に敷設せられたものは、北清鐵道(現在の北家鐵道)の關外延長線と東清鐵道とであつて、この二鐵道が時を同うして一九〇三年(明治三十六年)に完成せられた。英國はこの北清鐵道を關外に延長し、更に之を吉林琿春方面に結ぶ事によつて滿洲を東西に貫通する一大幹線たらしめんと企てたが、露國の南下勢力と衝突せんとする兆を來してその野望を擯棄した。而して一方露帝政露國の滿洲進出は、一八九六年の「露清銀行組合に關する露支協定」によつて、東清鐵道敷設權獲得を契機として判然と現れはじめたが、然し一九〇四年日露戰爭の結果露國の滿洲經營は退却の第一歩に入り、實城子以南の鐵道本支線及其の附帶事業一切は日本が繼承することとなり、其の



經營の爲に明治四十年四月一日滿鐵の設立を見るに至つた。

爾來三十年間日露兩國は南北滿洲に對峙し日露支三國の微妙なる外交の觸角がこゝに入亂れ、更に一九二五年以降支那の利權回收熱と自國自備鐵道敷設熱が擡頭してか一層この關係は複雑となり、しかも支那側の不當な日本に對する權益蹂躪による滿鐵の壓迫は、日外交の禍根となつた。觀が、滿洲の前途に大きな暗影を投げかけてゐたが、一九三一年九月十八日、滿洲事變の勃發、引きつゞき三年三月滿洲國が創設せられるに及んでこの暗影は完全に掃きさらへられ一九三三年三月滿洲國の鐵道が滿鐵の委託經營となると共に、過去に於ける日外交の禍根であつた滿洲の鐵道問題は決定的解決を見た。續いてコシヤとの間に滿鐵交渉中であつた北滿鐵路一七二一軒も日滿蘇三國間に於て約一年半に亘る折衝の結果滿洲國は一億七千萬圓を以て買収することに決定、一九三五年三月二十三日

交通・通信—鐵道

交通・通信 鐵道

方針に對し僅かに〇・七軒弱の延長を有するに過ぎず英國の一四軒、日本内地の五軒に比すべくもない。然し乍ら滿洲鐵道の過去を顧みて、軍事的並びに政治的鐵道の敷設を以て開卷された鐵道史が爾來三十年常軌に多分に同じ傾向を以て進んで来たことを觀察する。滿洲の鐵道は東清京奉兩鐵道の開通當時三千七百軒でその後三十年間に倍加したのであるが初の二十年間は一年平均延長六十軒、後の十年間は平均三百軒以上を增加して居る。滿洲事變後五年間に新設された鐵道は四千軒餘に上り一年平均八百軒も増加し建設のスピードは世界を驚かすものがある。而も將來十年を出でずして少くとも四、五千軒の新線建設を見るべく滿洲國は二萬五千軒の鐵道敷設を理想として居り將來の滿洲鐵道網は飛躍的發展を期待されてゐる。

面積百平方軒に對する各國鐵道延長

日本	〇・七軒	英國	一・四軒
滿洲	〇・七軒	佛國	一・七軒
日支	〇・六軒	獨逸	一・四軒
支那	〇・七軒	美國	一・七軒
總計	〇・七軒	蘇俄	一・三六軒

人口一萬人に對する各國鐵道延長

日本	〇・二軒	英國	一・二四軒
----	------	----	-------

滿洲	二七軒	佛國	一〇・三軒
日本	三四軒	獨逸	一五・四軒
支那	五・二軒	美國	三二・九軒
日支	四九・五軒		

南滿洲鐵道株式會社

會社の設立 南滿洲鐵道株式會社は明治四十年四月一日にその業務を開始したが、これに先立ち明治三十八年九月五日ポーツマスに於て締結された日露講和條約第六條に據り、日本は東清鐵道の南部線中、長春(新京)、旅順間の鐵道及びその一切の支線、並びにこれに屬する一切の權利、特權、財産及び炭坑等を露國から譲渡されたため、政府は直ちにこの鐵道及び一切の附帯事業の經營準備に着手し、翌三十九年六月には會社設立に關する勅令が發せられ、設立委員の任命を見て設立事務の管理に關する命令書が交付され、定款の認可を得て會社の幹部が任命され、會社設立の認可を受けたが、同年十一月二十六日會社の創立總會を開き、同月二十七日一旦會社を東京に置いて、設立委員長から一切の事務と財産目録とを引継ぎ、翌十二月七日設立の登記を完了し、同時に鐵道現地に於ては軍後以下の赴任と共に、附帯事業の準備を進め、その翌四月一日には野鐵鐵道提理部その他の官憲から鐵道その他一切の引繼を

受け、本社を大連に移し支社を東京に置いて、前記の通り業務を開始することになった。

資本及び株式 會社設立當初に於ける資本金は二億圓であつた。而して其の半額は政府出資財産を以て充て、残りの一億圓を株式とし日清兩國人民間に募集せんとした。が、清國政府はこの手續を執らなかつたため、止むなく我國民間に募集株の全部を引受させることとし、明治三十九年より大正六年まで前後三回に互つて募集を行った。次に大正九年四月資本金を四億四千萬圓に、更に昭和八年三月に八億圓に増資したが、雙方共依然半額政府半額民間の方針を執つてゐる。

左に昭和十一年三月末現在資本及び株式を示せば

資本金總額	千六百萬株	八億圓
日本政府持株	八百萬株	四億圓
一般募集株	八百萬株	四億圓
▲その内		
舊株	二百四十萬株	一億二千萬圓
新株	二百萬株	一億圓
第二新株	三百六十萬株	一億八千萬圓
計	八百萬株	四億圓

▲拂込済株金 一億圓
▲政府持株 外債償還出資 一億五千六百二十萬八千圓

圓の内二十二萬五千圓(第十五回、第十六回償還)を償還した。而して年度末現在社債總額は六億五千二百四十萬圓で發行全力は一億四千七百六十萬圓を有し内既に株主總會の決議を経て、何時でも發行し得る金額は一億二千二百四十八萬八千圓である。

社債募集及び償還狀況

年 度	募集額	償還額	年度末現在
自明治四〇年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇
同 四一年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	二、〇〇〇,〇〇〇
同 四二年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	三、〇〇〇,〇〇〇
同 四三年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	四、〇〇〇,〇〇〇
同 四四年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	五、〇〇〇,〇〇〇
同 四五年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	六、〇〇〇,〇〇〇
同 四六年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	七、〇〇〇,〇〇〇
同 四七年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	八、〇〇〇,〇〇〇
同 四八年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	九、〇〇〇,〇〇〇
同 四九年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一〇、〇〇〇,〇〇〇
同 五〇年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一一、〇〇〇,〇〇〇
同 五一年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一二、〇〇〇,〇〇〇
同 五二年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一三、〇〇〇,〇〇〇
同 五三年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一四、〇〇〇,〇〇〇
同 五四年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一五、〇〇〇,〇〇〇
同 五五年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一六、〇〇〇,〇〇〇
同 五六年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一七、〇〇〇,〇〇〇
同 五七年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一八、〇〇〇,〇〇〇
同 五八年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	一九、〇〇〇,〇〇〇
同 五九年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	二〇、〇〇〇,〇〇〇
同 六〇年	一、〇〇〇,〇〇〇	一、〇〇〇,〇〇〇	二一、〇〇〇,〇〇〇

利益配當 會社の利益配當に關しては日本政府の明治三十九年八月一日付命令書のうちに左の如く規定されてゐる。

第十二條 毎營業年度におけるその社の利益配當が株主の持込金に對し年六分の割合を超過せざるときは政府の持込に對し年六分の割合を超過せざるときは第十四條 株主の持込金に對する利益配當金年六分の割合を超過するに至りたる時はその超過の金額は先づ社債の利子に充當すべし

第十五條 その社の利益が前條の社債利子を支拂ひなほ剩餘ある時は該剩餘は應株主の各持込高に對し配當割合均一に至るまでこれを日支兩國政府持株に配當すべし、日支兩國政府持株に對する利益配當が年四分三厘三毛の割合に達したる時は株主の持込金に對し年四分の割合を超過せざる範圍内において更に第二配當をなすことを得るものとす

(以下昭和四年三月追加公布)日支兩國政府持株に對する利益配當が年四分三厘三毛の割合を超過するに至りたる時はその超過の割合を限度とし株主の持込金に對し年二分の割合を超過せざる範圍内において第二配當を増加することを得

貸借對照表

(昭和十一年三月三十一日現在)

資 産 の 部	金
持込未済株金	二、二五、七九二、〇〇〇圓

交通・通信 鐵道

鐵道の改革又は附帯事業經營のため發行する社債及び該社債を整理償還するため發行する社債に對し、日本帝國政府よりその利子の保證を受け、且つ必要あらば元金支拂を保證されることもある。唯斯く保證を受けるべき社債の總額は拂込金額の二倍以内で總資本額を超過することを得ざる約束である。又一方社債の發行限度は拂込額の二倍に至ることを得るも、資本總額を超過することを得ずと規定されてゐたのを昭和十一年六月但書を削除し拂込株金の二倍迄發行することに改正された。なほ昭和十年度の社債發行成績を見るに、十年六月第四十五次社債千五百萬圓、同年八月第四十六次社債三千萬圓、同十月第四十七次社債三千萬圓、同十一月第四十八次社債三千萬圓、を募集し尙舊滿洲社債千萬圓は同十年十二月その元利金支拂義務を承繼し同年四月及十月第六次社債償還殘額二百九十二萬五千

交通・通信—鐵道

會社首腦者(昭和十一年十月一日現在)

Table listing board members and their names, including 松岡洋一, 大村卓一, 河本三樹, etc.

會社の事業 會社は日本政府の明治三十九年八月一日附命令書に基き、鐵道運輸事業を經營すると共にその便益のため附帶事業として、倉庫業、車輛工場、本坑及びこれに附隨する各種化學工業、海運業、港灣を經營し、滿洲國有鐵道の直營、同新線の建設受託、會社附屬地内土地建物の經營、土木、教育、衛生及び商業に關する各種の施設をなし、廣く東亞の各地に涉つて調査事業を遂行する傍ら、瓦斯、電氣、鑛業、旅館、船渠、石炭業、輸入組合、鞍山、採木業、運送業、土木業、倉庫業等を育成、又は助成してこれが發展に資する等單なる

鐵道事業に止まらないが、會社創業以來事業の變遷を概括すれば次の如くである。

大正六年三月には鞍山における製鐵事業を企畫化するため本社に鞍山工場準備會社を設立し、同會社を以て五月には鞍山製鐵所を建設し、同會社を以て開始した。實業部は同會社より漸次成績を挙げたが遂に製鐵一貫事業のため昭和八年五月昭和製鐵所にその施設一切を譲り、同會社は製鐵事業は滿鐵より分離した。大正六年七月には朝鮮國有鐵道の經營及び附帶事業の取扱を朝鮮總督より委託され京城管理局を置いて經營の任に當つたが大正十四年四月に至り之を返還した。會社は創業以來北支那一帯に互り海運業に従事してゐたが大正十一年七月に至り海運業は別れて大連汽船にその經營を譲渡した。電氣、瓦斯事業も創業以來若くは大同となつたが獨立事業とするを便として瓦斯事業は大正十四年七月、電氣事業は翌十五年五月夫々分離獨立した。昭和八年三月一日には滿洲國有鐵道は別れて會社に委託經營せられることとなり、會社は之が經營機關と

Table showing financial details for the railway business, including 營業費, 價卸及除却額, and 純損益.

して奉天に鐵路總局を置き各路局を管轄せしめることとし、與滿洲國との間に新張の建設調査契約を締結し、之が遂行機關として鐵道建設局を設立し滿洲開發の大動脈たる幹線敷設の任務に當らしめ、工の上はその經營は順次鐵路總局に委託されてゐる。なほ北滿鐵路局昭和十年三月滿洲國に譲渡されたので總局の管理に入られた。

昭和八年十月一日より清津以北の朝鮮國有鐵道經營を朝鮮總督府より委託された。昭和十一年十月石炭統制機關等の生産物の販賣業務を管理してゐた商事部を解散し新たに滿洲商事會社を設立してこれの業務を引渡した。而して滿鐵の主たる事業は鐵道經營にあるがその附帶事業を大別すれば次の如くである。附帶事業 水運—(1)海運(經營機關—滿洲國附屬) (2)内河航行(經營機關—滿洲國附屬) (3)汽船—鐵道沿線に於ける積荷運送 (4)倉庫—各埠頭及埠頭に於ける倉庫 (5)製油—樺太製油に於ける製油 (6)地方經營—鐵道附屬地に於ける土地、家屋の經營及土木、教育、衛生施設

Table showing financial details for the railway business, including 營業費, 價卸及除却額, and 純損益.

營業收支(昭和十年年度)

Table showing revenue and expenses for the railway business, including 營業收入, 營業支出, and 純損益.

價卸及除却費

Table showing depreciation and disposal fees, including 價卸及除却費, 減損, and 純損益.

關係會社一覽表

Table listing related companies, their names, headquarters, and establishment dates.

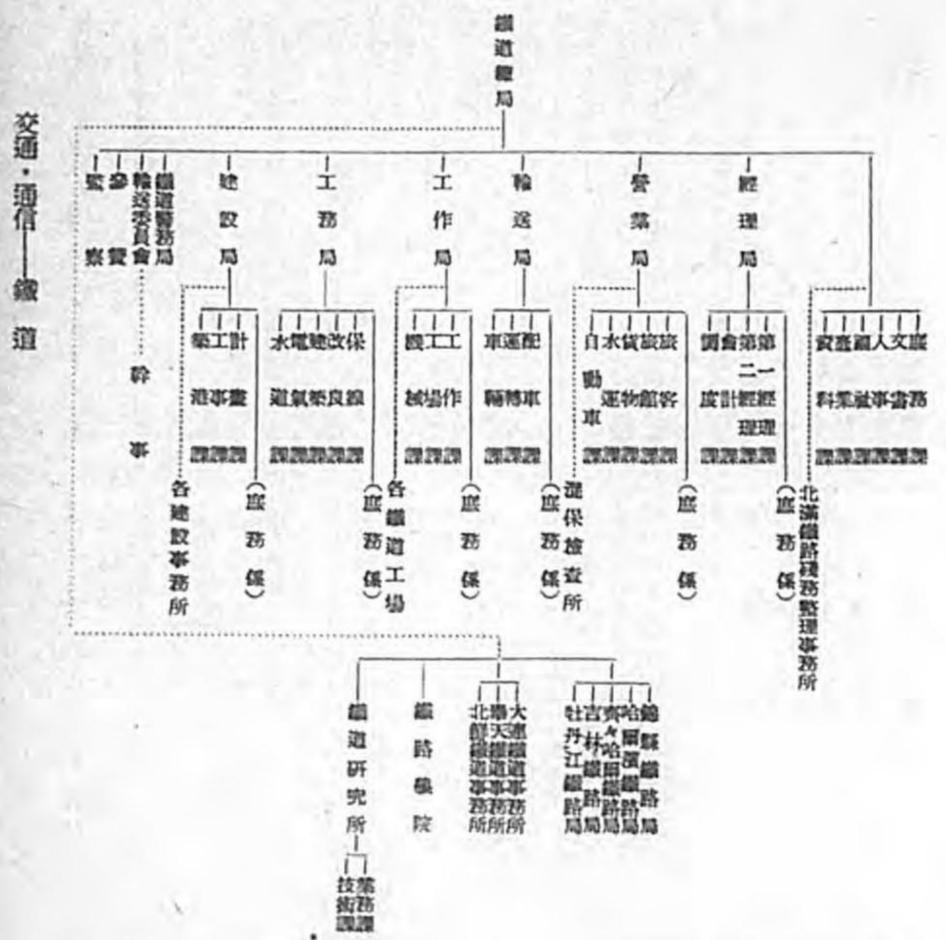
交通・通信—鐵道

交通・通信 鐵道

社名	設立年	資本金 (千円)										
大連火災海上保險	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
新京取引所信託	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
日佛對滿事業公司	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
旅順東ホテル	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
新滿洲	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
滿洲	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
哈爾濱	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
● ユニオン	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
△ 鐵道	十一年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
七十九社總計		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000

鐵道總局

滿鐵では鐵道經營の合理化を圖るため從來併立してゐた社線經營主體の鐵道部、國鐵經營主體の鐵路總局、新線建設工事の鐵道建設局北鮮委託經營の北鮮鐵道管理局の四機關を統一的經營主體下に置くこととなり昭和十一年十月一日から實施の職制改正において鐵道總局を奉天に新設したが、新鐵道總局職制は別表の如く直屬六課七局（現場機關としては五鐵路局、三鐵道事務



社線(舊鐵道部)

而して各鐵路局、鐵道事務所は鐵道の現場機關、建設事務所は現場の鐵道港灣建設機關であるが鐵路局職制は七處制（ハルビンのみは八處制）で次の如くである。鐵路局、經理課、運輸課、水運課（哈爾濱鐵路局に限り之を置く）、工務課、營業課、醫務課。鐵道事務所は六課制で次の如くである。庶務課、營業課（大連奉天に限り）（車務課（同上））（工務課、經理課北鮮に限り）（運輸課長（北鮮に限り））滿鐵の鐵道事業 滿洲の鐵道は滿鐵の鐵道事業を知ることによつて判然とするものであり従つて鐵道總局の事業内容を記載することが必要とされるが、過去の業績および鐵道諸規定を知るためには舊職制（鐵道部、建設局、鐵路總局、北鮮鐵道管理局）によつて分類することが合理的で、即ち統計は勿論、運賃、倉庫料金、經理關係、附帶事業關係等は國鐵(舊)社線(鐵道部)によつてそれ／＼相異があり、かつての規定は職制改正後の昭和十一年十月一日現在においても同一である。

管鐵道、旅館、倉庫について記することゝする。

社線鐵道事業 鐵道事業は滿鐵の根幹をなすもので創立以來二十有五年餘の間終始その主力を鐵道に傾注し、建設其の他諸準備の整備より進んで運輸狀態の改良發達、倉庫營業及び鐵道工場等附帶事業の完成充實に力めたのであつた。加ふるに會社の鐵道は幾多の海運機關とその連絡を完全ならしめ、歐亞連絡の幹線たる機能を發揮し、又會社本來の使命たる滿蒙開發の先驅として至大な貢獻をなしてゐる。南滿洲鐵道の營業線路の延長は昭和十年九月末日現在一千二百二十二軒で大連埠頭より新京に至る連京線(七百一十軒)安東より蘇家屯に至る安奉線(二百六十軒餘)を主要としその他に撫順、營口、旅順等の支線を有してゐる。

滿鐵が最初政府より引繼を受けた鐵道は、本線三、六呎の標準にして、安奉線は我軍の急設せる輕便鐵道であつたが、滿鐵は政府の命令によつて廣軌改築に着手、連京線は明治四十一年五月三十日に、安奉線は同四十四年十一月一日に何れも全部の廣軌路の開通を見た。而して輸送貨物の増大は鐵道の複線を要求し、明治四十二年十月の大連蘇家屯間の開通を嚆矢に、大正四年六月蘇家屯奉天間の工事に着手、漸次北に及

ぼして昭和九年九月二十六日無事連京全線の複線工事を完了した。復線工事と並行して輸送能力の増大には長大列車運轉の爲めに大軌條への取替が必要である。會社が引繼を受けた當時の軌條は安奉線の特細軌條及歐國から引繼いだ六十四封度軌條であつたが、更に輸送能力の増大に伴ひ大正八年以降は百封度軌條の敷替に着手し現在百封度百封度、支線は八十封度、側線は六十封度及六十封度となつてゐる。なほ滿鐵社線の幹線たる連京線は奉天に於て奉山、奉吉の兩線、四平街に於て四齊線、新京に於て京瀋、京濱及京大の三線と夫に接続してゐるが京濱線は昭和十年九月一日標準ゲージへ變更の結果、同日より大連、哈爾濱の客貨車は直通し一層利便を進めた。各線別貨料率を示せば左の如し。(昭和九年度末現在)

線名	貨料率
連京線	七〇・四
安奉線	二六〇・二
京瀋線	五二・九
京濱線	五〇・八
京大線	一一・六
奉天線	一一・九
奉吉線	四・六

次に鐵道が附帶事業として營んでゐる工場倉庫及び旅館事業の概略を示せば

倉庫 滿鐵は明治四十一年埠頭保管なる名目の下に小規模の倉庫營業を開始し、埠頭に送致の貨物保管をなすを目的とし之に對し倉庫證券を發行した。而して鐵道沿線では主要線の倉庫上層及び貯積場の修築完成を俟ち、明治四十二年十一月以來主として輸送貨物の輻輳を緩和するといふ目的で、發送貨物保管なる名目の下に滿洲特産物の貯積保管(無料金)制を設け、これに一種の證券を發行して金融を得るの途を開いた。然し以上二種の倉庫業は共に規模狭小で組織制度も亦甚だ不完全なので、明治四十四年九月以來大連埠頭と共に、沿線三十一驛に漸次公式の倉庫營業を開始して荷主の金融を容易ならしめ、併せて奥地各驛に於て發送の目的で貨物を寄託した場合に倉敷料を免除する方法を設けた。又穀物に對しては大正元年囤積保管の制を開き、その後更に輸出大豆、豆粕、豆油及び小麦に對しては品質重量の統一及び保管の便宜を圖つて、所謂混合保管の制を設けた。而して會社は又倉庫營業の開始と共に大連火災海上保險と特約し、引渡したる船舶陸

揚貨物の外、寄託物は荷主の委任を受けてこれを火災保險に附し、保險料は當分會社に於て負擔することとし、先づ大連埠頭に保管する貨物に實施した。十年度における滿鐵社線倉庫營業は大連埠頭ほか四十七驛である。

旅館 會社創業と共に經營せられ、昭和三年一月には會社より分立せしめたのであつた。而して昭和六年四月、再び之を會社に還元して今日に至つたが、事變後各旅館共滿員の狀態を現示し、旅館營業成績に於いて從來の赤字が九年度に漸く黒字となつた。滿鐵直通の旅館及び昭和十年度に於ける旅館の實績を示せば次の通りである。

年	名	所	在	様	式	
十	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
九	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
八	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
七	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
六	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
五	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
四	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
三	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
二	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式
一	年	大連	星ヶ浦	同	洋	式

連驛構内に極めて粗造のものがあつたが、明治四十一年大連沙河口に一大工場の建設に着手、同四十四年八月九日全部の作業を開始、機關車及車輛の製作組立修繕を爲し、傍ら諸機器の製作修理をも行つた。なほ鐵道工場のほか蘇家屯に木材防腐場を置き鐵道、枕木、電柱、枕木等各種會社用材にタレオソート油を注入防腐作用を行ひ、又大連に電氣修繕場を置いて電氣用品の試験を掌つてゐる。

鐵道事業營業成績

年	度	收入	支出	損益
明治四〇年	九、六八、八〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
大正六年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
昭和二年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
同四年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
同五年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
同六年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
同七年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
同八年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
同九年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇
同十年	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	〇

貨物收入(單位、圓) 營業貨物 一〇一、〇〇〇、〇〇〇 計用貨物 一〇一、〇〇〇、〇〇〇

主要貨物輸送噸數

年	度	大豆	小麦	其他
明治四〇年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
大正六年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
昭和二年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同四年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同五年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同六年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同七年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同八年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同九年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同十年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

旅客輸送及收入年度別 (單位、圓) 營業人員 收入

年	度	營業人員	收入
明治四〇年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
大正六年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
昭和二年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同四年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同五年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同六年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同七年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同八年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同九年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同十年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

急行料金を支拂ひ普通急行列車にありては其の乗車券を、特別急行列車にありては其の乗車券及び日の列車及び乗車券を指定して相當の急行券を請求すべきものとなつてゐる。

Table with fare information for different train types and distances. Columns include '普通急行料' (General Express Fare), '特別急行料' (Special Express Fare), and '社団及直轄特別急行料' (Special Express Fare for Corporations and Directly Controlled). Rows list distances like '五百軒迄', '八百軒迄', '一千軒迄'.

その組織は先づ、線路兩側五軒以内の路路愛護地帯を村落の大小、交通の便否、通信網發達の状況等を考慮し、驛を中心とした地區愛護村地帯に分ち、更にそれを小地區地帯に區劃し、機關として聯合村長、(局長)顧問、聯合副村長(縣の行政上村長)、村長

を以て組織せられたが昭和十一年四月機構を改革しその組織を次の如く改正した。中央委員會の下に地區委員會を設け従来の連合村を愛護區に改め區長(局長)顧問、村長(行政村長)を以て現地役員とした。而して昭和十一年九月現在社団内愛護區九三區内に在る村數三、〇〇〇關係役員三百餘名、愛護地帯は社線沿線九百五十一平方軒に及んでゐる。而して現在左の如き愛護宣傳及參加村の福社増進方法を行つてゐる。

新線(舊鐵道建設局)

津浦、水道の新設に當つて來たが、昭和十一年十月一日の職制改正により同局は解消、鐵道總局建設局(水道は工務局に)となつた。而してその鐵道建設のためには幾多の貴い犠牲が拂はれており建設工事殉職者概數(昭和十一年三月末現在)は、

Table listing construction workers and casualties. Columns include '社員' (Employees), '職員' (Officials), '内埔人' (Local Residents), and '外人' (Foreigners). Rows list names and counts for various groups.

一九三二年以降建設新線

Table listing newly constructed lines from 1932 onwards. Columns include '線名' (Line Name), '區' (District), '延長' (Length), '起工' (Start of Work), and '竣工' (Completion). Rows list lines like '三機樹線', '海倫線', '新法線', etc.

となつた。而して滿鐵ではこれが委託を受けると同時に直ちに鐵道直屬の北鮮鐵道管理局を設立し、これが經營にあたらしめてゐるが、昭和十一年十月一日の職制改正により鐵道總局從屬機關たる北鮮鐵道事務所とした。然しその仕事の内容には何等變化はなく旅客貨物の諸規定および運賃(特定運賃は除く別項参照)は朝鮮鐵道局當時のものを踏襲してゐる。なほ羅津港第一期工事完了と共に同港の經營をも引き受けてゐる。(組織、鐵道總局職制の欄参照)

滿洲國線(舊鐵道總局)

鐵道總局の一年

鐵道の綜合經營と產業文化開發に邁進してゐる鐵道總局は引續き運賃組織、施設の改革、職制改正、備置及び附屬施設の改修、運輸業務の統一改正等合理化經營の諸工作を進め茲にこの年度に行はれた職制改正によつて現場中心主義の實現に第一歩を踏み出し又客貨運賃その他諸規程改正によつて輸送の簡易、円滑化を計り一方繼承線、平海線等の完成によつて新設第一相計劃の工事も大部分完了した。更に前年來達成されつゝあつた鐵道機關改組即ち滿鐵と國有鐵道の經營一元化問題は康徳三年に入つ

て急激に進展し十月一日より實現された。日滿不可分、兩者契合の本義に照しても當然の結果と云はれやう。以下この年間に行はれた主なものを示せば

旅客運賃の改正 従来の各鐵道旅客運賃率を踏襲してゐた國線の旅客運賃率は新情勢に應じて根本的改正を行ふ必要あるに鑑み總局に於て慎重研究の結果五十萬圓の減收を豫想して康徳三年二月一日統一新運賃率を斷行した。

貨物運賃の改正 國線における京滬、奉山その他の三地特別により異にしてゐた運賃を全般的に改正することとなり成案を得て康徳三年二月一日遠距離運賃制、奥地開港特別運賃及び貨物等級法の制度を實施した。

職制改正 總局に監察及び監察附、四路局の下に十七鐵路監理所を新設し現場中心主義に總局、路局、監理所關係事務の連絡統一及び能率増進に努力してゐる。

歐亞連絡會議出席 滿洲國有鐵道を代表して總局旅客角田、貨物竹森兩氏赴歐出席した。

小荷物運賃率改正 一九三四年小荷物運賃制度實施以來日鮮滿直通並に連帶荷物の激增に伴ひ日鮮滿共通單一基本運賃と手小荷物配達制度の實施が要望されて來たので

國線の小荷物運賃率を鐵道省、滿鐵、鮮鐵及び此鮮各線と同一貨率に改正するとともに手小荷物配達規程を制定し一九三六年十月一日から實施した。改正要點は

地方的小荷物運賃(一箱は八〇斤、一五錢、八〇〇斤以上、以上八〇斤を標準毎に五錢を標準、直運、連帶小荷物運賃(従来より二〇%乃至五〇%の大幅低減となつた)その他手小荷物運賃、手小荷物配達規程實施

所管鐵道(康徳三年八月末現在)

所管鐵道は三十二線七千四百四十三裡三(そのうち五線二十三裡八は貨物専用線)に達してゐるが之を左に各線別に示せば左の如し。

線名	區間	裡數
奉天	奉天・山海關	四一九六
大連	大連山・錦州屯	三六六二
河	瀋陽子・河北	九一一
錦	錦州・家	四三六・一
北	龍口・北	一四六・九
金	金嶺寺・北	一七・九
遼	遼山・遼陽	一三二
奉	奉天・吉林	四四七・四
平	四平街・梅河口	一五六・三
京	新京・四	五二八・〇
朝	朝陽川・上三峯	六〇・六
朝	朝陽川・上三峯	四四四・九
林	林口・密山間	一七〇・九
林	林口・密山間	二七・七

交通・通信—鐵道

江蘇	哈爾濱・濱江	二六
湖北	三陽橋・北安	三三・六一
北平	新松浦・馬蘭口	一一・一七
北平	北安・廣河	三〇・二九
北平	齊齊哈爾・北安	二二・一五
北平	齊齊哈爾・北平	八六・八
北平	四平街・齊齊哈爾	五七・一四
北平	新賓・白旗	三三・二六
北平	白旗子・南興	二五・〇五
北平	權樹屯・東站	六・四
北平	新賓・哈爾濱	二四・二二
北平	哈爾濱・滿洲里	九三・四八
北平	哈爾濱・同江	五九・一
北平	小站・新站	三・〇
北平	三陽橋・同江	三・五
北平	哈爾濱・八區	三・〇
北平	哈爾濱・道里	四・〇
北平	哈爾濱・同江	四・二

〔經營經過〕一九三二年一月五日支那郵政總局、其後滿洲國有鐵道として經營、對英借款の償還に當り、一九三四年七月一日奉天、北平間直通運送、一九三六年五月一日貨物運送運轉規定實施。

○大連線 大連山、樺甸間三六・二軒 一九二二年十一月大連山、八道溝間開通、一九二五年八月八道溝、新立屯間開通、一九二七年十一月新立屯、通遼間開通、一九二九年一月樺甸屯、遼寧間開通、滿鐵、支那政府間四條鐵路借款契約に基く。

○河北線 齊齊哈爾、河北間九・一軒 一九二四年奉天、北平間一七・九軒 一九二四年奉天、北平間一七・九軒 一九二四年奉天、北平間一七・九軒

○奉天線 奉天、海龍間一四・四軒 一九二四年奉天、海龍間一四・四軒

〔建設經過〕奉天、海龍間一九二八年八月開通、海龍、吉林間一九二九年八月開通。

○平榆線 四平街、榆河間一五・六・三軒 樺河口、西安間一九二七年十二月開通、西安、四平街間一九三六年九月一日開通、奉天、吉林との實際の分岐點は沙河、實際の軒數一四九・四軒

○京滬線 新賓、齊齊哈爾間五二・八軒 新賓、吉林間一九二二年東清鐵道支那政府間の吉長鐵道條約規定で東清鐵道で敷設獲得、日露戰後日本これを繼承、一九〇五年十二月日清滿洲善後條約で半額借款で建設決定、一九〇七年新賓及吉林鐵道に、滿鐵借款で建設決定、一九〇九年滿鐵、支那郵政總局に吉長鐵道借款目録の附屬、半額資金二百五十萬圓貸與、一九一〇年竣工、一九二二年十月開通、一九一七年十月借款契約

改正、借款金額六百五十萬圓、借款期間三十年、滿鐵委託經營決定。

吉林敷化間一九二五年滿鐵支那政府間吉長鐵道建設借款契約二千四百萬圓成立、一九二六年六月竣工、一九二八年十月開通、一九三二年十一月吉林、吉敦兩線合併。

敦化、圖們間一九三二年五月竣工、一九三三年九月一日開通、同時に吉林、吉敦と、もに京圖線となる。

○綏遠線 綏遠川、上三峰間六〇・六軒 奉天、天津間鐵道として存在、事後借款六百萬圓で滿洲國これを買収、一九三四年滿鐵鐵道に改修完成。

○齊北線 齊齊哈爾、北安間三三・一五軒 齊齊哈爾、奉天間一九二八年六月竣工、奉天、北安間一九三二年竣工、一九三三年開通。

○平齊線 四平街、齊齊哈爾間五七・一四軒 四平街、遼南間滿鐵五條線の一、四平街、樺甸屯間は一九一五年支那政府、滿鐵正金間の四條線借款契約五百萬圓により一九一七年竣工、同年十一月開通、樺甸屯、遼南間は支那政府、滿鐵間の一九一九年の四條線借款契約（一千萬圓）により一九二二年竣工、一九二三年十一月完成、正金への五百萬圓は償還、滿鐵への一千萬圓元利償還されず、一九二五年五月末現在未償元利三千二百萬圓、一九三一年十一月四條線借款契約に四條線資金及經營契約成立、四千九百萬圓。

○沈南線 瀋陽、安東間一九二四年滿鐵、奉天北政權間に奉天、遼陽間借款契約成立、二千九百九十二萬圓、一九二五年五月竣工、一九二六年七月開通、三陽橋、齊齊哈爾間齊齊哈爾鐵道として建設。

○白旗線 白旗子、南興安間二五・〇五軒 白旗子、王爺廟間一九二九年百六十萬圓で竣工、一九三一年二月開通、王爺廟、蒙旗間一九三五年三月二十日開通、蒙旗、南興安間一九三六年七月開通。

○檢査線—樺太、東馬、滿洲、四野—一九三六年八月一日開通。
○濱洲線—哈爾濱、滿洲里間九三四・八軒—一九三七年二月支那政府經濟銀行開業により建設、一九三四年開業。規定により露支合辦、一九三五年三月滿洲國へ譲渡。
○濱洲線—哈爾濱、綏芬河間五四六・四軒—濱洲線に同じ。
○京濱線—濱洲線に同じ。

總局の事業

鐵道總局事業の根幹をなす鐵道は總延長七、四四三・三軒に達し運輸機關の本來の使命を没却した舊東北政權時代の亂れたる經營方針を統一して諸般の改革施設を著々行ひ社會の公器たるべき使命に立却し滿洲國の利益延びて東亞民族福祉増進のため合理的經營に努力してゐる、以下それ等の主事項を示せば左の如し。
(A)旅客運賃(イ)國幣運賃改正、(ロ)舟車運賃に對し運賃の特例割引實施、(ハ)同運賃率の舟車運賃開始、(ニ)朝鮮、北平、滿洲、支那各地方の直運運輸開始、(ホ)内地直通小荷物の代金引換取扱開始、(ヘ)奉天、北平間直通列車の經營開始、(ト)總局、支那各地方の直通運輸開始、(チ)滿洲、支那各地方の直通運輸開始、(リ)滿洲、支那各地方の直通運輸開始。

Table with 3 columns: 局別 (Railway Division), 本年度 (This Year), 前年度 (Previous Year). Rows include 奉天、吉林、哈爾濱、齊齊哈爾, and 合計 (Total).

Table titled '康徳三年度八月末累計旅客輸送量' (Passenger Transport Volume as of August End of Kangde 3rd Year). Columns: 局別 (Railway Division), 本年 (This Year), 前年 (Previous Year). Rows include 吉林、哈爾濱、奉天、齊齊哈爾, and 合計 (Total).

Table titled '康徳三年度八月末累計貨物輸送量' (Freight Transport Volume as of August End of Kangde 3rd Year). Columns: 局別 (Railway Division), 本年 (This Year), 前年 (Previous Year). Rows include 奉天、吉林、哈爾濱、齊齊哈爾, and 合計 (Total).

(B)貨物關係—鐵道創辦以來一九三六年三月で三箇年を迎へたが既往の二年間は其の外幣が完成したが後の一年間は其の修正時代に於て從つて國幣業務は之を中心として進められた關係上新規制度としては前年に比し割合に少い、(イ)國幣と各汽船會社間及び松花江水運間貨物運送開始、(ロ)國幣と自動車間直運運輸開始、(ハ)國幣主要站倉庫營業開始、(ニ)水豆に對し一九三六年二月より五月迄水豆検査證明を取扱ふ、(ホ)貨物運賃、貨物等級に之に伴ふ諸規程改正、(ト)國幣貨物運送開始、(チ)國幣と松花江河水運間貨物運送開始、(リ)國幣、北平間貨物運送開始。

線旅客運賃率の改正統一を斷行するに至つたその運賃率は(一軒當り)
全線 一等 二分、二等 一分、三等 五分
これにより三等貨率は奉山地帯に於て二〇%値上げ京國地帯は奉吉地帯その他地帯に於て一〇%以上値下げとなり二等貨率は京國地帯に於て七%値下げ奉吉に於て三%以上の値下げその他不變、一等貨率は奉山地帯に於て一%京國地帯に於て九%の値上げその他不變となつた。

於て國幣五十萬圓に達するものと豫想せられ總局の對旅客サービスの向上改善と相俟つて滿洲國交通發展並に鐵路沿線經濟開發上寄與する所少くない。

この如く本貨率の改正は國內地域の民衆の迅速に運ぶ旅客の負擔力の點より見た度、運賃率の不合理を是正したもので且つ國幣運賃率の九八%を占める三等旅客の負擔減輕を圖るため特に努力を拂つたものである、即ち改正三等貨率につき之を觀ると國幣全線旅客運賃率(乗車延人軒)一〇%に相當する京國地帯に於て不動二九%相當の奉山地帯に於て二〇%値上げとなるが六一%を占める大部分の地帯に於て一〇%以上値下げとなりその結果國幣全線より見て値下げとなり三等旅客の負擔を約二%低減した尙改正貨率の各等比率は社線は社線の比率即ち二八〇、一八〇、一〇〇に近値となり二等旅客負擔も亦安當となつて来た。而して本改正の結果旅客負擔減輕額は康徳三年度に

- (A)普通急行料金(國幣) 三百軒迄 五百軒迄 八百軒迄 一等 二圓 二圓五角 二圓五角 二等 一圓 一圓五角 一圓五角 三等 五角 七角五分 一圓
- (B)特別急行料金(國幣) 三百軒迄 一等 四圓 二等 二圓
- (C)直通特別急行料金(國幣) 三百軒迄 五百軒迄 八百軒迄 八百軒以上 一等 三圓 三圓五角 四圓 四圓五角 二等 二圓 二圓五角 二圓五角 三等 一圓 一圓五角 一圓五角 下段四圓五角、三段上段一圓、中段一圓五角、下段一圓八角

國幣普通旅客運賃率は舊東北政權時代の各鐵路局運賃率をそのまま踏襲し新線及び舊北線に對しては取敢へず類似既設線の貨率を適用し大體四種に分ち各等を通じ大體民衆最も高き南滿に劃安、民衆低き北滿に劃高となつてゐたが時勢の推移により全線運賃統一の急務に迫られ康徳三年二月國

總局經營の港灣は河北と遼東島の二港である。
自動車(自動車運賃参照)
旅客運賃率の改正
國幣普通旅客運賃率は舊東北政權時代の各鐵路局運賃率をそのまま踏襲し新線及び舊北線に對しては取敢へず類似既設線の貨率を適用し大體四種に分ち各等を通じ大體民衆最も高き南滿に劃安、民衆低き北滿に劃高となつてゐたが時勢の推移により全線運賃統一の急務に迫られ康徳三年二月國

旅取取扱規程 旅客手小荷物取扱規程及び團體割引率の規程等は統制によつて殆んど滿鐵社線の規程と同一である。
旅館及び食堂車 旅客運輸の附隨的施設として旅館及び食堂車の直營を行つてゐる、現在興城溫泉ホテル、遼寧島ホテル及び齊齊哈爾ホテルの外に吉林、哈爾濱、承德

旅取取扱規程 旅客手小荷物取扱規程及び團體割引率の規程等は統制によつて殆んど滿鐵社線の規程と同一である。
旅館及び食堂車 旅客運輸の附隨的施設として旅館及び食堂車の直營を行つてゐる、現在興城溫泉ホテル、遼寧島ホテル及び齊齊哈爾ホテルの外に吉林、哈爾濱、承德

旅取取扱規程 旅客手小荷物取扱規程及び團體割引率の規程等は統制によつて殆んど滿鐵社線の規程と同一である。
旅館及び食堂車 旅客運輸の附隨的施設として旅館及び食堂車の直營を行つてゐる、現在興城溫泉ホテル、遼寧島ホテル及び齊齊哈爾ホテルの外に吉林、哈爾濱、承德

旅取取扱規程 旅客手小荷物取扱規程及び團體割引率の規程等は統制によつて殆んど滿鐵社線の規程と同一である。
旅館及び食堂車 旅客運輸の附隨的施設として旅館及び食堂車の直營を行つてゐる、現在興城溫泉ホテル、遼寧島ホテル及び齊齊哈爾ホテルの外に吉林、哈爾濱、承德

の三大都市には直營ホテル建築の計劃を樹て哈爾濱は十月より開業した、食堂車は濱

歐亞運結會議參加 一九三六年ワルソー及びモスクワに於て開催された歐亞運結會議に滿洲國代表者が始めて參加出席し

貨物運賃率の改正

國線の貨物運賃率はその初め京圖線、奉山線、濱北線その他の四地帶運賃率に分れてゐたがその後拉濱線の本營業開始を機に

運賃率を廢止し國線の運賃率中京圖線及び奉山線を除く各線と同率とし之がため約六

遠距離運賃法の實施 從來京圖線、奉山線その他三範圍に分れてゐた國線運賃率に統一し從來の距離比例法による運賃算出法

奧地開發特定運賃の改正 從來北滿鐵路の勢力範圍にあつて未開のま、放置されてゐた北滿邊境地方の開發を目的とするもの

Table with columns for station names (e.g., 大連埠頭, 北鮮三港) and freight rates (e.g., 新運賃, 舊運賃) for various goods.

品類別に五十番順によつて大分類し且つ之を國線及び滿鐵線共同の様式等級に改正して各品目毎に簡明なる算珠を加へ又特別による品目索引を附して品目の探査に便ならしめた。

倉庫營業 國線全線主要幹線三十二箇所に於て康徳二年十二月から一齊に開始した、尙倉庫營業と鐵道輸送との連繫を密にするため著後委託の制度も實施し又倉庫委託の貨物に對しては荷主の委託を受けずして總局が之を火災保險に附し荷主の權益を擁護してゐる。

Table listing various goods (e.g., 大豆, 小麦, 砂糖) and their corresponding freight rates across different lines and stations.

交通・通信—鐵道

優良小渡 興志 五五九〇
齊々哈爾濱鐵路 興志 一六六〇〇
哈爾濱鐵路 興志 一七〇〇〇
吉林鐵路 興志 一八九六〇

○苗木附設は奉天鐵路局二十萬木、吉林鐵路局五十萬木、哈爾濱鐵路局二十萬木、齊々哈爾濱鐵路局二十萬木合計三百萬木の多きに達し樹種は朝鮮落葉松が八割を占めその他は滿洲落葉松、ドロノキ、イタチハギ等である。

○優良種畜貸付配布 豚バークシヤ種牡六百十九頭、四萬二千七百六十頭、同北六十一頭四千二百七十頭、羊メリノ種牡四百五十五頭二千七百五十頭、同北五十頭二千頭、同改良種牡五百五十三頭三千九百頭、同北四十頭二千頭、同種種牡六百六十頭三千九百頭、同在來種牡一萬頭十萬頭牛種牡三百頭二萬頭、同蒙古在來種牡二百頭一萬六千頭、同ホルムスタイン種牡十頭七千頭、同北八頭六千四百頭、同(白色)レダホーン、コックタ(種百頭二千頭合計一萬二千六百六十八頭二十二萬九千四百三十頭)

○總局經營者名籍地扶輪小學校、滿洲國木校滿洲國(分校)清原子同、河北同、鶴崗同、四平街同、鄭家屯同、太平川同、南滿南同、虎南同、德南(街基分校)新京同、哈爾濱小計本校、一二校分校二校一三學級學級數五、六九三

三四〇

大好轉の形にあり更に城安自動車營業の開始によつて相當將來を有望視されて居る。

營業收入

昭和四年	四〇八、七〇八圓
昭和五年	三〇〇、六八三圓
昭和六年	二六六、三三五圓
昭和七年	二五七、〇七七圓
昭和八年	三二七、一六二圓
昭和九年	四三〇、三三七圓
昭和十年	四三〇、七九四圓

運賃率 運賃率は滿鐵と全然別個に制定され殊に貨物運賃に適用される營業料は實料の二倍二四軒となつて居る。貨物取扱規定は全然滿鐵と同一である。

昭和十年度損益計算書

收入之部	三九〇、一三三圓
昭和十年度損益計算書	一五五、二四一圓
客車收入	二二八、〇四六圓
貨車收入	二、四九九圓
運賃收入	四、三七六圓
自動車收入	四〇、六七〇圓
計	四三〇、七九四圓

金福鐵道

現在に於ては滿洲に於ける日本人經營唯一の私鐵で本社を大連に置いて居る。金州から滿鐵線と分れて關東州境子龍に至る一〇二軒の廣軌線であり、建設當時は匪賊討伐線といひはやされたものである。大倉系の資本による金福鐵道株式會社(資本金四百萬圓半額納込)の經營に係り昭和二年十月開通を見たが營業成績不振を續け滿鐵及び關東局から相當の補助を受けて來た。事變後は銀高等にも影響され營業成績も漸

哈爾濱の都會地に寄宿舎を設けし僻處地在動日本人從事員の子弟並に餘裕ある場合には一般日本人居住者子弟を收容し進學せしめて居る。

關東局補助金 二五、〇〇〇
南滿洲鐵道株式會社補助金 二五、〇〇〇
南滿洲鐵道株式會社九年特別補助金 七四、八五二

補助金計 (二四、八五二) 五五五、六四七

支出之部 一八四、六八九
保費 九一、六一一
汽費 六二、二七〇
自費 四〇、〇五二
運賃 二五、三四三
雜費 六、五七〇
計 四八〇

計 四一、〇一八
計 一四三、三五六
計 一、二七一
計 五五五、六四七

穆稜鐵道

本鐵道は北滿鐵路小城子驛より梨樹溝(穆稜炭礦)に至る延長六三軒軌幅五呎の鐵道であるが、露商スキヤデルスキーと吉林省との合辦になる資本金六百萬圓の露支合辦穆稜炭礦會社の經營であつて、敷設資金及び技術に於て北鐵より多大の援助があつた敷設工事着手は一九二四年春期にして開通は翌一九二五年三月である。本線は最初石炭運搬の専用線として敷設したものである

交通・通信—鐵道

が、一般客貨の便を置つて一九二六年春期より其の取扱を開始した。然るに奥地即ち密山街道沿線に出入する客貨が頗る激増し本街道の終端驛たる梨樹溝に二、三年にして人口約二萬を擁する一都市が現出することとなり、本鐵道の移民的意義を頗る重大にした。貨物輸送の統計は詳かでないが年約三十萬噸の石炭を輸送して居る。

鶴立鐵道

本鐵道は松花江の下流佳木斯の對岸蘆花口を基點とし、鶴立驛を経て所謂鶴立開炭礦の所在地たる興山驛に至る延長五五軒六の探炭鐵道であるが、外に約十二軒の引込線がある。經營主體は鶴立煤礦公司(資本金三百萬元)で敷設費は百二十萬元であつたといふ。敷設工事着手は一九二六年夏期にして、同年十一月竣工運轉を開始した。

軌幅は五呎であるが、これは敷設材料及び車輛等を北鐵より購入したためである。なほ本線は運炭を目的としその専用線として敷設せられたものであるが、一般客貨の輸送をも取扱つて居る。なほ鶴立煤礦公司の資本金のうち八五パーセント迄は滿洲國建國前までは廣信公司及吳俊陞の所有となつて居るが、建國後廣信公司持株は中國銀行、吳俊陞の持株は政府のそれの所有

となつたので、現在では大體滿洲國政府の手に收まつた形である。年約二十萬噸の石炭を輸送して居る。

開豊鐵道

舊名開拓鐵道、開原から西豊に至る六三軒七、軌幅一米の輕便鐵道で滿洲國商開拓火車公司の經營に係り大正十五年五月開通した。最近三ヶ年の營業狀態左の如し。

昭和八年	昭和九年	昭和十年
客車人員	三三、三三三	三三、三三三
貨物噸數	六、三三三	六、三三三
客車收入	一、三三三	一、三三三
貨車收入	一、三三三	一、三三三
其他收入	一、三三三	一、三三三
計	三、三三三	三、三三三

其他の鐵道

齊昂鐵道 齊々哈爾濱、昂々溪間二九軒軌幅一米の輕便鐵道、滿洲國官商合辦で明治四十三年開通。
漢城鐵道 太溪湖、牛心寨間二四軒軌幅二呎六吋の輕便鐵道、日滿合辦で大正三年二月開通したが牛心寨炭の輸送を主として一般旅客貨物の取扱をなして居る。最近の營業狀態は左の如し(單位圓)

三四一

昭和八年	昭和九年	昭和十年
客車收入	六、五三	八、五三
貨車收入	一、五三	一、五三
計	八、〇六	一〇、〇六

交通・通信——自動車

貨車収入	一、三〇、〇〇〇	一、三〇、〇〇〇
其他収入	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	一、三〇、〇〇〇	一、三〇、〇〇〇

私設鐵道法

滿洲國政府では國內主要鐵道は滿鐵委託經營による國營の方針で進んでゐるが、これ等餘餘國有鐵道の培養として、かつまた地方開發鐵道としての私設鐵道の發達を助成することとなり昭和十年九月四日先づ私設鐵道法を公布して私設鐵道の統制を國り更に十一月私設鐵道法施行規則を交通部令を以て公布したが更に目下私設鐵道獎勵法の制定を急ぎつゝある。滿洲國私設鐵道法の制定を急ぎつゝある。滿洲國私設鐵道法は大體日本の私設鐵道法を適用したものであるが國體培養、地方開發の特別な條件を充分考慮に入れておりその主なる要項は次の如くである。

一、日本では地方鐵道法と軌道法の二つに分れてゐるが滿洲國では全部を私設鐵道法に包括する體裁的規定を設けてゐる。

一、日本では動力に制限（人力、馬車も動力とするものは認めず）を附してゐるが滿洲國の交通状態は未だ過渡期にあるため之が制限を附せず。

一、日本では鐵道の公共的責任を重視し、内容の堅實を期するため鐵道の經營を許可しないが滿洲國では鐵道のみ經營は成立せずとし交通部大臣の認可を得

自動車

概説 滿洲に自動車運輸事業が現はれたのは歐洲大戰後のことで、民國七年七月國府令を以て長途汽車條令、長途汽車營業規則等が公布されたが當時滿洲の道路橋梁等は其の施設概ね不完全で降雨期に入れば泥濘路を没し河川氾濫して交通絶絶となり従つて自動車の利用は主要都邑を除いては見るべきもの無く、只各期河川、山野、田畑等の結氷を待たずにこれを利用する有様であつた。次いで張作霖が東北の實權を把握するや要所主要道路の修築を敢行したため民國十七年頃より漸次自動車運輸業者の増加を見るに至つた。然し乍らなほ事業者の資力貧弱と免許取締規則の不備はこの營業を一、二臺の車輛を以て同一路線を十

數人が競争營業を行ふが如き状態を生じ策謀、實績共になほ不振の状態にあり、しかも昭和六年滿洲事變の勃發は一時大多數の營業停止となつて現はれたが滿洲國の建國に伴ふ治安の急進的恢復と、地方道路の新設、改修の進捗と、及び政府の積極的國營の經營政策によつて自動車營業は事變前とは比較の出來ぬ急激な發達を遂げて來た。滿洲國政府は大同二年五月三十一日敕令第四十三號に依り交通部をして自動車運輸事業の監理統制を主管せしめ康徳三年六月末現在の路線總延長距離は遂に一四、九〇五、三五五米に達した。而してこのうち國策的見地から最重要とされる路線は國營線として指定しかつこの國有鐵道の滿鐵委託經營と共にその附帶事業として等しくこれを滿鐵經營下に置くこととなり爾來滿鐵は鐵路總局をしてこれが經營に當らしめてゐる。

自動車運輸事業の統制並特許 滿洲國當初の自動車法令は中華民國の制定した諸法令を適用してゐたがこれ等は主として手續事項が大部分を占め内容の區々たるは勿論許可税及車捐の増徴に重きを置いたため統制の實舉らず滿洲國政府ではこのため合理的な新法規の制定を急いでゐる。次いで自動車運輸の特許に關しては國營及民營路線

の二分分野を定め大體左の條項によりこれを特許する方針を採つてゐる。

- 一、國有鐵道に代るべき幹線、既成國有鐵道に併行又は並走する幹線、國有鐵道指定線に當る幹線、その他國體上必要とする幹線はこれを國營とし、その他餘餘を民營とする
- 一、特別の事由なき限り特許は一路線一營業とする
- 一、事業費用の擴大と事業建設の確保を確保し經營は逐次大規模とする
- 一、雙頭のあつた場合は既營業者が自衛上直捷關係を有する路線或は公共團の所在地域内における路線の經營用額に對しこれを優先發議すること

の如し。

總局經營自動車路線 (一九三六年八月末現在)		現在運行中	
線名	營業軒	區間名	現在運行中
安東線	一	安東、東寧、法庫、康平間	一
山道線	一	山道、撫通間	一
海牛線	一	海牛、法庫間	一
民彰線	一	民彰、法庫間	一
熱河線	一	熱河、承德間	一
京吉線	一	新京、吉林間	一
京沈線	一	新京、沈陽間	一

交通・通信——自動車

交通・通信—自動車

逐次開設され治安も確保されるに従ひ旅客の往來漸く多く乗車人員も年々増加の傾向を示してゐる。貨物の輸送も亦漸増の一路を辿りつつあるが鐵道における如き特産品その他の大量輸送少きためその収入は旅客収入の四七%に過ぎない状態である。

納局自動車路線輸送状況

(康徳三年六月末累計)

康徳三年六月末累計

三四四

滿洲國民營自動車 滿洲國民營自動車は主として地方的連絡の交通機關として營業されてゐるものであるが康徳三年六月末現在滿洲國交通部の認可を得現に營業中の民營自動車運輸業者は左の如くである。

Table with columns: 公司及代表者名, 運行區間, 特許期日, 運行開始日. Lists various bus routes and their operational details.

Table with columns: 路線名, 運行區間, 特許期日, 運行開始日. Lists bus routes and their operational details.

交通・通信—自動車

Table with columns: 路線名, 運行區間, 特許期日, 運行開始日. Lists bus routes and their operational details.

Table with columns: 路線名, 運行區間, 特許期日, 運行開始日. Lists bus routes and their operational details.

三四五

交通・通信——自動車

Table with 2 columns: 新設大房身一法庫, 復興長途汽車. Lists various transportation services and their locations.

Table with 2 columns: 吉林自動車, 復興城一頓々. Lists transportation services in Jilin and other areas.

大連都市交通 (沿革) 大連都市交通株式

會社は大連市に於ける電氣鐵道事業及市内並關東州内に於ける聯合自動車の經營を主たる目的とするが、會社の沿革は次の如くである。

○第一期 大連に於ける電氣鐵道事業は南滿洲鐵道株式會社運轉部運轉電氣作業部が明治四十二年九月二十五日に運轉開始したのを基礎とし、電氣作業部は滿洲の附帶事業として電氣供給事業と共に電氣鐵道經營の附屬に維持した。

Table with 2 columns: 營業成績 (昭和十年度), 營業項目. Lists financial and operational data for the electric tramway.

水運

概説

滿洲を流れる河川としては北滿に滿洲國境を流れてゐる黒龍江、東部國境をなし黒龍江に注ぐ烏蘇里江、北滿の平野を瀾流する松花江の三江が最も秀逸である。

Table with 2 columns: 營業項目, 營業成績. Lists various transportation services and their financial performance.

交通・通信——水運

水運行政

滿洲國成立と共に水運利用の重要性に鑑み松花江以下の諸川の利用率を増加するため、水運に關する事項は交通部をして專管せしめ、改めて航運局官制及び水運に關する法規を制定し、航政水運の兩局を除く他の航運營業はこれを滿鐵に委託經營せしめてゐる。

北滿の水運

概説 北滿における河川の主なものは嫩江、第二松花江、松花江本流、黒龍江、烏蘇里江これに浮ぶ滿洲國商船数は三百十九隻に及んでゐる。

Table with 2 columns: 北滿河川航運統計, 北滿水運航路別輸送貨物數量. Lists statistics and cargo volume for water transport in northern Manchuria.

交通・通信 水運

石	一、〇〇〇	一、〇〇〇
木	一、〇〇〇	一、〇〇〇
期	一、〇〇〇	一、〇〇〇
其	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計	一、〇〇〇	一、〇〇〇

北滿水運年度別船客輸送量

地方	一、〇〇〇	一、〇〇〇
市	一、〇〇〇	一、〇〇〇
下	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計	一、〇〇〇	一、〇〇〇

松花江 黒龍江の一大支流で本流の外嫩江、呼蘭河の支流があるが、水運上何れも價值あるものである。源流である頭道江及び二道江は長白山脈にその源を發し、幾つもの支流を併せて黒龍江に合してゐる。その延長のみにて實に一、九一七軒に及び、幾多の支流も亦本流と共に豐饒なる農産、林産資源地帯及び礦産地帯を灌溉してゐるため、流域も五十二萬平方軒といふ廣大な地帯を占め、當々二十六縣管内を貫流し、その沿江兩岸には吉林、撫順、新賓、扶餘、肇州、哈爾濱、呼蘭、三姓、富錦、同江等北滿に於て反れも一地方の經濟の中心をなしてゐる幾多の主要市場を擁護してゐる。なほ松花江の利用價值の大部分は哈爾濱から下流で、一千噸以上の大船でも航行が可能である。本江は解氷期前後約五箇月を除

けば航行が盛んで、四月下旬から十月下旬または十一月月上旬まで行はれ、汽船や駁船の期間は九回乃至十回、我克は五回くらい就航する。

黒龍江 源流は額爾克納河及びモルカ河の二流よりなり、流下するにつれて滿洲國境を劃して東流しその流域四、四二六軒世界の第十一位を占め、流域の廣さも世界第十二位、一九六六平方軒に達する。黒龍江と稱されるのはシルカ河とアルガン河の合流點より下流河口迄の總稱で、その流源の一點であるシルカ河は蒙古のオノン河と西伯利亞のインゴダ河の合流したものである。本流は多少の淺灘はあるが、總じて水深は萬丈大であり千噸級以上の船舶の航行に阻へ、また沿岸にはハバロフスク、ブラゴウニチエンスク、濱河、漠河、瑷琿等の都市があり、哈爾濱から黒龍江沿岸に往來する船舶も漸次増加しつゝある。結氷は大體九月三十日から十月二十五日迄の間で、解氷は四月五日より六月七日迄、航行期間は凡そ百五十三日から二百二日間くらゐである。

なほ本江の船舶は哈爾濱に本據を置き、松花江を経て黒龍江に航されるものが大部分である。滿洲國側における江上の航路は富錦、黒河間、黒河、漠河間及び哈爾濱

を以て、河津には極めて廣大なる氾濫區域を有してゐる。興凱湖は水面積三、八五〇平方露里、瀋陽湖一四、三〇〇平方露里を有する一大貯水湖である。湖の北岸及水面の北半は滿洲國に屬し、東岸は滿洲國の低地なるも西岸は乾燥せる高地にして居住の好適地である。同湖の水深は七一・一九呎にして湖上の航行には何等の支障なきも、湖岸が緩傾斜をなして居る關係上安全なる碇泊地を有せず、而も暴風の襲來頻々たるものがあるから、湖上往來の船舶は相當船體の堅牢を必要とする。

なほ烏蘇里江の開江は四月中旬にて開江後一週間は流水緩き、時には水塊堆積して山と築き流水の堰き止められるときもある烏江の航行は哈爾濱航業公司經營の哈爾濱、虎林の定期航路ある外、虎林より龍王廟にいたる航路が開拓されてゐる。

南滿の水運

遼河 東西の二流から成り東遼河は西安縣に源を發し、西遼河は興安嶺支脈の左麓に發する。兩河は三河口上流に合して遼河の本流となる。可航水路は支流を向して約一、〇一五哩で、その中流以下及び支流は南滿の平野地帯を貫流し、その拘攔面積は三十五萬方里に達する。舟楫の便は遼河本

交通・通信 海運

流の營口—鄭家屯間及び支流の太子河における鄭家屯—三叉河間、同じく遼河の長蘆—三叉河間である。なほ平年流水初日は十一月二十八日、結氷初日十二月三十一日、結氷終日三月十六日、結氷期間七十六日、氷終日三月三十日、氷水期間百二十三日である。

鴨綠江 本江は長白山の南麓（長白泊子—主峰南三十里）に源を發する七九〇軒の長流である。欠點として河床に急勾配の箇所多く、水量は秋に入つて常に減する。それに岩礁が多いため激流多く、殊に本流は減水によつて航行を阻害される。尤も近ごろは、吃水の淺い高瀬船及びプロペラ船によつて幾分その不便を緩和してゐる。

鴨綠江は峽流の性質があり、水流が不良である上、毎年冬季十二月から翌年三月まで四箇月は結氷し、その間海路貿易及び船舶の出入が杜絶する。解氷の後から船舶の出入が盛んになるが、夏季七、八月の候は洪水の虞れが、秋十一月は流水の憂ひがあつて、一年の過半は水運利用の途が少いのである。因に、河川工事は官營として行はれ、下流域、江口域では制水堤が築造され、安東には滿鐵會社の護岸施設がある。安東より江口にいたる間は水道と云ふより寧ろ安東の港灣と見るべきもので、河幅

虎林間の三定期航路がある。

滿洲水路協定 同會議は大黒河に置いて開催され康徳元年六月二十八日、滿洲國側代表ブラゴウニチエンスク駐在領事曹鴻燾及びソ聯側主席代表アムール船相局長メテリツサア兩代表の第一次會合あり、その後正式商議を遂げること前後十五回、遂に滿洲兩國間に水路協定締結の成果を收め、同年九月四日兩國代表はこれに署名調印するに至つた。次いで九月六日滿洲國外交部より次の如く發表された。

滿洲國領哈爾濱關稅局及び露國々立アムール船相局は諸河川湖の國境無分即ち左記各條の共同作業を實行すべきアルゲン河、鴨綠江、ウスライ河、スニガリア河及び興凱湖における航行狀態改善の目的をもつて協定すること左の如し（協定は十一條よりなるが省略す）

なほ滿洲兩國の通告により康徳三年四月二日よりブラゴウニチエンスクにおいて共同技術委員會の會開及び黒龍江水路事業具體案を製作するため滿洲國交通部より三人の委員が派遣されソ聯側の委員と會見した。

烏蘇里江と興凱湖 烏蘇里江は東部ソ聯の國境河川にして、支流斡力河と穆稜河との滿洲國側より流入しスカンヂヤ河は興凱湖より流出して之又國境の一部をなすものである。烏蘇里本流はその河口に至る迄河谷の狀況その全流に亘り極めて緩平の傾

海運

は三千尺以上、江口に近づくに従ひ更に大を加へ大小幾多の島嶼を形成し、黃海に向つて漏斗狀に開く。潮流干満の影響を受けること多く七、八一〇呎に達し、水深は十二、三尺の處もある。殊に安東の下流五道溝附近は干潮面水深二—三呎に過ぎざる爲め、吃水淺き船舶と雖も到底上潮するを得ず、従つて普通は滿洲側に於いては大東灣及三道浪頭、朝鮮側に於ては新島、多羅島及龍岩浦等の諸地に碇泊し、安東又は新義州との連絡は野に依らねばならぬ。斯る失費と不便の爲め、安東の貿易は多く陸上貿易にして、海路貿易は至極微々として僅はず、營口にも劣る現狀である。又斯る不便を排除する目的を以て新義州、多羅島間三八軒の多羅島鐵道株式會社が王子系の資本を以て昭和十年七月設立された。

交通・通信—海運

四つに大別し得るが、安東、營口は既に中心的海運市場と云ひ難く、北鮮三港又未完成品にして且つ背後地との連絡充分と云ひ難いため、結局滿洲における海運市場の王座は大連によつて占められてゐると云へよう。なほ以上において判る如く滿洲國それ自體においては領土面積廣大なるに比し海岸線貧弱なるため良港なく、僅に營口、安東の二港に止めを刺すが、これがため海運を發達せしめ貿易を振興するため滿洲國經濟建設綱要に於て左の如き方策を明示してゐる。

- (イ) 我國經濟開發を促進し生産地方と海港とを最も經濟的に連絡するため我國海港の外、隣國の海港を有効に利用す。
- (ロ) 營口、安東の兩港に所要の改修を加ふ。
- (ハ) 葫蘆島の建築工事は將來經濟上の要求切實を加ふる時に完成す。
- (ニ) 海港は差取り近海航路の充實を圖り外洋航路に付てもなるべく速にその發展を期す。

滿洲國 置籍船

(唐德三年六月末現在) (二十噸以上)

所管別	輪船	汽船	汽艇	汽機船	汽機艇
哈爾濱航政局	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
營口航政局	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
安東航政局	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

關東州 置籍船一覽

(昭和十一年八月末)

船名	噸數	船種
...

海運市場 滿洲における海運市場は結局大連が代表されるべきもので、これに大連が代表されるべきもので、これを大別するには輸出貨物別並に主要海運別に見るべく、石炭、大豆、豆油の品目別と大連—橫濱(石炭、大豆、豆油)上海(石炭)間の近海市場、大連—歐洲(大豆、豆油)間の遠洋市場に大別される。昭和十年における大連—橫濱間石炭運賃最高は十一月の二四〇錢、最低は七月の一四六十五錢で、大連—歐洲間の大豆運賃では最高十一、十二月の二十六志、最低五、六、七月の十三志であつた。

大連 積出運賃累年表

年	大連—上海		大連—歐洲		大連—歐洲(大豆)	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低
一九三五年
一九三四年
一九三三年
一九三二年
一九三一年
一九三〇年
一九二九年
一九二八年
一九二七年
一九二六年
一九二五年
一九二四年
一九二三年
一九二二年
一九二一年
一九二〇年

大連港

概況 大連港が大連と稱されたのは明治二十五年李鴻章が柳河屯に砲臺及び棧橋を築造し水雷營を置いた時で、明治三十八年日本が露國より租借權を繼承し、滿鐵が鐵道と共にこれを經營、爾後三十年その施設に改増築を加へ今日に至つてゐる。

年	噸數	噸數	噸數	噸數
一九三四年
一九三三年
一九三二年
一九三一年
一九三〇年
一九二九年
一九二八年
一九二七年
一九二六年
一九二五年
一九二四年
一九二三年
一九二二年
一九二一年
一九二〇年

各港との距離

港名	距離
...	...

大連港の貿易 大連港の貿易は四十一年には僅に七十二萬噸に過ぎなかつたが、昭和十年度には八千九百餘噸に及び、輸出對輸入の割合は一對三の割合で、總輸入港であり、勿論對日貿易が過半以上を占めてゐる。

埠頭及倉庫營業、鐵道運送營業は共に一定の規則に準據して行はれ、それに附屬する一切の荷役作業は福昌華工會社の供給する滿洲國苦力(華工)によつてなされ、同社の監督責任下に取扱はれてゐる。

大連港の管理 大連港の行政は關東州廳

項目	担当者
...	...

鹽業及作業 大連港の港灣一切の設備を滿鐵が施設してゐる關係上海運附屬營業即ち船舶の發着、貨物の船内作業、貨物の陸揚、積及受渡、貨物の保管並びに給炭、給水、運送代辦等に関する業務も臨

港灣施設

- 鐵路施設
 - (イ) 無線電話設置 大正十五年埠頭ビルディング屋上及南三山島、圓島に架設す。
 - (ロ) 無線探針局(ラヂオコンパス) 日本最初の試みとして埠頭ビルディング屋上及び圓島鐵道の兩所に昭和四年設備す。
- 海上設備
 - (イ) 防波堤、東防波堤三七二米、北防波堤二二四四米、西防波堤一、三六四米でこの主要防波堤に推測せらる、水面積積約三一萬平方米を内港とし、東防波堤の北端と北防波堤の東端との海口幅員は三六四米で東港口と云ひ内港の主港口とされ、他に北港口(一一二米)西港口(六一米)あり帆船及小汽船用とされてゐる。
 - (ロ) 埠頭岸壁及圍欄、木埠頭は八埠段延長五、〇一

交通・通信—海運

○米、穀類四十三、其他埠頭積荷は六にして總延長六、三三九米に及んでゐる。第一埠頭より第四埠頭迄の各埠頭は三千噸乃至四千噸級の船舶を同時に九隻繋留し得、三萬噸級の巨船も埠頭に繋留し得る能力を有してゐる。

Table with 3 columns: 埠頭名 (Wharf Name), 用途 (Use), 面積 (Area). Lists various wharves like 第一埠頭, 第二埠頭, etc., and their specific uses such as 輸入専用 (Import only) or 輸出専用 (Export only).

三五二

と生産額が年額十八萬噸の輸出に用ゐる。五千噸級の船舶の繋留可能石油埠頭(甘井子)滿石所有輸入石油埠頭に用ゐる。延長九八八米。

國別輸出入貨物年表

Table showing trade statistics by country for 1929 (昭和十年), 1928 (昭和九年), and 1927 (昭和八年). Columns include 数量 (Quantity), 百分 (Percentage), and 輸出 (Export) / 輸入 (Import).

貨物保管設備(倉庫及野積場)

Table detailing storage facilities including 倉庫 (Warehouses) and 野積場 (Open storage areas). Columns include 種類 (Type), 面積 (Area), and 収容力 (Capacity).

著埠船舶國別隻數及び噸數年別

Large table showing the number of ships and tonnage by country for various ports from 1927 to 1930. Columns include 年 (Year), 別 (Country), 隻數 (Number of ships), and 噸數 (Tonnage).

旅順港

概説 本港は昔時獅子口と稱せられ後旅順となり露國の租借時代、露國は軍港として使用、日露戦争後日本の租借後、軍港のみに使用されてきたが明治四十三年七月西港の開放して商港とした。併して昭和

交通・通信—海運

ため全般を利用することは不可能で、船舶投錨區域としては幅四三〇米、奥行一、二八〇米の狭長な海面であるが、水深九米を有するため六千噸級の船舶は自由に入港し得る。なほ教場灣の前面は戎克浦として戎克帆船の碇泊地に當てられてをり、水深は二米乃至四米である。

輸出主要品別

Table showing major export products by year from 1927 to 1930. Columns include 年 (Year) and 計 (Total).

交通・通信—海運

輸入主要品別 (最近六箇年)

年次	計
昭和十年	一四、〇八三
同 九年	二〇、六三四
同 八年	三五、六六四
同 七年	二二、五一六
同 六年	二三、四九七
同 五年	二九、八三五

安東港

概説 鴨綠江の河口を遡ること二十五里、江の右岸に位し、明治四十年支那により開港され、同四十二年開埠と共に、天津山東、朝鮮沿岸、日本との商取引密接なる水深と潮筋の變化は運航上甚だ不便で、大體航行汽船は吃水十呎を限度としてゐる。従つて本港に入埠する汽船は満潮時に於ては七百八十噸程度で、三道浪頭では一千二百一十噸、更に大なるものは門白若くは多島に碇泊する。朝鮮總督府では鴨綠江航行に對し左の告示を出し注意してゐる。

- (一) 本港路を航行せんとする船舶の吃水、左に掲ぐるものを越えざるを可とする。
- (二) 安東港に碇泊する船舶は、高潮時 十呎、低潮時 十三呎、満潮時 十五呎、三道浪頭より多島島 十六呎、大東港 十六呎。

なほ安東航政局が滿洲國港灣行政を掌つてゐる。

港灣設備 安東港出入船に對する施設は概ね新義州側即ち朝鮮總督府で行はれてゐる。碇地は朝鮮側は新義州、龍岩浦、莊島、多島島の四箇所、滿洲側は安東、三道浪頭、大東港の三箇所である。安東港は江岸に護岸工事を実施し(延長二、〇二一米)之に棧橋を架設、滿鐵の經營になつてゐる。なほ江口各箇地の碇泊能力左の如し。

三道浪頭

政記公司の専用埠頭がある。碇泊可能船舶噸數は一千二百噸、水深は最深時十二呎、最淺時十呎である。なほ安東港輸出貨物の大體たる飯米は本港の埠頭より運送される。鴨綠江の河口に位し、碇泊可能船舶噸數は二千五百噸、水深は最深時十五呎、最淺時十二呎である。多島島 水深は最深時十三呎、最淺時十呎である。大正十五年以前四年間築港事業として附近六千八百二十二坪を埋立て、水深八八二米、奥三六米、運送道路四三八米を築造し、埠頭に道路及び上屋を設備し、本埠より野田投により貨物の陸揚げをなし得る設備をなし今日に至つてゐる。碇泊可能船舶噸數は三千五百噸より吃水三十噸迄の船舶三隻内外である。大東港 安東の外港を築し、水深は最深時十五呎、最淺時十四呎にして、三千噸級の汽船を二隻内外碇泊し得る。

輸出入貨物量年表 (最近六箇年)

年次	輸出	輸入
昭和十年	三、四〇六	一、七〇六
同 九年	三、三〇六	一、七〇六
同 八年	三、三〇六	一、七〇六
同 七年	三、三〇六	一、七〇六
同 六年	三、三〇六	一、七〇六
同 五年	三、三〇六	一、七〇六

營口港

概説 營口港は一八六一年英國領事館開設、一八六四年海關の設置等あり、一九〇五年大連港が日本の租借地となり商港として活動する迄は、南滿唯一の貿易港として發展したが爾後大連港に墾殖され發展遅れたるものがある。汽船碇泊可能埠頭の二三、五〇〇米なるも汽船碇泊可能埠頭の延長は僅に四、四八六米に過ぎず他は我克漁船の碇泊場である。港内の河溝は平均七五〇米で滿鐵埠頭附近は約五六〇米である水深は二十呎乃至三九呎で最深時は五十呎乃至七九呎である。港灣行政は滿洲國營口航政局がある。

營口港着埠船隻類別 (最近三箇年)

種類	昭和九年	昭和八年	昭和七年
日本	一、二〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇
中國及滿洲	一、一〇〇	一、〇〇〇	九〇〇
朝鮮	一、〇〇〇	九〇〇	八〇〇
其他	九〇〇	八〇〇	七〇〇
合計	四、三〇〇	四、一〇〇	四、〇〇〇

日本各港との距離

先港	距離
天津	八〇
大連	一、二〇〇
青島	一、五〇〇
上海	二、〇〇〇
香港	二、五〇〇
汕頭	三、〇〇〇
廈門	三、五〇〇
福州	四、〇〇〇
廣州	四、五〇〇
汕頭	五、〇〇〇
香港	五、五〇〇
廈門	六、〇〇〇
福州	六、五〇〇
廣州	七、〇〇〇

北鮮三港

概況 北鮮には雄基、清津の既成港と築港中の羅津港の三港あり、昭和八年九月京國線の開通、北鮮鐵道との連絡、東滿、北滿に於ける新線の開通等によりこれ等三港は裏日本諸港との日滿最捷路として開拓され、今後の北鮮三港を中心とする海運界は活況を呈するものと見られる。

北鮮の配船關係

北鮮三港を中心として裏日本及阪神諸港間には朝鮮總督府、逓信省及陸軍省の命令航路と大阪商船、朝鮮郵船、島谷汽船及大通汽船等の自營航路が拓け、積載噸數三千噸の優秀船も就船してゐる。

輸出入貨物量年表 (最近五箇年)

年次	輸出	輸入
昭和十年	一、二〇〇	一、三〇〇
同 九年	一、一〇〇	一、二〇〇
同 八年	一、〇〇〇	一、一〇〇
同 七年	九〇〇	一、〇〇〇
同 六年	八〇〇	九〇〇

交通・通信—海運

北鮮三港主要航路

航路	船隻	航路
一、命令航路	密	北鮮三港
定期航路名	雄基、羅津、清津、清津城、元山、釜山、開門、神戶、	使用船隻
雄基、東京線	名古屋、清水、樺太、東京	朝鮮郵船、朝鮮郵船

交通・通信—海運

Table of shipping routes and companies. Columns include destination (e.g., 大坂, 神戶, 大阪), company (e.g., 北洋, 北鮮), and ship names.

北鮮三港の船舶貨物は日下のところ大浦對日本主要開港のそれに比し高であるが、これは輸送貨物の僅少な...

自北鮮三港至日本主要港運費

Table showing shipping rates from three ports in North Korea to major Japanese ports. Columns include commodity names and rates.

瀋陽港 瀋陽港は昭和七年五月拓務省により修築港と指定されたが築港及鐵道建設...

瀋陽港

Table detailing the construction and capacity of the Shenyang port, including dates and area.

昭和七年より築港一部竣工にて漸次輸出入貨物の到着を見てゐる。併し本格的貿易は第一期工事完成後と見られる。

Table showing shipping statistics for Shenyang port, including arrival and departure counts.

滿洲國の道路 滿洲の道路は古來都市と都市とを聯絡する主として軍用を目的とする官馬大路といふのが清朝以前から開通して...

滿洲國の道路

Table showing road construction statistics for Manchuria, including kilometers completed and planned.

鐵道

鐵道 古くから北鮮における不凍港として船舶の難難所に使用されてきたが開港したのは大正十年である。現在の滿洲鐵道は大正十五年より四箇年鐵道事業でなされたもので、幹線延長二百米、壓船能力は三千噸の船舶二隻である。

Table showing railway statistics for Manchuria, including kilometers and capacity.

滿洲國の道路

滿洲國の道路 滿洲の道路は古來都市と都市とを聯絡する主として軍用を目的とする官馬大路といふのが清朝以前から開通して...

Table showing road statistics for Manchuria, including kilometers and capacity.

鐵道

鐵道 古くから北鮮における不凍港として船舶の難難所に使用されてきたが開港したのは大正十年である。現在の滿洲鐵道は大正十五年より四箇年鐵道事業でなされたもので、幹線延長二百米、壓船能力は三千噸の船舶二隻である。

Table showing railway statistics for Manchuria, including kilometers and capacity.

交通・通信—道路

交通・通信—道路 滿洲の道路は古來都市と都市とを聯絡する主として軍用を目的とする官馬大路といふのが清朝以前から開通して...

Table showing road statistics for Manchuria, including kilometers and capacity.

Table showing road statistics for Manchuria, including kilometers and capacity.

項目	金額	項目	金額
南滿州	一七三・〇	合	五三
東滿州	五〇・〇	○哈爾濱建設費	七八九・〇
安東	八三・〇	大同元、二年度計費	四八三・六
奉天	二〇七・九	大開元、二年度計費	九〇・〇
吉林	八二・〇	哈爾濱	六七・六
遼寧	四三・〇	林口	一六三・八
山東	二〇・三	林口	一六二・二
山西	四九・〇	林口	一五五・六
河北	三三・九	林口	一三〇・〇
察哈爾	九四・七	林口	二五〇・〇
熱河	一六八・五	林口	一〇〇・〇
直隸	三三・四	林口	三六〇・〇
河南	七五三・一	林口	一、四四・一
江蘇	一〇五・〇	林口	一一二・〇
浙江	一七二・六	林口	一五二・七
江西	三五〇・〇	林口	二七〇・九
福建	四二〇・〇	林口	一六一・三
廣東	一三一・九	林口	三三六・二
廣西	二、四一・二	林口	七六三・三
雲南	一、一八・〇	林口	二四一・二
貴州	一〇八・八	林口	六二・〇
四川	六七・七	林口	三〇〇・〇
陝西	四五・三	林口	一九〇・七
甘肅	一四・四	林口	
山西	一〇〇・〇	林口	
綏遠	二八〇・〇	林口	
察哈爾	四八・七	林口	
熱河	九七・〇	林口	
直隸	三七・〇	林口	
河南	九二・〇	林口	

項目	金額	項目	金額
南滿州	一七三・〇	合	五三
東滿州	五〇・〇	○哈爾濱建設費	七八九・〇
安東	八三・〇	大同元、二年度計費	四八三・六
奉天	二〇七・九	大開元、二年度計費	九〇・〇
吉林	八二・〇	哈爾濱	六七・六
遼寧	四三・〇	林口	一六三・八
山東	二〇・三	林口	一六二・二
山西	四九・〇	林口	一五五・六
河北	三三・九	林口	一三〇・〇
察哈爾	九四・七	林口	二五〇・〇
熱河	一六八・五	林口	一〇〇・〇
直隸	三三・四	林口	三六〇・〇
河南	七五三・一	林口	一、四四・一
江蘇	一〇五・〇	林口	一一二・〇
浙江	一七二・六	林口	一五二・七
江西	三五〇・〇	林口	二七〇・九
福建	四二〇・〇	林口	一六一・三
廣東	一三一・九	林口	三三六・二
廣西	二、四一・二	林口	七六三・三
雲南	一、一八・〇	林口	二四一・二
貴州	一〇八・八	林口	六二・〇
四川	六七・七	林口	三〇〇・〇
陝西	四五・三	林口	一九〇・七
甘肅	一四・四	林口	
山西	一〇〇・〇	林口	
綏遠	二八〇・〇	林口	
察哈爾	四八・七	林口	
熱河	九七・〇	林口	
直隸	三七・〇	林口	
河南	九二・〇	林口	

三三八

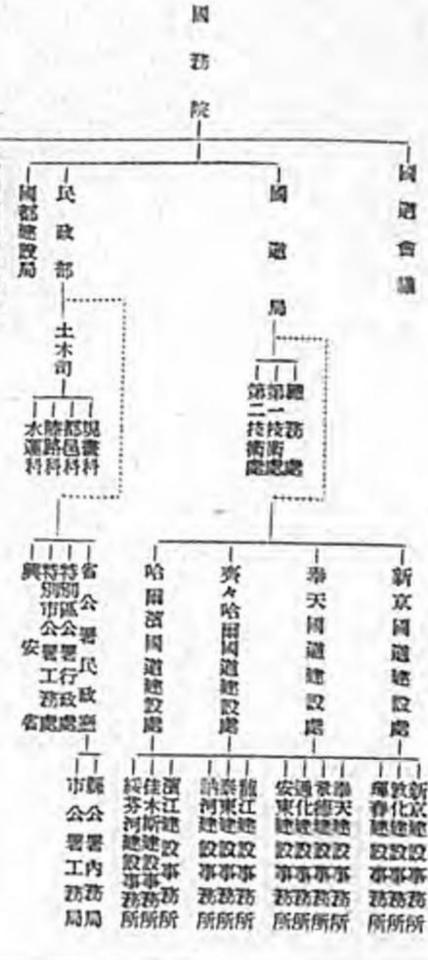
するものは相當の幅員をもち、奉天から山海關を経て北平に達する官路などは道幅百六米を有してゐた。然し官路は普通六米、大路は四米平均でその他の小路では道幅五、六米を超えるものは極めて少なかつた。しかも清朝も三百年の平和に慣れて政務の廢弛を來すに至っては、道路の保全修理は全く顧みられず荒廢のままに捨ておかれた。なほこれは滿洲に於ける道路の特殊性にもよるのである。即ち滿洲では年々十一月から翌年の三月ころに至る約五箇月間は全地凍結し到處自然の道路を形成し、且つその土質は主として粘土又は微砂土より成る關係上、夏季殊に雨期には路上の泥土車輪を没し、乾燥期に至れば所謂黃塵萬丈の實狀であり馬車の交通は頗る困難である。且つ河川には殆ど橋梁の架設なく益々この困難を増加してゐる。このほか滿洲に於ける馬車は大部分農夫が自己の車輛及び馬匹を使用し冬期の農閑期を利用してため、必ずしも一年を通じて車馬を通車せしむる如き良路の必要なこと、夏季農作物繁茂期に於ける交通の危險、滿洲士馬の阻礙性に乏しいこと等を挙げ得る。

かく支那に於ける道路は古來軍用を主として發達し、近世に至るに及び漸く各開港

場又は鐵道を中心として商業道路が發達しつつあるが、滿洲は由來邊陲の地に位し産業の發達が遅かりしため商業道路の必要も充分認められず、滿洲國の成立に至るまで經濟交通開發を旨とする本格的道路建設は絶えてなかつたのである。

滿洲國の道路政策

滿洲行政組織 滿洲國に於ては律國と共ニ道路政策の確立がその産業振興、治安維持文化開發等に及ぼす影響の甚大なるに鑑みこれが達成完備を期すべく左の如き行政組織を設けてゐる。



國道會議 國道會議は國道建設に關する最高機關にして、國の直轄する道路に關する主要なる事項を審議し、且つ治水其他重要な土木事業に關し國務總理大臣の諮問に應ずると共に之等の事項につき國務總理に建議することが出来る。

國道會議は議長國務總理二人、議員二十名を以て組織し、議長は國務總理を以て、副議長は民政總長及交通部各大臣を以て之に充つ、議員は國道局長、關係部總務局長及學識経験ある者若干人を任命することとなつてゐる。

國道局 大同二年三月新に國道局が設けられたのであるが、その組織、左の如くで

交通・通信——道路

新京を中心とする道路系統

- (一) 農安、扶餘道新設、農安、扶餘間一六〇軒
- (二) 開通、公主嶺道新設、開通、公主嶺間一〇〇軒
- (三) 奉天道新設、公主嶺、吉林間二七〇軒
- (四) 伊通道新設、伊通間七二〇軒
- (五) 雙陽道新設、雙陽間五〇〇軒
- (六) 吉林道新設、太平道經由新設、吉林間一四四軒
- (七) 哈爾濱道新設、門經由新設、哈爾濱間二三五軒

新京の街路網

國都建設計畫 計畫では街路を幹線、支線、補助線の三に區分し、幹線は六〇米乃至二六米、支線は一八米乃至一〇米、補助線はそれ以下の幅員を有する。これらは地勢によつて、或はまた市の地勢に従つて併用されるが、幹線、支線は總て車道と歩道とに分けられる。即ち幹線道路の車道は二筋に分ち、中央を自動車用の車道とし、自歩道とし、その兩側を馬車、人力車、自歩車などの緩速車用とし、更にその兩端を歩道とするのである。各道の間には四列に並木が植えられる。

また路面はすべて舗装される。交通の頻繁な主要街路は瀝青舗装とし、荷物車専用路は鋪石または硬質煉瓦道とする。歩道の主要部分はコンクリート板石舗装とするほか、街路には電信、電話、電燈に要する架

空線其他の路上施設を禁止し、埋設其他の方法を講ずるから、完成すれば世界的と云つていゝ街路が到るところに出現することになるだらう。ともあれ、市面積の二一パーセントに當る大小幾百の街路は、既に計畫事業進行の途上にある。街路系統は放射線式、方形式、環形式等の長と短とが最も巧みに織り混せられてゐる。公園若くは公園に連結する苑道には騎乗路が特設され、主要幹線路には遊歩道が設けられる。各主要中心には廣場を設け、公園としての效用を具備せるとともに、中心地帯の風致風格を向上させる。事業開始以來康徳二年末迄に竣工せる街路の主なるもの左の如し。

交通機關

平原の廣い滿蒙では、荷馬車を主とする車輛は各河川に於ける帆船とともに、滿蒙

の交通運輸上最も重要な機關であつて、殊に鐵道開通直前には、遠距離の荷馬車輸送が極度に旺盛となり、滿洲各地殆ど之を見ない地はないといふほどであつた。松花江、黒龍江等の諸流域では冬季間氷を用ゐ、水上若くは雪中で旅人や荷物の運搬に便し、車輛の補助機關として地方的には相當重視せられた。

當時普通に使用された運送機關は大車、轎車小車の三種で、殊に前二者が經濟的に重要なものであつた。大車は二輪の荷馬車で用途廣く、貨物の運搬以外に乗用にも供せられ、農作にも使用された。轎車は二輪の乗用馬車で、中流以上の人の乗用の他、小車は一輪車のこととて、人力で推し進められる。貨物や人の短距離輸送に用ゐられる。長春、吉林、ハルビン等の諸都會では、僅少の利用があつたに過ぎない。道路粗悪のため、各種車輛も自然堅牢を主として製せられ、用材は主に榆、樺が用ゐられた。積載量は車の大小によつて異なるが、馬一頭の挽力はほぼ一定してゐるので、動力として使用された馬の挽力から車輛の積載量を推定すれば、奉天省内外及び吉林、新京以北の松花江流域、博爾多站以南の嫩江流域の如き、土地平坦で道路もひどく悪く

もない地方では、馬一頭の挽力は普通雜穀三四〇斤内外である。伊通、吉林以南及び一面坡、三姓以南のやうな高地だと道路の凹凸甚しく、一頭の挽力は平均凡そ一八〇斤と推定される。その走行力は、夏ならば一日平均三十五軒内外、冬は五十軒を超えらる。

滿洲國政府も、荷馬車の經濟的價値を認めてゐる。少くとも近距離輸送には、天下無敵の輸送機關だと云つてゐる。然し、現在政府が道路に俟つ主な目的は治安維持の確保と行政並びに經濟兩機能の發活を期するにあるので、一般路線の選定は、原則として荷馬車道は在來道路に必要程度の改修を加ふるに止め、別に路幅六―八米の新道を構築して自動車専用路たらしめようとする。

關東州・鐵道附屬地道路

關東州内 關東州内の道路は關東州廳の管掌に屬し、明治三十九年九月、同廳設置以來關東州内の道路網完成に盡瘁した結果、現在大連、旅順の兩都市は完備した市街道路を以て四通八達し、金州、普蘭店の市街道路も大體に完備し、一方市外道路も主要通關を聯絡する幹線道路の敷設に成功

交通・通信——道路

した。市街道路は中央を車道とし、左右に石材の側溝を造り、更に等級に應じて六尺乃至十二尺幅員の歩道を兩側に設け、側溝との間にアカシヤ、ポプラ、白楊、樺等を配植して並木街の趣味を味してゐる。車道は碎石を以てするマカダム式を採用し、十五噸または十八噸ローラーで輾壓し、仕上げはコルターを散布する。但し荷馬車の交通頻繁な箇所は花崗石鋪石道を設け、路面の磨損警減を保障し、更に硬質煉瓦、花

關東州内道路延長

(昭和九年十二月末日現在)

市街	幅三下	幅六下	幅八下	幅十下	幅十四下	幅十八下	幅二十五下	合計
大連(市街)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	7,000
旅順(市街)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	7,000
金州(市街)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	7,000
普蘭店(市街)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	7,000
雙子高(市街)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	7,000
合 計	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	35,000

三間以下一三三三としてゐる。幅員八間以上...

航空

總説 滿洲に於ける航空は日本航空株式會社の内...

關東州内の航空に關する事務は昭和二年六月航空法施行...

し大連、新義州、平壤、京城、蔚山、福岡、大阪、東京各地間の郵便物並びに貨物の輸送を始めた。

Table with columns for routes (e.g., 大連、新義州、平壤) and flight details.

支所所在地 東京、名古屋十月一日、大阪、福岡(名島)...

滿洲行手荷物 日本航空株式會社より連絡する滿洲行手荷物は、新義州以遠は別に滿洲航空株式會社の定める超過料金を要す。

に依る日滿合辦の株式會社で滿洲國に其の國籍を有するものである。而して名目は株式會社であるが日本政府及び滿鐵より積極的援助に依る公益法人とも見るべきものである。

Table listing various branches and offices across different regions like 大連、新義州、平壤, etc.

交通・通信—航空

別れて居り、軍用線に於ては軍用のほか座席その他に餘裕ある時、旅客貨物郵便の取扱を行つてゐる。

Table listing routes and flight details, including destinations like 大連、新義州、平壤.

手荷物 携帶手荷物は日本航空株式會社同標十疋まで無料であるが、超過重量分は左記貨物運賃表により徴せらる。

Table showing cargo rates (貨物運賃表) with columns for weight and price.

交通・通信—航空

航空飛行 日本航空輸送會社大通支所では...

關東廳信局管内及日本内地 航空郵便物數

Table showing monthly and annual statistics for air mail in the Kanto region and Japan.

關東廳信局管内及滿洲國境 航空郵便物數

Table showing monthly and annual statistics for air mail in the Kanto region and Manchuria.

關東廳信局管内及朝鮮發着 航空郵便物數

Table showing monthly and annual statistics for air mail in the Kanto region and Korea.

通信

日本側の通信

沿革と制度 滿洲における我が通信事業は日露戦後...

Table showing communication statistics for the Japanese side.

應運信官署官制公布により通信管理局を通信局と改稱し...

通信官署は通信局(總務、經理、監督、電氣の四課)...

交通・通信—通信

Table showing communication statistics for the Japanese side from 1910 to 1921.

右の外に事變以來軍の要請により附屬地外に設置したる軍事郵便所現在三十六を存す。又昭和八年度に於て貯金管理所二箇所を新設する。

郵便 郵便機關は始政當時僅に四十三に過ぎなかつたが、今や郵便局所數二百三十二、軍事郵便取扱所三十六を算し、郵便機關の完備を見るに至つた。

通常郵便物數

Table showing postal statistics from 1914 to 1920, including categories like '通常郵便物數' and '小包郵便物數'.

Table showing postal statistics from 1914 to 1920, including categories like '内鮮運送' and '管内運送'.

は歐亞連絡の樞紐として、國際交通上重要なる鐵路たる關係上、滿洲國內郵便物及び同國發日本内地、朝鮮並に中國内地、朝鮮並に中國宛郵便物を運送するほか西伯利亞經由日本内地朝鮮及び南洋方面發着郵便物をも運送す。

Table showing postal statistics from 1914 to 1920, including categories like '實計數' and '延計數'.

Table showing postal statistics from 1914 to 1920, including categories like '實計數' and '延計數'.

小包運關 大連管内陸内地向小包郵便物は一箇年二十萬箇の多數に上るが此等は大連管内が我國關稅法施行地域外に屬する關係上從來内地に到着後、他の一般外國より輸入小包郵便物と同様稅關検査を施行され發受人の不便少くなかつたので、之を救濟するため大連管内内地稅關吏を駐在せしめて通關検査を執行し、且つ小包の差出人より關稅を納付せしむる途を閉き昭和二年より實施したが、最近一箇年間に於ける通關小包數は約六十萬箇にして内地向小包の殆んど全部は本制度を利用して發受人に多大の

便益を與へて居る。また内地發の小包は總て大連に於て滿洲國稅關吏の検査を受けて居るが、そのため内地受取人の不便少からずこれがため去る七月より新京に通關事務取扱が開始され非常な便利となつた。

東京大連間航空郵便發着表 (昭和十一年九月一日改正)

Table showing flight mail statistics between Tokyo and Dalian from 1914 to 1920, including dates and destinations like '東京', '大連', '山形', etc.

交通・通信 通信

日支郵便 國民政府では昭和七年七月二十三日附を以て東北郵政局の封鎖を行ふと共に、滿鐵附屬地及び關東州宛の郵便物は當然日支間に於ける特別郵便協定に依り除外せらるべき筈であるにも拘らず、支那側は滿鐵附屬地行郵便物の取扱を拒絶した。

交通・通信—通信

金剛配當株式	七八萬株	三、九〇〇萬圓
滿洲國幣配當株式	一一二萬株	一、一〇〇萬圓
政府所有株式(全額拂込の現物出資)		
日本國政府	三三萬株	一、六五〇萬圓
滿洲國政府	一一二萬株	六〇〇萬圓
民間所有株式		
金剛配當株式(甲種)	四五萬株	五、五〇〇萬圓
滿洲國幣配當株式(乙種)	一〇萬株	一、二五〇萬圓
株主昭和十年十二月末現在)		
金剛配當株式	八、〇四八名	七八萬株
滿洲國幣配當株式	一、八一四名	二三萬株

電 信

有線電信 有線電信は對支那關係に於ては明治四十一年十月日支電信協約締結され翌四十二年三月遼陽、奉天、鐵嶺、新京、安東の六箇所に於ける日本側電信局と當該地の支那電信局間に連絡電信線を架設すると共に一面大連、芝罘間に海底電信線を敷設し、支那内地及び諸外國發着電報の連絡通信を取扱ひ、又日本内地との發着

電報は元佐世保、大連海底線と朝鮮の煤介連絡に依る京城奉天線之二條を以て疏通せしめたが、通信増加の趨勢に鑑み大正八年五月朝鮮迂廻による東京大連間、同年六月大連奉天間直通電信線を構成し、同時に朝鮮の煤介連絡を廢したが、更に通信疏通の安固を期するため、一條の日滿間直通海底線増設の必要を認め、長崎大連間海底線は大正十年四月より開通運用した。朝鮮經由下關、奉天間直通電信線は大正十五年十二月より開通した。大連大坂間有線直通電信線の敷設もを見た。

電々設立當初の和文電報取扱局は僅に二三四であつたが、現在は約倍加して五〇九となり、また有線電話回線も會社引續當時一九三回線が、現在二二六回線に増進し、その線路の延長も、現在約一萬三千軒に増し總延長四萬六千軒に達してゐる。

無線電信 無線電信は明治四十一年十一月海岸局を大連灣沙嘴子に設置し、次で大連上海間航路の汽船轉丸に船相局を設置したの初まる。電電會社管下の無線電は現在運行中のもの三十計畫中のものを三を數へるが、就中特筆すべきは新京無線電氣に於て本廠は主として國際無線電信、電話を目的として工費約二百餘萬圓を投じて完成したるものにして最新優秀の機械設備器具は總

て我國無電技術の粹を集めたものである。その施設の主なるものを擧ぐれば同電氣は寬城子送信所、孟家屯受信所、新京無線電信中央操務所及び新京無線電話中央操務所の四より成り、對獨備用二〇キロ、對米用二〇キロ、對日電話用二〇キロ、對東京無線電信用二キロ及び一キロ五〇〇ワット各短波無線機を有し大連、奉天、哈爾濱との間に高速度自動通信の連絡を爲し、また電話の有線中繼は三都市間に約九五〇軒の高能率の搬送式電話線が完成してゐる。現在直通連絡は桑港、伯林、巴里と行つてゐるが、歐米發着電報は現在年約五萬餘通である。

對外通信連絡 對日有線として大連—長崎、大連—佐世保の二海底線と大連—東京—奉天—東京、奉天—大阪、新京—奉天—下關—大阪の朝鮮經由の陸戰とがあり無線としては大連—東京、大連—大阪、新京—東京、哈爾濱—大阪、奉天—大阪の各線有す。對朝鮮には京城、平壤、新義州、圖們、南陽、會寧、慶源等に通ずる有線無線の直通線あり、支那との間には有線直通線は大連—芝罘の海底線と昭和十年二月復活した奉天—天津間の自動二重回線を始め、無線として哈爾濱より上海、天津、芝罘の各地へ直接連絡する。

電信線路米數 (單位米)

年 度	陸 線				海 底 線				電 線				電 報 線			
	滿洲内	日 滿	國 際	計	滿洲内	日 滿	國 際	計	滿洲内	日 滿	國 際	計	滿洲内	日 滿	國 際	計
昭和八年末	1,352,555	1,100,000	1,100,000	3,552,555	1,100,000	1,100,000	2,200,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	
昭和九年末	1,352,555	1,100,000	1,100,000	3,552,555	1,100,000	1,100,000	2,200,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	
昭和十年末	1,352,555	1,100,000	1,100,000	3,552,555	1,100,000	1,100,000	2,200,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	

電信發着中繼數

年 度	陸 線				海 底 線				電 線				電 報 線			
	滿洲内	日 滿	國 際	計	滿洲内	日 滿	國 際	計	滿洲内	日 滿	國 際	計	滿洲内	日 滿	國 際	計
昭和八年末	1,352,555	1,100,000	1,100,000	3,552,555	1,100,000	1,100,000	2,200,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	
昭和九年末	1,352,555	1,100,000	1,100,000	3,552,555	1,100,000	1,100,000	2,200,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	
昭和十年末	1,352,555	1,100,000	1,100,000	3,552,555	1,100,000	1,100,000	2,200,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	

電 話

關東廳通信局繼承後は先づ大連、遼陽、奉天、鐵嶺、新民府、公主嶺、旅順、安東縣及び柳屯に於ける電話を一般公衆用に開放し、爾來各地商工業の發展につれ新京、撫順、大石橋、金州、開原、四平街、本溪湖、瓦房店、沙河、海城、鞍山、普蘭店、鏡子窩、郭家店、龍岳城、范家屯、松樹、

交通・通信—通信

新寧子、昌圖、雙廟子、城子驛、新城子の各地に電話交換業務を開始したるほか、各地に電話所及び公衆電話所を設置するなど普及發達の目覺しきものがあつた。電々引續後は先づ新京、吉林、齊齊哈爾、鞍山等の主要都市の電話を自動式に改裝すると共に、全滿洲各地に新に電話交換局を開設した。なほ大連、奉天等には分局を設置し急激なる電話需要を緩和するに努めた。線路施設

も會社設立當初に比し市内線路は三、五六七軒を増加して二四、四六八軒、市外線路延長は二一、一三三軒を増加して現在四五、九六九軒に達してゐる。電話加入者數も引續當時の三萬に比し二萬六千を増加した。なほ滿洲は自動式電話の普及率頗る高く全加入者の約七割を占めてゐる。

(昭和十一年六月末現在)

Table with multiple columns listing educational institutions, their locations, and details. Includes names like '長嶺', '伊通', '磐石', '扶餘', '同德', '吉林', '安東', '遼寧', '山東', '河南', '湖北', '湖南', '四川', '貴州', '雲南', '陝西', '甘肅', '寧夏', '青海', '新疆', '察哈爾', '綏遠', '熱河', '遼北', '遼東', '吉林', '黑龍江'.

Table titled '省區立中學校一覽表' (List of Provincial and District Middle Schools). It lists schools such as '吉林中學校', '長春中學校', '哈爾濱中學校', '安東中學校', '遼寧中學校', '山東中學校', '河南中學校', '湖北中學校', '湖南中學校', '四川中學校', '貴州中學校', '雲南中學校', '陝西中學校', '甘肅中學校', '寧夏中學校', '青海中學校', '新疆中學校', '察哈爾中學校', '綏遠中學校', '熱河中學校', '遼北中學校', '遼東中學校', '吉林中學校', '黑龍江中學校'. It includes columns for school name, location, and other details.

Table titled '縣立中學校一覽表' (List of County Middle Schools). It lists schools such as '吉林縣立中學校', '長春縣立中學校', '哈爾濱縣立中學校', '安東縣立中學校', '遼寧縣立中學校', '山東縣立中學校', '河南縣立中學校', '湖北縣立中學校', '湖南縣立中學校', '四川縣立中學校', '貴州縣立中學校', '雲南縣立中學校', '陝西縣立中學校', '甘肅縣立中學校', '寧夏縣立中學校', '青海縣立中學校', '新疆縣立中學校', '察哈爾縣立中學校', '綏遠縣立中學校', '熱河縣立中學校', '遼北縣立中學校', '遼東縣立中學校', '吉林縣立中學校', '黑龍江縣立中學校'. It includes columns for school name, location, and other details.

Table with multiple columns listing educational institutions, their locations, and details. Includes names like '長嶺', '伊通', '磐石', '扶餘', '同德', '吉林', '安東', '遼寧', '山東', '河南', '湖北', '湖南', '四川', '貴州', '雲南', '陝西', '甘肅', '寧夏', '青海', '新疆', '察哈爾', '綏遠', '熱河', '遼北', '遼東', '吉林', '黑龍江'.

Table titled '省區立中學校一覽表' (List of Provincial and District Middle Schools). It lists schools such as '吉林中學校', '長春中學校', '哈爾濱中學校', '安東中學校', '遼寧中學校', '山東中學校', '河南中學校', '湖北中學校', '湖南中學校', '四川中學校', '貴州中學校', '雲南中學校', '陝西中學校', '甘肅中學校', '寧夏中學校', '青海中學校', '新疆中學校', '察哈爾中學校', '綏遠中學校', '熱河中學校', '遼北中學校', '遼東中學校', '吉林中學校', '黑龍江中學校'. It includes columns for school name, location, and other details.

Table titled '縣立中學校一覽表' (List of County Middle Schools). It lists schools such as '吉林縣立中學校', '長春縣立中學校', '哈爾濱縣立中學校', '安東縣立中學校', '遼寧縣立中學校', '山東縣立中學校', '河南縣立中學校', '湖北縣立中學校', '湖南縣立中學校', '四川縣立中學校', '貴州縣立中學校', '雲南縣立中學校', '陝西縣立中學校', '甘肅縣立中學校', '寧夏縣立中學校', '青海縣立中學校', '新疆縣立中學校', '察哈爾縣立中學校', '綏遠縣立中學校', '熱河縣立中學校', '遼北縣立中學校', '遼東縣立中學校', '吉林縣立中學校', '黑龍江縣立中學校'. It includes columns for school name, location, and other details.

Table listing educational institutions in Manchuria, including names, locations, and enrollment figures. Columns include school names, locations, and enrollment numbers.

Table titled '省立實業學校一覽表' (List of Provincial Vocational Schools). It details school names, locations, and enrollment statistics across various provinces.

高等教育 民國時代には奉天に東北、馮... 大学の二大勢力が... 法政の二大勢力が... 附いて初等教育は漸次普及発展を辿り...

國立專門學校並同程度學校一覽 (民國二年九月末現在)

Table listing national specialized and equivalent schools as of September 1913. It includes school names, locations, and enrollment data.

私立專門學校一覽

Table listing private specialized schools. It provides details on school names, locations, and enrollment figures.

教育・宗教・出版 滿洲國側の教育

Table titled '幼稚園一覽表' (List of Kindergartens). It lists kindergarten names, locations, and enrollment statistics.

その他 私塾及び幼稚園に關しては右の通り。 私塾一覽表 (民國元年十二月末現在)

禮俗事業

孝子節婦表彰 全國に互り孝子節婦並に社會教化上功績著しいものを選び、之に表彰状銀盾を授與し其の行を表彰す。二年度に於ける表彰者数は孝子女十六名、節婦九十四名、烈婦一名、社會教化上功績顯著なるもの二十八名である。

敬老禮節 德行高き八十歳以上の古老を選び勞ふに酒食を以てし、且紀念として之に敬老章を授與し普く國民に孝節の意ぶべき所以を知らしめんとするもので、唐徳元年度は一一九名を選定した。

文廟祭祀 王道建國の大精神に基き民國革命以來廢止せられたる文廟祭祀を復興して國民精神の涵養に資すべし、毎年春秋上下の日に全國に互り盛大なる祭典を執行す。唐徳二年度に於ては春期を三月十二日秋期を八月二十九日に執行した。

國樂社 國樂は祭典に使用する雅樂で、これが保存を圖る爲に國樂社を創立し以て學生を養成す。新京西二道街孔子廟内に置く。

日本側の教育

學校教育 關東州内の教育施設は概ね關

東州廳の經營するところで、滿鐵附屬地に於ては少數の私設學校を除くは、關東局の監督の下に滿鐵會社が之を經營してゐる。從來の附屬地外滿鐵地區の居留民會立その他の小規模なる日本側小學校の經營については新に本年度より日本政府の認可の下に滿鐵會社に委託された。言語及び課程の關係上、日本人教育と滿洲國人民教育とは分割され、主として初等及び中等教育に於ては日滿分離主義を採用し、專門及び大學教育は共學制を採用してゐる。

附屬地外日本小學校 附屬地外日本小學校經營に關する問題は昭和九年頃より在滿邦人居留民會設立日本小學校の經營方を滿鐵會社に委託する問題が擡頭し、同十年本問題が具體化を見るに至つて、外務省、對滿事務局、滿鐵會社、其の他滿洲關係各機關の協議の結果、昭和十一年度より滿鐵會社に委託することに決定した。同年三月滿鐵會社は政府の認可を受け四月一日より附屬地外日本小學校の經營に當ることとなり、茲に在滿日本初等教育の一元化を見るに至つたのである。昭和十一年度に於て滿鐵會社が受託する豫定数は七十八校に達してゐる。

關東州廳經營の學校 日本人教育に關しては小學校二五、高等女學校二、中學校三、

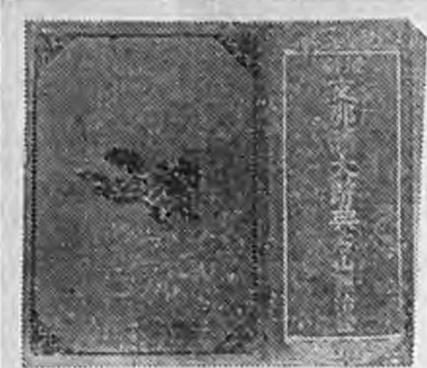
工業學校一、青年學校六、家政女學校二、滿洲國人民教育には公學堂二三、商業學堂二、農業學堂一、高等公學堂一があり、日滿人教育の爲に設置せる旅順工科大学がある。此外、滿洲國子弟の初等教育には洲内各會屯の設立に係る公立普通學堂一一六がある。

大連市經營の學校 大連市經營の學校は大連中學校、大連衛生高等女學校、實務者養成のための大連實業學校及び滿洲國人のみを收容する大連協和實業學校がある。

滿鐵會社經營の學校 附屬地に於ける教育事業は殆ど滿鐵會社が之を擔當してゐる。現在同社が經營するものは、日本人の初等教育に於て尋常高等小學校五、尋常小學校四五、分教場四、朝鮮人補助學校二、滿洲國人の初等教育に於ては公學校一〇、日語學校一、補助學校八の各學校がある。日本人の中等教育に於ては、中學校六、高等女學校七、商業學校二、農業工業學校各一、滿洲國人の中等教育に於ては南滿中學校一つがあるのみである。補習教育は男子側青年學校一四、分教場七、實業補習學校六、女子側としては青年學校女子部一五である。

幼兒教育は、幼稚園二六、分園一、補助幼稚園二あり、專門及び高等教育に屬する

最新 支那語大辭典



新學期特價發賣!! 語數十四萬語。字彙にして百科辭典を兼ねる空前の大辭典!!

支那語學界の泰斗、石山福治先生が十餘年間、密を耐し寢食を忘れて精進苦して大成せられたこの『最新支那語大辭典』は、收載語數十四萬語を越ゆる空前の最大なる大辭典であるが、石山先生は既に『支那語大辭典』、『支那語大字典』、『日支小辭典』、『日支大辭典』等の著あり、廣く世に行はれてゐるが、それらは悉く比度の『最新支那語大辭典』を大成するための準備であつた。從來の辭典には、熟語と俗語が殆んどなかつたから、小説の翻譯や日常の民間生活には役に立たなかつた。茲にも本辭典の編纂が開始された。

本辭典の特色

- ☆現行の俗語・方言・訛語・俚語・隱語・附屬語を最も豊富に收載する。
- ☆語句の取捨は邦人に關係深き、北支滿洲を主要目標とする。
- ☆全支滿洲に共通なる民間詞彙を毎字毎語羅列して註記した。
- ☆本邦人に必要な固有名詞は殆どこれを備へた。
- ☆語の排列は最も慣用された索引を用ひた。
- ☆語句の解釋は簡明にして要を盡くし冗長を避けた。

石山福治著

四六判洋裝一八〇〇頁

特許單式印刷 定價六圓

新學期特價五圓

發賣 大連 旅順 奉天 新京 京城 瀋陽

大阪屋號書店

第一書房

東京市國町三番町一
電話 九段三三四四番
振替東京六四二二三番

關東軍 御指定旅館
南滿洲鐵道

大和新館

新東京二條通り五五
電話(3)二六五七番
五三五二番

各室電話
設備完全

滿蒙旅館

新東京大通り三
代表電話(3)二五〇八番
五五九四番

御客様
第一のサービス

關東軍 御指定
滿鐵會社

新京ホテル

新東京富士町二丁目角
電話代表三一六二六番
帳場三一三六〇一番



度量衡器及計量器ノ製作修覆竝ニ賣買
前項ニ掲クル事業ニ對スル投資
前記各項附帶スル業務

滿洲計器有限公司

新東京特別市豐樂路一〇五號一郡會館

營業種目

曹達硝子、クリスタル硝子
食卓用器、本硬質汽罐用ゲージ類、
炭坑火舎、汽船、自動車、信
號燈用レンズ、飲食品、化粧品、藥品用
各種瓶類、各種明取硝子(ブリズム)
各種セード、硝子熔融用坩堝硝子原料



南滿洲硝子株式會社

大連市榮町二番地
電話(三)一七四〇(販賣會計)
(三)二五七四(倉庫)
振替口座大連五四八〇番
電話略

輸出入 (金物、機械、自動車、タイヤ、ロープ、ベルト、礦油、其他、工事並船船用品、
保險部 火災、海上、運送、生命、各保險代理 倉庫部 一般貨物保管、通關代辦
石礦部 石灰石、苦灰石、硅石、螢石、滑石、花崗石、砂、砂利 工事部 土木、建築、設計監督、工事請負



株式會社 福昌公司

大連市山縣通二二三番地 電話代表二一七七一番
專務取締役 相生常三郎

出張所 (鞍山、奉天、四平街、安東、新東京、撫順、吉林、ハルビン、北安鎮、齊々哈爾、
爾、海倫、圖們、羅津、牡丹江、錦州、平泉、下板城、六家子、青島、上海)

大連市山縣通



國際運輸株式會社

電話代表本局二—三二五一番

業務出張所
滿洲出張所
在張地

物品販賣業、問屋業、運送業、保險並ニ船舶代理業、造船及附帶事業
營口、奉天、新京、哈爾濱、齊々哈爾、安東縣、圖們

大連市山縣通百八十二番地

三井物產株式會社大連支店

電話(代表)(三)七一〇一番

取扱品目

滿洲特産物、石炭、ガソリン其他石油製品、鐵道用品、電氣用品、電線、機械、金物、麥粉、砂糖、麻袋其他、麻製品、小野田セメント、木材、建築材料、糸織物類、硫安其他化學肥料、礦石類、鹽、紙類、機寸、ゴム原料、酒精其他工業藥品、染料、醫藥品、海産物、罐詰類、日東紅茶、ブラジル珈琲、其他食料品

大連市日吉町一番地

滿洲製麻株式會社

專務取締役 井上輝夫

大連市山縣通一三七番地

滿洲特産物
輸出貿易商

瓜谷長造商店

工場

電話區二三三三六番・區二四四二六番
發信略號(ウ)又ハ(ウリ)
受信略號(タイレンウリタニ)
大連市鹿島町一番地

大連市山縣通百五十八番地

社團
法人 **滿洲土木建築業協會**

電話 (二)四六二二三番
(二)二三四三番

營業科目 火災保險、海上保險、運送保險

自動車保險

營業區域 關東州、朝鮮、南北滿洲、支那
一圓、沿海州地方、西比利亞

大連市榮町三十七番地

 **大連火災海上保險會社**

電話 (代表)三一八〇五番(晝)
三一八〇七番(夜)

代理店 滿洲、朝鮮、支那樞要各地

(營業種目)
土地建物の經營處分及委託管理

東拓直營

株式會社 **鴻業公司**

專務取締役 吉岡義三郎

本店 大連山縣通一四二番地
事業地 大連、奉天、新京、哈爾濱、安東、青島、天津其他滿洲各地

國產舶來洋服地
東亞ベイント販賣店
日進製作所メタルラス販賣店

合資會社 **加藤洋行**

本店 天津日本租界旭街一番地
大連店 大連市紀伊町二十六番地
奉天店 奉天千代田通八番地
新京店 新京日本橋通二十五番地
哈爾濱店 哈爾濱中國九道街四十二番地

本社 大連市晴明臺



大夕夕

電話 (二)三〇三六番
(二)八五一四番

レザー・パツキング製造

大連市西通り四八

福堀井商店

電話 (2)三二五二番
振替大連二六三六番

大連市楓町百二十番地



株式會社 錢高組大連出張所

電話 〔長〕 二二九二番
〔長〕 二二五七七番
〔長〕 二二七七九番

新京出張所 新京八島通十八番地ノ二
奉天出張所 奉天蕪浪町四十五番地
京城出張所 京城府竹添町四十五番地

本社 大連市西區土佐堀通リ三丁目二十四番地
支店 東京市京橋區木挽町五丁目二番地

製品科目

ソヤレツクス フレーク(撒豆粕) ソヤレツクス オイル(原油、白絞油、)
ソヤレツクス レシチン(藥用、工業用、製業用)

大連市寺兒溝拾四番地



滿洲大豆工業株式會社

營業事務所 電話 二二四〇番
工場事務所 電話 二二九四番

本社事務所 新京大同大街六〇一號地



滿洲電信電話株式會社

電話 二二七三一番

營業科目 一、電燈電力ノ供給並之ニ附帶スル業務ノ經營 二、當會社ト同種事業ニ對スル投資
需要狀況 供給電燈數 一、八六五、〇〇〇燈 供給電力契約容量 一八五、〇〇〇KW
資本金 金九千萬圓(全額拂込済)

新京大同大街



滿洲電業株式會社

電話 二二二二番

社長 吉入 副社長 孫江

正太 豐田

激郎彦

支店 本
支店 本

新京大同大街三〇一
大連支店、奉天支店、新京支店、哈爾濱支店、安東支店、營口支店、錦縣支店、鞍山支店、吉林支店、齊齊哈爾支店
新義州電氣株式會社、遼陽電燈公司、開原電氣株式會社、外二〇社

滿洲・朝鮮・中華民國・臺灣・南洋に益々雄躍發展しつゝある大阪屋號!!



大阪屋號「圖書目錄」(有力版)を編纂し、送呈。最寄書店に御申込あれ。

滿・鮮・臺・支圖書輸出並出版業

大阪屋號書店

東京市日本橋區吳服橋二丁目

卸部		支店	
奉天千代田通	電話 奉天二五七四番	京 城 本 町	電話 本町六八四・二〇八六番
京 城 明 治 町	電話 本町六八四・二〇八六番	新 京 中 央 通	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 浪 浪 町	電話 大連五五五番	華 天 春 日 町	電話 大連二五九番
大 連 常 盤 橋	電話 大連三三六番	京 城 本 町	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 青 葉 町	電話 大連一五五番	大 阪 本 町	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 一 五 五 番	電話 大連一五五番	大 阪 中 央 通	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 二 五 九 番	電話 大連二五九番	大 阪 南 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 三 三 六 番	電話 大連三三六番	大 阪 東 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 五 五 五 番	電話 大連五五五番	大 阪 西 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 三 三 六 番	電話 大連三三六番	大 阪 南 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 一 五 五 番	電話 大連一五五番	大 阪 東 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 二 五 九 番	電話 大連二五九番	大 阪 西 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 三 三 六 番	電話 大連三三六番	大 阪 南 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 五 五 五 番	電話 大連五五五番	大 阪 東 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 三 三 六 番	電話 大連三三六番	大 阪 西 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 一 五 五 番	電話 大連一五五番	大 阪 南 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 二 五 九 番	電話 大連二五九番	大 阪 東 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 三 三 六 番	電話 大連三三六番	大 阪 西 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 五 五 五 番	電話 大連五五五番	大 阪 南 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 三 三 六 番	電話 大連三三六番	大 阪 東 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 一 五 五 番	電話 大連一五五番	大 阪 西 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 二 五 九 番	電話 大連二五九番	大 阪 南 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 三 三 六 番	電話 大連三三六番	大 阪 東 區	電話 本町六八四・二〇八六番
大 連 大 連 五 五 五 番	電話 大連五五五番	大 阪 西 區	電話 本町六八四・二〇八六番

ものに、南滿洲工業學校(大連)滿洲醫科大學(奉天)、教育研究所(奉天)がある。なほ職業教育としては南滿洲工業專門學校附設の職業教育部一、開城農業、本溪湖工業の各實習所があり社會教育に屬する圖書館は二四、分館四がある。
 東洋協會經營の學校 大連商業學校、大連女子商業學校及び支那語を研究せしめる旅順語學校がある。
 日露協會經營の學校 哈爾濱に哈爾濱學院があつて、日本人、露西亞人を收容してゐる。

幼稚園一覽

(昭和十一年五月末現在)

關東州	校數	保母數	幼兒數
關東州	三	三	一〇二
關東州外	六	六	二〇〇
計	九	九	三〇二

小學校 明治三十九年九月大連及び旅順に小學校が開設せられて以來現在一二七校(關東州經營二五校、滿鐵經營二〇二校)あつてその兒童數は五七、五二三名に達してゐる。教育の主旨及び形式は内地の小學校令に準じ、唯内地と異なる點は義務教育でなく、支那語が必須科目になつてゐることである。實習科目とし試験的に商工兩科を高等學年に課してゐる。

教育・宗教・出版——日本側の教育

小學校一覽

(昭和十一年五月末現在)

關東州	校數	級數	兒童數
關東州	四	四	三三三
關東州外	五	五	五二二
計	九	九	八五五

公學校(堂) 明治三十七年五月金州民政署が金州學堂を設立して漢文の教授を始めたのが日本の滿洲國教育の嚮導である。(明治三十九年官立として公學校南金書院と稱す)。是より先き三十八年關東廳は旅順大連に各一學堂を設立して現在に至つた。修業年限は初等科四年、高等科二年、補習科一年である。一方滿鐵は明治四十二年並に公學校を設置したのを始めとし沿線各地に公學校(現在公學校と稱す)を設けてゐる。修業年限は初級二年、高級二年、高級には附屬地外滿洲國初級小學校卒業者の入學に便ならしむるため高級課程を置く。現在の公學校(堂)總數(鐵嶺日語學堂を含む)は二十四校で、生徒總數は二萬一千七百八十名に達してゐる。

公學校(堂)一覽

(昭和十一年五月末現在)

關東州	校數	級數	兒童數
關東州	二	二	三三三
關東州外	三	三	五二二
計	五	五	八五五

普通學堂 普通學堂は會村經營に屬し職員はすべて滿洲國人で六歳以上の滿洲國兒童に簡單な初等教育を施してゐる。修業年限四年、土地の状況に應じて補習科一年を置く。之は書房を改善し大正四年六月都督府令第十七號で關東州普通學堂規則を設け同五年四月より實施したものである。現在百十六校、級數六百四十四、生徒數三萬五千人に及んでゐる。

書房 支那在來の教育機關で、地方讀書人の經營する私塾である。その教育法は、一定の組織なく頗る不完全なもので、州内各部落に散在してゐる。その設立に關し大正十一年廳令書房規則を制定したが、その濫設を防ぐために、從來の届出主義を認可主義に改め、教師の資格を一定する規則の改正をした。

書房の教育に一定の修業年限、教科なく、唯、算學に珠算、尺牘を授け、専ら調話記述をなしてゐる有様である。州内には書房の他、滿洲國人有志によつて設立した私立學校があり、何れも關東州私立學校規則により初等教育を行つてゐるが逐年漸次その減少を見つゝある。

中學校 明治四十二年關東廳が旅順中學校を設立したのに始まる。何れも支那語を必須科目としてゐる外は、内地中學校に準

じてゐる。滿鐵會社は、大正六年滿洲國人に高等普通教育を施す爲に南滿中學校を奉天に設けたが、關東廳は昭和七年旅順高等公學校を設けて滿洲國人中等教育のために解放してゐる。

中學校一覽 (昭和十一年五月現在)

Table listing various middle schools (中學校) with columns for school name, establishment date, and student count.

高等女學校 關東廳は明治四十三年初めに旅順高等女學校を設立し、其後小學校の増設に伴ひ、各地に女學校の設立を見た。滿鐵附屬地に於ては大正二年四月、附屬地の小學校に實科女學校を附設し、その地方に於て女子に必要な中等教育を施してゐた。大正九年に至り滿鐵會社は先づ奉天に五年制の高等女學校を開校し、續いて各地

に高等女學校を設け、現在滿洲に於ける女學校は十一校に及んでゐる。支那語を必須科目としてゐる外は、總て文部省高等女學校令に準じてゐる。

女學校一覽 (昭和十一年五月現在)

Table listing various women's schools (女學校) with columns for school name, establishment date, and student count.

家政女學校 關東廳は昭和五年四月大連聖徳小學校内に獨立家政女學校を附設した。又滿鐵會社は、大正二年以來各附屬地小學校に家政女學校(初め實科女學校と稱した)を大正十一年改稱)を附設し、家庭婦人としての必要な教育を授け、修業年限は本科二箇年、専科一箇年であるが、昭和十一年八月より滿鐵會社は所轄家政女學校、家事講習所、機關家事専修科をそれら青年

學校女子部と改稱、本科はそれら女子部本科(二年)専科は研究科(二年)として引繼いで經營することとなつた。

家政女學校一覽

Table listing various domestic science schools (家政女學校) with columns for school name, establishment date, and student count.

青年學校女子部 昭和十年四月二十三日勅令により關東州及び南滿洲鐵道附屬地に青年學校令公布せられ男女部は第一年度として即日施行されたが、男女青年との意を體し第二年度より實施とし十一月六日一日より、地方課、學務課と所轄が系統別であつた家政女學校、家事専修科、家事講習所を青年學校女子部と改稱一元化し學務課の所轄となつた。

を入学せしめてゐる。

實業教育 滿洲に於ける日本人子弟の實業教育機關は、滿鐵會社其他の公私團體が之に當つており、滿洲國人に對する實業教育は、關東州及び滿鐵附屬地の開發に重要な關係があるので州廳並びに滿鐵の兩者に於て適切な施設をなしてゐる。

實業學校一覽 (昭和十一年五月現在)

Table listing various vocational schools (實業學校) with columns for school name, establishment date, and student count.

農商工業實習所 滿鐵會社は昭和三年四月營口に、同年七月遼陽に各商實習所を設立し、同年七月營口に、同年八月公主嶺に各農實習所を、また昭和四年三月撫

順に、昭和九年四月本溪湖に各工業實習所を設けし生徒を總て寄宿舎に收容し必要なる事項を習得せしめてゐるが時勢に對照し昭和十一年度より遼陽(商業)、公主嶺(農業)、撫順(工業)の三實習所を夫々學校に昇格した。

農商工業實習所一覽

Table listing various agricultural, commercial, and industrial practice schools (農商工業實習所) with columns for school name, establishment date, and student count.

特殊學校施設 (昭和十一年五月現在) 滿鐵會社設立の初等學校の教員を養成す。修業年限一箇年。講習科、調査研究科の三科に分れてゐる。(哈爾濱) 講習科、日露協会の經營に係り、大正九年九月哈爾濱に設立され、日本人に對して日露協会の經營に關する教育を施してゐる。修業年限三箇年、中學校卒業生で地方長官の推薦した者を收容する。別に講習科を設け日本人に對して日露協会の經營に關する教育を施し、修業年限は一箇年である。(旅順工務大學) 大學令に準り、大正十二年四月一日設立され工務大學で修業を設け、別に滿洲國人民生の爲に修業科を附設してゐる。建築工學、電気工學、採掘學、冶金工學に分けて他の諸大學の如く修業科を採らず、所定科目の範圍内に於て選擇科目は可成自由ならしめる方針をとつてゐる。昭和十一年四月末、修業一六二名、修業準備科六名、修業二五三名である。(滿洲醫科大學) 滿鐵會社は明治四十四年四月南滿洲鐵道奉天に設置し日滿兩國人に醫學を教授してゐるが大正十一年三月大學令に準り昇格した。大學(四箇年)修業、専門部及び附屬修業科に分かれ日滿共學で、専門部(四箇年)は特に滿洲國人に對し實地醫學に必要なる學術を教へ、修業は三箇年、附屬修業科は一箇年で修業又は専門部に入らんとする滿洲國人に日本語の修業を施してゐる。昭和十一年四月末、修業二八七名、修業準備科二四〇名、専門部一三七名、修業七十七名である。

大連普通學校 大連 大五
大同女子技術學校 大連 大五
大連青年會附屬小學校 大連 大六
大連商科學校 大連 大六
大連女子人文學院 大連 大六
大連女子專修學校 大連 大六
實業補習教育 滿鐵が明治四十三年附屬地内の各小學校及び公學校に實業補習學校を附設した。其後年と共に隆盛に赴き校數附屬地内外を合して三十四を數ふるに至つたが、昭和十年五月一日青年學校令實施と共に沿線所在の各校は全部青年學校に編入せられ規則も亦南滿洲鐵道附屬地實業補習學校規則を南滿洲鐵道株式會社實業補習學校規則と改められ現在七校を存する。全部學科制とし教科目は支那語、英語、日本語、算術、商業、工業、機械、珠算、簿記等で六箇月を以て一期とし科目の難易によつて修業期間を數期に分つ。

實業補習學校一覽

Table with 4 columns: 校名 (School Name), 創立年月 (Established Year), 職員數 (Staff Count), 生徒數 (Student Count). Lists schools like 大連女子專修學校, 大連女子人文學院, etc.

青年學校一覽

Table with 4 columns: 校名 (School Name), 職員數 (Staff Count), 生徒數 (Student Count). Lists schools like 大連青年學校, 哈爾濱青年學校, etc.

滿鐵會社補助學校

Table with 4 columns: 校名 (School Name), 職員數 (Staff Count), 生徒數 (Student Count). Lists schools like 大連會社補助學校, 哈爾濱會社補助學校, etc.

滿鐵會社補助學校 滿鐵會社は日本語普及のため、大正九年から滿洲國初等教育に教員を派遣し、毎年多額の補助を與へてゐる。之等學校の性質程度は日語學堂に類するものである。又同會社は昭和二年六月十五日、朝鮮總督府との協定に基づいて、滿鐵附屬地及び其附近に於ける朝鮮人初等教育機關にも毎年補助を與へ、教員を派遣してゐる。なほ昭和十一年度には滿洲國人側約六萬圓、朝鮮人側約二十萬圓の豫定である。

滿洲獎學資金 滿鐵は創業二十周年記念事業として昭和二、三兩年度から百萬圓を醸出して滿鐵獎學資金財團法人を設け同年四月から事業を開始した。本財團は評議委員會で評議決定した者に獎學金を給與し、その範圍は滿鐵社内外を問はず、在滿邦人並にその子弟に及んでゐる。昭和五年十月現在に於ける支給總人員は二百二十三名、總支給額は五萬七千圓に及び、其の他研究費支給者七名これに對する支給總額は一萬圓に達してゐる。

鐵道圖書の藏書數は約五十二萬九千冊に達し一箇年登館延人員は八十七萬八千餘名に及んでゐる。會社經營の範圍圖書制度は、圖書所在地以外の中間、小學校分發場或は吉林、遼南、龍家屯を始め、遼東、海龍、齊齊哈爾、滿洲里の地にまで及び現在滿鐵所屬約二百餘、運輸實務第一萬五千冊にして、一般の閱覽は貸出をなすほか滿鐵直通列車には列車支庫を備へその數十六萬冊に及び、その他沿線各圖書庫が該地方の諸團體に對し貸與、配給する機關として圖書文庫の設置もある。なほ哈爾濱圖書庫は昭和十一年五月二十二日より哈爾濱鐵路局の管理に關すること、なつた。

Table titled '滿鐵獎學資金支給者一覽' (List of Recipients of Manchurian Scholarship Funds). Columns include 學校別 (School Category), 支給者數 (Number of Recipients), 支給額 (Amount Awarded).

Table titled '滿鐵圖書一覽表' (List of Manchurian Libraries). Columns include 館別 (Library Type), 前年度末本年度末 (Previous/Current Year End), 圖書數 (Number of Books), 閱覽人員數 (Number of Readers).

旅順圖書 大正七年十月旅順千歲町(舊露清銀行跡)關東都府府博物館に設置し昭和四年四月廳令により更に關東圖書館と改稱、博物館から分離し、昭和九年十二月關東廳廢止と共に關東州廳設置され、同

圖書館も旅順圖書館と改稱した。滿鐵圖書 滿鐵會社は明治四十年大連に、同四十三年度には、瓦房店、大石橋、遼陽、奉天、公主嶺、長春の六箇所に各參考圖書館を設置し、漸次沿線各主要地に通俗圖書館を設置し社員及び一般の閱覽に供してゐるが、現在は二十四箇、分館四で滿

三三六

豊家屯 一、七〇〇 三、三〇〇 三、三〇〇
 奉天八幡町 二、三〇〇 三、三〇〇 三、三〇〇
 (高千穂) (八幡) (八幡) 三、三〇〇
 四平 三、三〇〇 三、三〇〇 三、三〇〇
 新 三、三〇〇 三、三〇〇 三、三〇〇
 (電線) (新) (新) 三、三〇〇
 (白菊町) (新) (新) 三、三〇〇
 木 八、〇〇〇 八、〇〇〇 八、〇〇〇
 安 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
 (鶴山) 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
 公 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
 計 五、〇〇〇 五、〇〇〇 五、〇〇〇

旅順博物館 舊滿洲博物館を稱し、大正
 六年四月一日旅順村に開設したが、同
 七年十一月現在の大連市に移転、翌八年四
 月關東廳令に依り關東廳博物館と改稱し
 た。昭和九年十二月關東廳廢止され關東州
 廳設置されるに及び旅順博物館と呼稱する
 様になつた。滿蒙に於ける學術技術其他の
 參考資料を蒐集保存して公衆の觀覽に供
 し、一般の知識及び趣味の向上を圖り、兼
 て學術研究上に必要な資料を供給するを目
 的とし本館を動物、植物、水産、礦物、風
 俗、考古、陶磁器、參考の各部に分け、就
 中考古陶磁器部は滿支全土に亘つて資料を

神 社

概況 現在關東州及び南滿鐵道附屬地
 における神社は關東州十二社滿鐵附屬地三
 十二社その他領事館管内八社合計五十二社
 に達してゐる。これら神社の公認を得たる
 は然れも明治四十一年以後の事であり、就
 中大正四年御大典記念の意味を以て建設せ
 るものが多い。神社の設備は従來區々にし
 て統一せられたる標本なく大體は内地の側
 に倣ひ神殿、拜殿、社務所、鳥居等を完備

仰ぎ特色あるものである。其他先史時代の
 遺物、有史時代の遺物をも陳列してゐる。
 滿洲資源館 大正十五年十月滿洲物産
 考館の名稱で現在の大連市兒玉町に開設し
 たが、昭和三年十一月、滿洲資源館と改稱
 し、更に昭和八年四月、滿洲資源館と改稱
 した。滿鐵會社の經營する所、主として滿
 洲に於ける資源の實状を具さに紹介して、
 その利用開發に資すると共に、産業の振興
 發達に寄與せんとし、併せて滿洲に對する
 常識の普及、科學知識の向上を目的とする
 にある。従つて滿蒙の資源を礦産、農産、
 畜産、林産、水産等に概括分類して、之等
 の實物標本を初め、構圖圖表等を蒐集作成
 して陳列してある。

するものもあるが氏子數一般に少數なるた
 め其維持經營困難にしてその施設を完了し
 得ざるもの少くない。大連神社、奉天神社、
 撫順神社、新京神社、安東神社の如きは相
 當の設備を持つてゐるがその他は小規模の
 神殿、拜殿を備ふるに過ぎず、大正十一年
 五月勅令第二百六十二號により關東州及び
 滿鐵附屬地に於ける社寺行政に關する關東
 長官の權限を明確にせられ同年十月關東廳
 令第七十八號關東州及び南滿洲鐵道附屬地
 神社規則並に第七十九號關東州及び南滿洲
 鐵道附屬地寺院教會廟宇其他布教所規則公
 布せられ、それによつて南滿洲における社
 寺宗教行政の統一整備を見るに至り始めて
 之等の施設に對して一定の規程を定め神社
 としての尊嚴と體裁とを具備して來、こと
 に滿洲事變以來吉林、錦州、哈爾濱、齊々
 哈爾濱その他各地に新に完備せる新社の建設
 を見るに至り昭和十年度においても旅順金
 刀比羅神社、蓋平神社の建立を見た。
 滿洲神職會 本會は神職を以て組織し大
 正九年六月設立、事務所を關東局内に置き
 現在會員三十六名あり、會員研究連絡を圖
 り内地の神職會と氣脈を通じて斯道の發展
 を期するを目的とし毎年講究會團體講演會
 その他各種の事業を進行してゐる。

神 社 一 覽 (昭和十一年九月)

名	所在地	祭神	例祭日
大連神社	大連	天照皇太神 大國主神	九月一日
金刀比羅神社	同	大物主神 崇德天皇	九月一日
惠比須神社	同	事代主神 天照皇太神	九月十日
沙河神社	同	天照皇太神	九月十日
關水神社	同	崇德天皇	九月十日
排樹屯神社	排樹屯	崇德天皇	九月十日
小野田神社	同	崇德天皇	九月十日
周水神社	同	天照皇太神	九月十日
金州神社	金州	天照皇太神	九月十日
普蘭店神社	普蘭店	天照皇太神	九月十日
魏子窩神社	魏子窩	天照皇太神	九月十日
瓦房店神社	瓦房店	天照皇太神	九月十日
熊岳城神社	熊岳城	天照皇太神	九月十日
大石橋神社	大石橋	天照皇太神	九月十日
海城神社	海城	天照皇太神	九月十日
登州神社	登州	天照皇太神	九月十日
觀山神社	觀山	天照皇太神	九月十日
千山神社	千山	天照皇太神	九月十日
遼陽神社	遼陽	天照皇太神	九月十日
安東神社	安東	天照皇太神	九月十日
鳳凰城神社	鳳凰城	天照皇太神	九月十日
劉家河神社	劉家河	天照皇太神	九月十日
草河口神社	草河口	天照皇太神	九月十日
通遼神社	通遼	天照皇太神	九月十日
新臺子神社	新臺子	天照皇太神	九月十日
開原神社	開原	天照皇太神	九月十日
昌圖神社	昌圖	天照皇太神	九月十日
四平街神社	四平街	天照皇太神	九月十日
公主嶺神社	公主嶺	天照皇太神	九月十日
郭家店神社	郭家店	天照皇太神	九月十日
新京神社	新京	天照皇太神	九月十日
范家屯神社	范家屯	天照皇太神	九月十日
吉林神社	吉林	天照皇太神	九月十日
哈爾濱神社	哈爾濱	天照皇太神	九月十日
齊齊哈爾神社	齊齊哈爾	天照皇太神	九月十日
延吉神社	延吉	天照皇太神	九月十日
通遼神社	通遼	天照皇太神	九月十日
榮興神社	榮興	天照皇太神	九月十日
錦州神社	錦州	天照皇太神	九月十日
旅順神社	旅順	天照皇太神	九月十日
蓋平神社	蓋平	天照皇太神	九月十日

宗教

概観

満洲における宗教は支那固有のものとして最近日本その他の外国より扶植せられたものとの二大別に分けることが出来る。満洲における在来宗教は甚だ複雑を極め佛敎、道敎、儒敎、回教、喇嘛敎等があり何れも幾百年の歴史を有し民族的にも社會的にも政治的にも教育的にも頗る密接なる關係を持つてゐた。これに近來日本人の信仰を主として歐米諸國より傳來せる基督敎並に最近勃興しつつある新宗教などが入り込み益々複雑多岐となつた。これら種々の宗教のうち、回教及び基督敎を除いては他は何れも雖然として宗教的の系統を缺き佛敎、道敎の祭神もまた互に混淆してしまひ、同一人が佛敎徒と道敎の信者とを掛け持ちしてゐることすらある。

日本人側の宗教

概況 満洲に於ける日本人側宗教を大別すれば、神道、佛敎、基督敎の三つに分ける事が出来るが、其各宗派別を示せば左の如し。

神道—神道本局、天理教、金光教、大社教、巫住

佛敎		基督敎	
高野(木曾)	大谷派、興正派、眞言宗(高野山派、醍醐派)、淨土宗(親鸞派、如來院派)	日本基督敎會、組合基督敎會、福音ルーテル、天主教、聖公會、メソヂスト教、カトリック教、教世軍、ミカリー教會、ホーリネス其他	
宗(曹洞宗、臨濟宗)	日蓮宗(元一教派、木門法華宗、願本法華宗)		

地	寺院數	神道	佛敎	基督敎
關東州	大宮、川口、浦和、東京	1	3	1
關西州	京都、大阪、神戸	1	2	1
中部州	名古屋	1	2	1
北陸州	金沢	1	1	1
東北州	仙台	1	1	1
北海道	札幌	1	1	1
支那	奉天、長春、大連	1	1	1
朝鮮	京城、平壤	1	1	1

満洲人の宗教

概況 在来の宗教、即ち道敎、佛敎、儒敎、回教、喇嘛敎等はいづれも支那同様に満洲人の生活を支配してゐるが、就中佛敎は古來知識階級に尊崇され、道敎は民衆的宗教として信仰深く、佛敎は道敎の影響を受けてその信仰形式に於て道敎と相通するものがある。なほ寺院設立出来を概観するに四種に分けられる。(1)宗教宣傳の道場。(2)賑濟又は福源新福を爲すもの。(3)神佛像の發見に依るもの。(4)戰役記念。其内(3)の目的が最も多く、更に之を區分する時は發財の新願、安産の新願、子供の出世新願、疾病悪疾の退治、天災の救済、耕地に於ける害蟲驅除、農作物の豐饒若くは大漁を得る等個人的若くは公共的に起因するものである。

佛敎—滿洲に佛敎の傳來したのは高句麗(西國)

紀元前三七年より西紀六八八年迄の時代に西域の僧侶を招いたことに始まり、その後、唐、金、の時代(西紀七三三年より一三三四年に遼)には佛敎を建立して僧侶を擧げたと云はれる。現在行はれてゐる宗派は臨濟宗、曹洞宗、淨土宗、眞言宗、天台宗等を主として三十餘派があり、その區別は田舎であるが、僧侶の階級は最も多いらしい。寺廟の經營は極めて困難で都市のものはその境内の宗家を以て、村落では寺田を耕やしてその經濟生活を維持するものが多くない。佛敎の中心地は吉林、伊通、地方で齊齊哈爾、阿什河、輝春等の方面に大々。

喇嘛敎—ラマ教は佛敎の一派であつて、西紀六世紀古くは吐蕃の勇將スロツツアンカシが威力を四隣に及び、使を印度に遣はしてその地の高僧及び僧侶を招き、經典を譯述させ、事には始まり、僧徒チスロツツアンカシの時に至つて西紀在來のラマ教と佛敎との融合を企て、こゝに、ラマ教の源が拓かれその獨特の精神を遂げたるものである。由來蒙古民族は強固な信仰心を持つて、一黨専心其世の冥福を祈り、長子以外に男子があれば必ず一兩名のラマを出すことを以て宗の光榮とするばかりでなく一人出家すれば九族が教はれると信じられてゐる。清朝が蒙古を支配してこの喇嘛教を保護した、めに、滿洲の各地にもラマの寺廟と僧者とを見るに到つたのである。木教には紅教(舊教)と黄教(新教)とがあり、滿洲には後者の系統が多い。

神道—滿洲は立國の精神が王道であり、孔子の唱道樹立した佛敎に由つてゐる關係から孔子祭を滿洲國の國祭とし、既に文教部に於ては大正九年八月九日文教部訓令第九號に據つて孔子祭を尊崇し聖道を復興するため、關係各所に通達して文廟の状況を調査せしめてその敷地を計つた。而して九月五日の孔子祭には全國地に於つて莊嚴な儀式が行はれる。

社	廟	數
吉林	1	1
遼寧	1	1
山東	1	1
河南	1	1
江蘇	1	1
浙江	1	1
福建	1	1
廣東	1	1
廣西	1	1
雲南	1	1
貴州	1	1
陝西	1	1
甘肅	1	1
四川	1	1
湖北	1	1
湖南	1	1
安徽	1	1
江西	1	1
山西	1	1
察哈爾	1	1
綏遠	1	1
熱河	1	1
遼北	1	1
遼東	1	1
吉林	1	1
黑龍江	1	1

布教者數 (康徳三年八月現在)

吉林省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
黑龍江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
山東省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
安徽省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
浙江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
江西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
河南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
湖北省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
湖南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
四川省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
福建省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
廣東省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
廣西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
雲南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
貴州省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
陝西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
甘肅省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
青海省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
寧夏省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
察哈爾省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
綏遠省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
熱河省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
遼寧省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
吉林省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
黑龍江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
山東省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
安徽省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
浙江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
江西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
河南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
湖北省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
湖南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
四川省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
福建省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
廣東省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
廣西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
雲南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
貴州省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
陝西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
甘肅省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
青海省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
寧夏省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
察哈爾省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
綏遠省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
熱河省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
遼寧省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
吉林省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
黑龍江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一

出版物

取締法規

滿洲における出版物の取締法規としては

吉林省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
黑龍江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
山東省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
安徽省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
浙江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
江西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
河南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
湖北省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
湖南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
四川省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
福建省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
廣東省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
廣西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
雲南省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
貴州省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
陝西省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
甘肅省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
青海省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
寧夏省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
察哈爾省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
綏遠省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
熱河省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
遼寧省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
吉林省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一
黑龍江省	佛敎	三三六	回敎	一〇一	天主教	一〇一	基督教	一〇一

明治三十九年十二月關東督府の營業取締規則による新聞發行の許可規則の實施が最初のものである。さらに明治四十一年十月内地現行新聞紙法を參照して一般に命令條項の改正を爲し、やゝ取締法規の實質を備

ふるに至り、同時に保證金制度を設けて取締の實行を期した。
然しながら管内は特殊の地域であつて、政治外交その他一般言論の國策に及ぼす影響が大きく、且又その後の新聞通信事業の長足な發展は到底從來の法規をもつて克く取締の實を擧ぐる事は出来ないといふ見地より、これが根本的改正の議が起り、大正十二年慎重研究が重ねられた結果大正十四年六月「關東州、南滿洲鐵道附屬地出版令」の勅令案が成り、爾來政府に審議中である。従つて現在こゝには内地の新聞紙法は適用されてゐず、特殊の取締形態となつてゐる。なほ近來皇軍の秩序を紊し或は財界を擾亂しその他人心を惑亂して治安を妨害せんとする秘密出版物即ち不禮文書が横行し、その内容も益々悪化して各處不禮行動を誘發激刺してゐる事態に鑑み内地では昭和十一年度臨時特別議會の協賛により不禮文書取締法が實施されたが、日滿關係の緊密不可分性に見地から關東州および南滿洲鐵道附屬地においてもこれを適用することになり昭和十一年八月七日「關東州および南滿洲鐵道附屬地不禮文書取締令」が勅令第二六一號をもつて公布された。なほ輸入出版物に關しても昭和十年八月十七日に至り關東局告示をもつて新取締規則を發布した。これ

新聞事業

概況 日露戰爭以前既に營口において「營口新聞」が發刊されてゐた。これが滿洲

における斯界の草分けである。次で明治三十八年「滿洲日報」が營口で發行されたが、明治三十九年軍政署が引揚げたので、その後半歳にして廢刊の止むなきに至つた。大連では明治三十八年十月末永純一郎氏が邦字新聞「遼東新報」を發刊し、次で明治四十年十月滿洲日日新聞發刊された。明治四十一年十月金子平吉氏は日支融和の機關として漢字新聞「泰東日報」を發行、また大正元年八月滿洲における日本の經營施設状況を報導することを目的に英字新聞「マンチユリヤ、デリーニユース」が生れた。當時州外の領事館内においては奉天に漢字新聞「盛京時報(明治三十九年十月三日創刊)」、營口に邦字紙滿洲新報(明治四十一年一月十五日創刊)安東に安東新報(明治三十九年十月創刊)等殆んど同時に發刊された。
この外奉天、大連、長春、哈爾濱等において邦字、漢字、露字等の新聞發行相ついで起り、いづれもその地方の言論、報導機關としての任務に當つたが、就中日刊新聞として最も權威のあつたのは大連の遼東新報と滿洲日日新聞であつた。然るにこの兩紙は昭和二年十一月合併して「滿洲日報」と改題した。大連にはなほ大正九年創立された大連新聞があり、滿日、遼東兩紙合併後漸次優勢となり、滿洲事變後滿洲日報と共に

に滿洲二大新聞と稱せられるに至つたが、これもまた昭和十年八月七日滿洲日報と合併して茲に第二次「滿洲日日新聞」が出現するに至つた。また滿洲事變後に邦字紙では大滿蒙が大新京日報の前身として創刊、漢字紙では大同報が滿洲國の機關紙として更新したことが目につく。
弘報協會 康徳三年(昭和十一年)勅令第五十一號により滿洲における新聞通信其他の弘報事業の連絡統制を圖りその健全なる發達を遂げしむる目的をもつて株式會社弘報協會(資本金二百五十萬圓)を設立し、哈爾濱日日新聞社、奉天日日新聞社、大同報社、大新京日報社、大北新報社、マンチユリア・デリーニユース社、滿洲日日新聞社、滿蒙日報社、盛京時報社の九社が盟社としてその統制下に置かれた。なほ從來の滿洲國通信、雜誌斯民及び滿洲事情案内所は協會の直營するところとなつた。
▲役員 理事長高橋保太郎、理事三浦義典、岡大矢信彦、岡伊藤太郎、岡運慶俊一、岡兼任、監事中山隆、岡三宅三郎
雜誌事業 邦人雜誌の重なるものとしては滿鐵社員會發行の機關誌協和(月二回)滿洲文化協會發行の滿蒙(月刊)新天地社發行の新天地(月刊)滿洲評論社發行の滿洲評論(週刊)滿

教育・宗教・出版 出版物

日新新聞社發行の新滿洲(月刊)滿蒙評
論社發行の新滿洲(月刊)月刊滿洲社發行

日本側發行定期刊行物一覽表 (時事掲載)

(昭和十一年九月現在)

Table listing various publications such as '大朝滿洲' and '大新滿洲' with columns for title, publisher, frequency, and editor. Includes a note: 'ある、なほ唯一の漢字雑誌として新京新民社發行の新民がある。' and page number '三九四'.

日本側發行定期刊行一覽 (時事不掲載)

(昭和十一年九月現在)

Table listing various publications such as '大連商工月報' and '大連商況' with columns for title, publisher, frequency, and editor. Includes page number '三九五'.

教育・宗教・出版 出版物

滿洲國刊行物

概況 滿洲國內發行物の定期出版物はこれが大別すれば民間刊行物と政府機關刊行物の二種に別つて出来る。而して建國日なほ淺いがため出版物の數も未だ餘り多くはないが、然し最近に至つて著増の傾向がある。即ち民間定期刊行物について見れば康徳元年七月末において滿洲國政府が許可せる國內諸新聞並に雜誌等の數は五十三に過ぎなかつたものが、康徳三年八月末現

在では八十二(日本人經營に係る新聞、例へば盛京時報、大北新聞等、若くは英字紙英人經營の露字紙等を含まず)を數へるに至つて居り、又政府諸機關の定期刊行物も相當多數に上つてゐる。

出版法の制定 滿洲國に於ける出版物の取締りについては大同元年十月十三日教令第百三號を以て出版法を制定し、これに依つて行はれて居るが、右は各種出版物の總對的自由を認むる時は往々にして國家組織の大綱を不法に變更し、又は國家存立の基礎を危殆ならしむる事項、外交又は軍事の機密に關する事項、國家統治上重大なる影響を及ぼす虞ある事項、犯罪を煽動し若くは曲庇し、又は刑事被告人或は犯人を賞恤若くは陪審する虞ある事項、民心を惑亂し又は財界を擾亂する虞ある事項、其他安寧秩序を亂し、又は風俗を害する事項等が制限なく掲載される虞があるといふ見地より、これを防止するため詳細の規定を設けたもので其他出版物に關する手續等を詳細に規定してある。

民間定期出版物表 (康徳三年九月現在)

Table with columns: 名 (Title), 創始年 (Year of Establishment), 發行の時及時間 (Publication Time), 所在地 (Location), 代表者 (Representative). Lists various publications like '大亞細亞', '吉林日報', '吉林農報', etc.

Table with columns: 名 (Title), 創始年 (Year of Establishment), 發行の時及時間 (Publication Time), 所在地 (Location), 代表者 (Representative). Lists various publications like 'ガヂゲール', '哈爾濱江時報', '哈爾濱報', etc.

社會

社會事象

匪 賊

現勢 滿洲國は治安第一主義を標榜してこれが確立を計り、就中その健全なる發達を助成すべき關東軍は、右施策の根幹を以て自ら任じ、各地に分駐し治安確保のため連年奮闘して来た。従つて滿洲國內の治安は年と共に肅正せられ、事變後三十萬と稱せられた匪賊も既に著しく減衰し、今日活動しある匪賊は二萬内外に過ぎず、しかも大集團匪を認めざるに至つ。而して治安肅正實現のためには、日本軍の分散配置と共に、大同二年五月以來治安維持に關する連絡並に企畫の統制に任ずるため中央及地方に治安維持會が設けられ、匪賊討伐のみならず討伐部隊に簡接附随する治安及宣傳工作を併用し、その成果の擴大民心の安定、武器回收、治療、保甲制度の普及徹底、自

衛團の強化訓練、集團部落の建設、警備道路及通信網の建設等各般の工作を實施促進し、軍官一體となりて、匪賊により汚染せられた地域の淨化、肅正に努力中である。然し匪賊は近年共産思想の影響を深めてその行動は益々執拗悪性となり、日滿兩軍は今尚不屈不撓の努力を要する次第で、殊に彼等の巢窟を覆滅し、政治匪特に思想匪の組織を破壊し、更に邊境地方における行政の内容を充實し、黎民をして王化に浴せしむるには、今後における永續的努力に依つるの極めて大なるを思ひ、關東軍及滿洲國各機關は、永年の計畫の下に一段の緊張と努力とを傾注し、速かに全面的治安確保の實を擧ぐべく邁進してゐる。従つてその犠牲も多數に上り、我が在滿諸部隊は事變勃發以來本年七月末日迄に、戦死者(戦傷死者を含む)一、八九一名、病死者一、〇三七名、戦傷者六、九四四名を出し、満洲にありても昭和七年三月より本年二月迄四箇年間に戦死一、七五七名、戦傷者一、八七八名を算

する状況である。
地域 現在匪賊の跳梁する地域は滿鐵線及新京、哈爾濱を連らぬる京濱線及哈爾濱より滿鐵國境に至る松花江とを南北に連ねた線より東の地域であり、匪賊總數の七割はこの方面に露動してゐる。その中でも多いのは濱江省で哈爾濱と東部國境の綏芬河を連ねる鐵道沿線の沿線に多數の反滿抗日匪が蟄居してゐる。是に次ぐものは奉天、安東の兩省に互る東邊道及奉天省の三角地帯吉林省の北部で、少からず反滿抗日匪が策動し、共産匪は主として北滿鐵路線、安東、關東州の方面に蟄居してゐる。

滿洲の共産黨

現況 滿洲共産黨は中國共産黨の支部でありその滿洲省委が全力を傾倒して發展を計つてゐるのは赤色バルチザン工作である。
昭和十年度中の共産黨關係檢舉者數を擧げると
(一) 中國共産黨關係事件(二七名)
(二) 北滿滿人從軍員共(一〇名)
(三) 在滿滿人日本特務機關關係事件(三〇名)
(四) 北滿東部滿洲列車運行動態事件(六六名)
(五) 北滿東部森林從軍員運送事件(二〇名)
(六) 北滿從軍員關係組合關係事件(二八名)
(七) 北滿東部鐵道學校從軍員關係事件(二三名)

合計二百四名に上つてゐる。

大連共産黨事件 中國共産黨滿洲省委が大連市委及び旅大特委を結成、各工場、會社に働きかけ同志の獲得に努めてゐること、當局の探知するところとなり、昭和八年十月一週打盡に關係者五十三名の檢挙をみた事件は張清書、林基堂以下十二名が公判に附されることになり八月七日解禁された。

△犯罪事實 中國共産黨滿洲省委では旅大地方に支部を設置して滿洲心臓部の肅化を企圖し、先づ張清書を派遣して工作に従事させたが失敗に終つたので昭和六年末これと交替に奉天市委書記張清書を密送し中國共産黨滿洲省委臨時大連市委及中國共産黨の黨員養成機關たる旅大特支結成の指令を與へ、張は密に大連に潜入、泰山街二五一番地に志成書局を經營して黨の擴大強化、黨員の獲得に積極的活動を開始し正式に大連臨時市委を組織したが、工作の進むに従ひ守見濱支隊外五箇所の支部設置に成功し、労働者間に勢力の扶植を圖り専ら左翼思想の宣傳に努め支部員の會合、指導を行ひ専ら階級意識の高揚と待遇改善運動、同盟罷業を煽動し有力黨員の養成に力を注ぎ共産主義の宣傳と反日滿思想の普及に狂奔しつゝ、あつたものである。又、黨員林基堂は張の指令により旅順管内王家店會社林清屯に民衆學校を開き優秀な指導者の指導訓練に努め同學校内に共産青年團を組織し之を中心に學生工作、農村青年工作に狂奔中であつた。

滿洲の日本主義運動
滿洲青年同志會 新京に本部、大連、奉天

社會—社會事象

天、安東等に支部を有し、最も活潑な動きを見せ、十年秋には在滿愛國團體聯盟の組織統一を企圖したが成らず二・二六事件後自發的に解散した。
全亞細亞亞細亞民族同盟事務局 九年大連大和ホテルに於ける亞細亞民族大會準備會の決議により大會開催事務のため同事務局は設けられ、五年度に滿洲にて亞細亞民族第一回大會を開催すべく種々運動をなしたが不成功に終り、現在殆んど解消の状態にある。

在滿愛國團體聯盟 十年紀元節當日大連市當局と共同主催で建國祭を舉行、五月二十日には大浦公六百五十年祭を執行したが特別の行動はない。

滿洲の秘密結社

在家裡の現有勢力 滿洲の在家裡の盛んになつたのは近年の事で、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少量の帮員がゐるが漸次全國的に擴大してゐる。その數は普通百萬と稱せらる。
活動狀況 (一) 布教員に勢力擴張 先來秘密結社なるが故に一般宗教の如く布教は努力抗謀の點に出る事なく、ある地域又は或るグループの帮員が日出不定の場所を集會、秘密裡に教則を説き入替者の展望などに當つたが滿洲國成立以來現結社ならんと從來の面目を一新し漸次表面化する氣運が窺はれる。

北滿鐵道河子附近に於ける匪賊の大部分は帮員たる關係上住民は被害を蒙れる手段として入替者増加し公然と布教をなすに至つたが官憲に感知せられるや進行的となり毎月匪賊會合をなす由である。
(二) 事 在家裡の執行機關たる理窟或秘密會社に其他の表裏的結合たる團體の事業として可成見らるべきものがある。然し在家裡自身では事業と稱するものなく、只別個の目的を以て結合せる理窟或秘密會社、東亞傳教會と連繫聯合の下に慈善的事業をなしてゐる。

在滿朝鮮人の現狀

概況 在滿朝鮮人總數は百萬或は百五十萬とも稱されてゐるが、大使館調査の十年十月現在人口は
各領事館管内 七九七、八三二人
滿鐵附屬地 三二、〇八一一人
滿 東 州 四、三八九一人
計 八三四、三〇二人
朝鮮人の滿洲移住は移民の保護獎勵によるのでなく諸々の自然的原因によつてゐる。即ち人口過剰と凶災の頻發、經濟的窮迫による生活の脅威等のため過渡的性質の赴くまま、接壤地たる滿洲に生活の地を求めたものと、日韓併合以來政治的不平分子が多く移住したものとである。而して過去に於ては凶作や政治的不満が主たる原因であつたが、現在では朝鮮に於ける人口過剰と經濟的落伍者の逃避が主たる原因で、逐年滿洲

移住者数は激増してゐる。

在滿朝鮮人増加表 (大使館調査)

年 別	男	女	計
昭和五年末	1,200	1,000	2,200
同 六年末	1,500	1,200	2,700
同 七年末	2,000	1,500	3,500
同 八年末	2,500	1,800	4,300
同 九年六月末	3,000	2,200	5,200
同 十年十月末	3,500	2,500	6,000

在滿朝鮮人分布状況 歴史的地理的關係から関東省は壓倒的多數で總數の約五九%を占め奉天、安東、濱江、吉林がこれに次いでゐる。

職業	戸數	男	女	計
農	1,200	1,000	800	1,800
工	800	700	600	1,300
商	500	400	300	700
學	300	250	200	450
醫	200	150	100	250
教	100	80	60	140
官	50	40	30	70
職	20	15	10	25
無業	10	8	6	14
計	3,600	3,100	2,400	5,500

二、九七八戸中農家戸數は九九、五二〇で七五%、日傭労働者は七、四%、物品販賣業、賣藥商業の合計五、五%、官公吏、教師、銀行會社員等の傳給生活者は二、六%である。

朝鮮人團體狀況 最も普遍的なのは各地の朝鮮人民會で十年五月末現在數は一〇三、同支部數二〇、未だ當局の認可を得ざるもの一〇、内地人と合同で組織せるもの一七、合計一五〇に達す。次に重要なのは各農村の農民會で九年六月末現在の總數五〇〇餘、職員數一萬八千餘に達し、部落民の相互扶助、土著精神の涵養を圖ると共に、其產品の共同販賣、生活必需品の共同購入、農耕資金融通斡旋など經濟生活上に努めてゐる。

全滿朝鮮人民會聯合會 昭和六年の設立で全民會の連絡並に在滿朝鮮人の希望、意見の綜合機關として調査、産業指導に相當の活動をなしてゐる。

在滿朝鮮人保護施設 本來外務省の所管であるが、大正十年七月總督府との協定により、その保護擔當事務の中主として教育、衛生、牛疫豫防、金融、産業、救濟等の保護助長に關する施設は總督府、警察取締、民會の指導、監督、調査、就緒等の保護取締に關する施設は外務省で行つてゐる。朝鮮人問題に對する當局の指導方針は現在在住

する者に對し先づその生活の安定を計り、次に新に移動する者を指導統制し滿洲國に於ける民族協和の精神に合致せしむるを本旨としてゐる。

北滿の白系露人

滿洲國獨立後ソウエト政府の彈壓に翻へ兼ね滿洲國側へ越境、歸化した白系露人の數は著しく増加したが生活の基礎なく不安な状態にあり、又北滿沿線の白系露人はその生業たる牧畜、養蜂、養蠶、果樹栽培又は野生毒の採取にさへも、小規模農業のため危険を感じてゐる。彼等の相互扶助、民族團結並に社會事業を目的とする團體は約百四十餘を算するが何れも無力な物が多い。白系露人の約四十%は生活の保護あるも残り六〇%は不安な賃金労働者である。北滿接收後の鐵道従業員、警備隊其他への採用は白系露人救濟策の大きなものである。

白系露人事務局

哈爾濱に本局、奉天、新京、大連に支局があり在滿白系露人の移民事務を統括調整をとり、貧民救濟事業、小學校の經營を行つてゐる。在滿白系露人の殆んど全部が加盟してゐる。最近はフランスより滿洲に移住する白系露人の數が増加したことは注目される。

漫然渡滿者

滿蒙長氣に釣られて一攫千金を夢み一定

大 阪 錫 半 の 器

鍍金製品並に喫煙具

記念品に、御進物に、

品質純良の

錫器



錫製酒器

文字、紋章、マーク等御希望に應じ早速調製申上候

お安くて
體裁のよい
アンチモニー
鍍金製品



鍍金製灰皿



錫製貫七ツト

喫煙具

各種

シガレット
パイプ
ライター
ボックス

東 京 東 錫 出 張 店
東 錫 出 張 店
東 錫 出 張 店
東 錫 出 張 店

大 阪 市 東 區 南 久 寶 寺 四 丁 目 角
錫 半 本 店
電話 船場 〇六三三
電話 船場 一八〇〇

販賣御希望
の方は御照
會を乞ふ

新 京

滿洲採金株式會社

理事長 張 弧
副理事長 草 間 秀 雄

煖房衛生水道工事請負並ニ鐵工業

主要製品

竹山式各種放熱器
竹山式伸縮繼手一式
水道鐵管及接手類
鑄鐵及砲金鑄物



本 店 大連市山手町四 電話二一六五五三番
奉天支店 奉天工業區一馬路 電話三〇八一番
新京支店 新京曙町二丁目一八 電話三四七九四番
ハルビン出張所 ハルビン外國四道街八七 電話七二七八番

大連市山縣通り大倉ビル
特產取引人
特產物輸出人

恒裕洋行

常深隆三

電話代表(二・五一八一番
二・五三七二番)

大連市愛宕町七十四番地

家具裝飾品 株式會社
製造販賣 成三洋行

常深隆三

電話代表(二・四二七五番
二・四八五番)

營業種類
膠皮製品
雜貨
藥品
代理
經理
國華牌膠皮鞋
合油株式會社製香肥皂
大連油脂工業製香肥皂
汽車牌毛巾



合資會社

大連洋行本店

第一徵兵保險株式會社
住友生命保險株式會社
三菱海上火災保險株式會社
有隣生命保險株式會社

大連市連鎖街
電話代表(三三二七〇〇番
電話(三)大連二九一一番
電話(夕)又ハ(夕)一
支店 芝罘、四平街、天津

大連株商取引人、株式商品取引人
大連取引所錢鈔取引人

三

株式會社

山田商店

大連市與町十六番地

證券買賣、金銀兩替、人絹麻袋
募集引受、錢鈔取引、綿糸買賣

大連市榮町二番地

大連窯業株式會社

電話 三・一〇三一番

社長 津上延治

洋酒食料品直輸入商

●●● 株式會社

三星洋行

大連市連鎖街常盤通
電話代表 ③二七六一番

工業 洋酒 鐵鋼 建築 衛生 瓦斯 水道 各種
機械 煙硝 器材 器用 品計
械 草子 料具 品計

直輸入 株式會社
貿易商 株式會社

大連市紀伊町二十番地

西川商店

出張所
奉天 電話 代表 國二五八〇番
天津 電話 代表 國二五八〇番
彌生 電話 代表 國二五八〇番
新松 電話 代表 國二五八〇番
老松 電話 代表 國二五八〇番
電話 六八五〇番

株式會社

滿洲取引所

奉天彌生町三十一番地

奉天共營煉瓦株式會社

電話 〔長〕五三六二番
七六四〇番

土木建築請負

大垣組

組主 大垣主一

大連市青雲臺三四
電話二一〇七三番

營業種目

水陸產物ノ委託販賣
並ニ賣買其他



滿洲市場株式會社

奉天青葉町一番地

電話 〔長〕二六三〇番
三八〇〇番
九三〇〇番
六六七八番

大連三業組合

大連市浪速町二〇二

純植物性

養髮料



ワンダフル！
 潑漑たる
 整髮美に
 若返へる

爽やかな香ほり
 清々した洗髮感

善井舗本京東

の目的もなく生活の能力もなく愕然と渡満する者で内地青少年が大多数を占め、彼等は生活に窮した結果は犯罪を生むに到る。で全滿各處では取締に腐心してゐるが殊に大連水上署では事變後特に船舶臨檢班を設けて上陸前に發見し、郷里に照會し歸還せしめ、或は仕事を見付けて就職せしむる者もある。

州内附屬地失職者一覽

(關東局調査、昭和十年十月中)

地名	失業者	漫然渡満者	浮浪者
大連	21	1	1
金州	1	1	1
普蘭店	1	1	1
遼陽	1	1	1
鞍山	1	1	1
本溪	1	1	1
撫順	1	1	1
岩手	1	1	1
秋田	1	1	1
山形	1	1	1
福島	1	1	1
茨城	1	1	1
栃木	1	1	1
群馬	1	1	1
茨城	1	1	1
栃木	1	1	1
群馬	1	1	1
石川	1	1	1
福井	1	1	1
山梨	1	1	1
長野	1	1	1
岐阜	1	1	1
愛知	1	1	1
三重	1	1	1
滋賀	1	1	1
京都	1	1	1
大阪	1	1	1
兵庫	1	1	1
奈良	1	1	1
和歌山	1	1	1
鳥取	1	1	1
徳島	1	1	1
香川	1	1	1
高松	1	1	1
愛媛	1	1	1
高知	1	1	1
福岡	1	1	1
佐賀	1	1	1
熊本	1	1	1
大分	1	1	1
宮崎	1	1	1
鹿児島	1	1	1
沖縄	1	1	1

社會事業

邦人關係社會事業

恩賜財團慈善資金(州廳内) 明治大帝御下賜あり本財團を設立、爾來御下賜金及び配當金並に寄附金の交付を受け毎年社會事業助成費として二萬圓内外を交付してゐる。

關東州廳方面委員(大連民政署内) 昭和五年十二月創設、大連全市を五方面四十三區に分ち各委員一名宛を置く、うち滿人九名、參事八名、十年度取扱成績次の如し。
 社會調査 四、五六四件 農産保護 二、八二四件
 保護救済 一、七五二件 金品給與 一、五八五件
 相談指導 一、五五五件 児童保護 六二五件
 周旋紹介 六八九件 教化福利 四六九件
 戸籍整理 一一三三件 其他 三九四件
 計 一五、五七〇件

日本赤十字社滿洲委員本部(州廳内) 旅

順、大連、金州、普蘭店、雙子窩、營口、遼陽、奉天、新京、安東、吉林、哈爾濱、鄭家屯、錦州に支部を有し十年七月現在會員數は日本人五〇、六三七、滿人及外人五五千餘計一〇六、一九三人で奉天、大連に赤十字病院、哈爾濱、錦州に診療所、本部及錦州、一面坡、大連小崗子、大連埠頭、遼陽、新京、通化に救療所を有す。又、金州、柳樹屯、普蘭店、周水、雙子窩、安東(二)に少年赤十字團がある。

(大連市職業紹介所) 常盤町社會館内) 十年度取扱成績は求職男一、六三一、女二〇一人でそのうち就職せるもの男四二六、女一三一人であつた。
 (奉天職業紹介所) 奉天日吉町、滿鐵經營) の事業成績(自十年十一月二十日至十一年二月七日)は求職男一、八八、女二二人で、就職男五五人、女八人である。

(新京職業紹介所) 新京市北安路社會館内) 事業成績(自九年十一月至十年三月)は求職男五二一人、女三八人で、就職男二五六、女三八人である。
 (大連市常盤町) 常盤町) 農産保護立金より十萬圓を借入れ市特別會計に繰込み運用す、十年度成績は貸付十一萬三千二百四十四圓、回收十萬一千九百八十一圓、利子收入一萬百七十五圓、浪費總分七千七百五十四圓であつた。
 (財團法人大連宏濟會) 惠比須町代表者(張本政) 州内唯一の滿人經營に係る滿人慈善救濟機關である。
 (財團法人大連聖愛醫院) (橋野町) 基督教慈善醫院の名にて同教育者の手に創立された。

社會——社會事業

日本側社會事業團體一覽

Table listing various social welfare organizations in Japan, categorized by type (e.g., 保幼, 保老, 保貧) and location. Columns include organization name, establishment year, and address.

皇室と社會事業 社會事業の不振を御輪念遊ばされ大同元年三月御内帑金二十萬圓を御下賜、康徳元年三月一日登極御大典の佳節には社會事業振興の御心を以て一百萬圓の御下賜あり恩賜財團普濟會の組織を見、なほ五萬圓を以て細民を救恤せしめ千圓を以て津國犧牲者遺族を撫恤せしめられた外、滿洲國中央社會事業聯合會に一萬圓を御下賜、民間社會事業の獎勵補助を行われ、その他水災凶作に際してはその都度御内帑金を賜わつてゐる。

滿人關係社會事業

社會事業行政並統制機關 (一) 中央行政機關 中央に民政部地方社會科があり地方社會事業の監督助成に任ずると共に賑恤、救済及國內官私營社會事業の振興獎勵を關り労働に關する事項をも管掌する。又特別行政區劃たる興安各省に對しては蒙政部に民政部があり總括的社會事業行政を管掌する。

社會——社會事業

(二) 地方行政機關 各省に於ては民政廳行政科内に、北滿特別區に於ては行政處内に、新京特別市、奉天、吉林の各市には行政處地方科内に社會科を設け、哈爾濱特別市には行政處内に社會科があり、専ら社會行政事務を管掌し、各縣には内務局で本事務を分掌してゐる。

滿人關係社會事業

皇室と社會事業 社會事業の不振を御輪念遊ばされ大同元年三月御内帑金二十萬圓を御下賜、康徳元年三月一日登極御大典の佳節には社會事業振興の御心を以て一百萬圓の御下賜あり恩賜財團普濟會の組織を見、なほ五萬圓を以て細民を救恤せしめ千圓を以て津國犧牲者遺族を撫恤せしめられた外、滿洲國中央社會事業聯合會に一萬圓を御下賜、民間社會事業の獎勵補助を行われ、その他水災凶作に際してはその都度御内帑金を賜わつてゐる。

〔全國總聯合會〕 在理教の経歴修養社の事務執行部であるが滿洲國にては國體精神の色彩をなくし善良な社會事業として發展してゐる。元來國內各地の同會は北平總會の統制下にありつたが、建國後新設分會が總會に昇格し各地方分會はその命令下にあり現在分會三百餘を數へてゐる。

〔紅十字會〕 宣統二年大清紅十字會が創設されたが會員は少數の官吏に限られ内容も淺薄、事務も頗る粗雑はなかつたが、日露戰役の際、上海地方紳商は滿洲人民を救済せんとして、英、米、佛、蘭、米、各國宣教師の援助を得て上海萬國紅十字會を組織し、今日に至る迄、戰時、天災時に治療救済事業に力めて來た。

〔世界慈善聯合會〕 民國十六年天津に創設された大同元年滿洲國成立と共に中國慈善聯合會の名を現名に改めた。

〔信字會〕 聖賢遺訓を士格を實踐するを目的とし、約十の書かれた紙冊は到る所より拾ひ集め信字の精神普及に努めてゐる慈善團體である。

〔孔學會〕 滿洲國建國の始め王道精神の振興のため趙伯博博士が儒術復興會を組織し、北平に創設され、滿洲各地に分會を設け傳道の熱心精神に著き滿民子弟教育、掃除、慈善、監獄所等の經費を事業として來たが、滿洲國建國と同時に北平總會より分離し、新京分會が總會に昇格した。

〔五福山前衛教化傳道會〕 北平に總會があり、滿洲各地に分會を設け傳道の熱心精神に著き滿民子弟教育、掃除、慈善、監獄所等の經費を事業として來たが、滿洲國建國と同時に北平總會より分離し、新京分會が總會に昇格した。

鮮人關係社會事業

在滿鮮人は大部分貧窮階級に屬し社會施設は最も必要なるに不備甚だ不振な状態にある。朝鮮總督府の施設を除けば都會地の無料宿泊所、授産場、職業紹介所、托兒

所を主なるものとし、右の中、安東、營口の兩授産所を除いては殆んど取るに足らぬ。

〔教育〕 直轄經營のもの開井村、延吉、浪速橋、百草橋、理春に普通學校が各一、補助による私立學校、書室は南北滿洲、開通地方を通じて八十餘校、滿鐵との共同補助に係るもの安東、奉天、撫順、鐵嶺、海龍、開原、新京、哈爾濱、營口、鞍山、四平街に普通學校各一、安東に普通學校に準ずるもの三がある。警察、開井村と延吉に病院を經營、各地民會に衛生部を配置、鐵嶺には高田總督を行ふ、撫順、延吉は毎年七、八萬人、民會を通じての寄附金無算これに社會事業の範圍を出てゐるが初めは何れも滿洲事變乃ち北滿水害運送民の救済事業を主とした。

〔安東朝鮮人民會施設〕 〔授産場〕 昭和四年開設八年擴張、敷地一千坪、建坪三百七十六坪、尙九年三月以來毎年安東、鐵嶺、海龍、開原、延吉の四縣に設置、食糧の一部を補助し以て職能の修習を行つてゐる。敷下製造は十年一月開始し自給自足を以て、解凍、解凍、解凍、解凍、手織機一臺を有す。

〔奉天平民會〕 八年四月開通地に無料宿泊所を開設、九年十月職能紹介所を發營した。

〔營口朝鮮人民會〕 遼河流域一帯に亘る水田事業を目ざして運送來する貧民救済のため、總督府の補助

を公布施行して統制に當つたが、發展途上にある滿洲國の現状は、これら外來労働者を尙或る程度まで必要とされ、年々數十萬に及ぶその入國を認めざるを得ない状態にある。

〔修船會の設立〕 大連港を出入する北支方面の入滿労働者は、滿洲國所定の取締規則によつて統制されてゐるが、從來この出入労働者及びその家族の輸送に當つてゐる日滿船會社間の運轉統制は未だ實施されて居らず、その間隙に乗じて不正船舶業者の航路攪亂を助長する虞れもあるため、入滿労働者輸送に關係ある大連汽船、阿波共同、日本郵船、大阪商船、松浦汽船、政記公司の在通六社が協議した結果、共同計算（過去三箇年間の労働者輸送量による）による合理的統制を行ふこととなり、これが統制

と有るの寄附により十年六月授産場を設置した。收得能力百五〇人、警備員二〇名、足踏機二〇機、手織機二〇機、十年遼河流域の水害運送民を主として收容してゐる。

勞働事情

概況

滿洲に於ける労働者は、これを民族的方面より見るに、絕對多數を占める滿洲人のほかに日鮮人ありロシア人あり、その人的關係は頗る複雑多彩であり、その殆ど大部分は農業労働者、手工業労働者及び苦力階級の占むるところとなつてゐる。而して、滿洲労働界に於ける特殊現象として看過すべからざるものに、支那人労働者の大規模の入出問題がある。これは、滿支兩國の地理的歴史的關係に主たる原因を有するものであるが、この問題は、所謂労働統制として昭和八年以來問題化し、當時當面の方法として支那人労働者の入滿は、必要の最少限度に對してのみ入國を許可するといふ方針を採り、且つ滿洲國當局にあつては關東軍、關東局等と計り、滿洲に於ける労働統制の治安維持上の觀點よりしても必要性和重大性に鑑み、關東局外國労働者取締規則案を基礎として、康德二年三月二十一日法令としての「外國労働者取締規則十四箇條」

入滿労働者經由地別統計 (單位千人)
Table with columns for year (1925-1930) and regions (大連, 營口, 安東, 鐵嶺, 海龍, 開原, 延吉, 撫順, 鞍山, 四平街, 遼陽, 錦州, 承德, 秦皇島, 煙台, 威海衛, 青島, 龍口, 芝罘, 威海衛, 青島, 龍口, 芝罘).

鑛山別統計 (單位千人以下は略す)
Table with columns for mineral types (鐵, 銅, 錫, 鉛, 鋅, 煤, 石油, 天然氣, 鹽, 石膏, 石灰, 燐, 硫磺, 螢石, 雲母, 石棉, 寶石, 玻璃砂, 耐火土, 耐火磚, 耐火瓦, 耐火管, 耐火磚, 耐火瓦, 耐火管) and their respective counts.

社會——労働事情

Table showing labor statistics for various provinces in Manchuria. Columns include province names (e.g., 三省, 熱河, 遼寧), categories like '農業者' (Farmers) and '工場労働者' (Factory workers), and numerical data.

労働移動

季節的に來往する出稼労働者について、滿洲に於ける労働者の大部分は滿・支人であり、その出身地は山東、河北の兩省が多い。現在滿洲國民の主體をなす漢民族の中には、當初より移住の目的を以て渡來せるものもあるが、出稼労働者の一部分が殘

留し定着せるものが可成の大部分を占めてゐる。即ち昭和元年度以降十箇年の平均入滿苦力は六七〇、二六八人、離滿苦力は三九九、六七六人にして差引殘留二七〇、五九二人で、これが殘留率は四〇・四%を示し、昭和十年に於ては、入滿は三月の一〇、二、七六六人を最高とし二月の五、六五〇人を最低として總計四四四、五四〇人で、離滿は一月の五、三、四一八人を最高とし二月の

工場労働者の移動率(昭和十年度調査)

Small table showing migration rates of factory workers in 1931. Columns for '解雇' (Dismissal) and '入' (Entry) with monthly data for '月末現在人員' (Personnel as of month-end).

Table titled '鎮山労働者移動状態' (Migration status of laborers in Zhen Shan). It tracks laborer numbers from June to September across various categories like '工場' (Factory) and '農業' (Agriculture).

撫順炭礦夫の移動

Table showing migration statistics for laborers in the Fushun Coal Mine, including categories like '新入人員' (New arrivals) and '平均在籍人員' (Average number of employees).

労働運動

滿洲に於ける労働運動の現状については、滿洲國建國以來その状態の變化は、從來よりも更に一層労働運動に對する壓迫を

社會——労働事情

強化した結果、労働争議の勃發等も急激に減少を見、特にすべきものは何も見られな。現在ある各種労働團體については、その何れも單なる親善會乃至互助救濟會の如き性質を帯びるものでしかなく、且又滿洲人労働者による労働組合組織運動の如きも、殆ど絶滅の形になつてゐる。

労働團體調査

Table titled '労働團體調査' (Survey of labor organizations). It lists various labor groups (e.g., 日本海員組合, 大連市山縣連), their establishment dates, locations, and the names of their representatives.

滿洲勞働界の福音

第六十九議會に於て問題となつた退職積立金法案が所謂全産の反對を受けつゝも修正通過し、一般労働者にとつて生活安定上に一大福音を齎せる折柄、滿鐵總務局に於ても三萬の常備工に對して福利儲蓄規定を制定しこれを昭和十一年下半年より實施した。右方法は滿鐵邦人社員の退職手當に類似せるもので、前記法案に該當する種々好條件によつて構成されてゐるが、この福利儲蓄の實施は、實に滿洲労働界に於ては最初の惠澤であり、一般工人は擧げて生活の安定に就き得るものであるといふことが出来る。

即ち福利儲蓄では工人の採用と同時にこれら工人に對し強制的にこの福利儲蓄に加入せしめ、採用後十五箇年間は毎月五十錢づゝ積立の義務を負担せしめる一方、會社側でもこれと同額のもの毎月補助するので、工人としては毎月一圓の積立となるわけである。而して、十五年以上勤務の場合には工人自身に於て積立の必要なく、會社側は年額五圓を右の積立に加へることになつてゐる。更に三年未滿の工人が自ら預備を解除せる場合は、一箇月の預け高即ち五十錢に利子が附されるのみで勤続年限の永き

に伴つてその率もよくなる。この實施は労働能率の向上と共に宏観目標も工人の退散防止となる一方、工人側に於ても勤続の結果は生活の安定が得られることになつた。

衛生

滿洲の保健狀態

出生及死亡 在滿邦人については衛生施設充實に伴ふ出生率上昇し、死亡率は漸減してゐる。

出生及死亡率

昭和六年(日本人) 出生 6,500 死亡 2,000 増殖率 29.7% (滿洲人) 出生 1,500 死亡 1,200 増殖率 20.0% 昭和七年(日本人) 出生 7,000 死亡 2,200 増殖率 35.0% (滿洲人) 出生 1,800 死亡 1,500 増殖率 22.2% 昭和八年(日本人) 出生 7,500 死亡 2,500 増殖率 40.0% (滿洲人) 出生 2,000 死亡 1,800 増殖率 25.0% 昭和九年(日本人) 出生 8,000 死亡 2,800 増殖率 45.0% (滿洲人) 出生 2,200 死亡 2,000 増殖率 27.3% 昭和十年(日本人) 出生 8,500 死亡 3,000 増殖率 50.0% (滿洲人) 出生 2,500 死亡 2,200 増殖率 30.0%

法定傳染病患者發生數

年次	國語別	出生數	死亡數	増殖率
昭和四年	日本人	10,000	3,000	70%
昭和四年	滿洲人	2,000	1,500	25%
昭和五年	日本人	12,000	3,500	70.8%
昭和五年	滿洲人	2,500	2,000	20%

昭和六年(日本人) 出生 6,500 死亡 2,000 増殖率 29.7% (滿洲人) 出生 1,500 死亡 1,200 増殖率 20.0% 昭和七年(日本人) 出生 7,000 死亡 2,200 増殖率 35.0% (滿洲人) 出生 1,800 死亡 1,500 増殖率 22.2% 昭和八年(日本人) 出生 7,500 死亡 2,500 増殖率 40.0% (滿洲人) 出生 2,000 死亡 1,800 増殖率 25.0% 昭和九年(日本人) 出生 8,000 死亡 2,800 増殖率 45.0% (滿洲人) 出生 2,200 死亡 2,000 増殖率 27.3% 昭和十年(日本人) 出生 8,500 死亡 3,000 増殖率 50.0% (滿洲人) 出生 2,500 死亡 2,200 増殖率 30.0%

法定傳染病患者發生數 (註) 邦、鮮、外人は昭和十年年度滿鐵衛生課調査による滿鐵附屬地居住者にして、滿人の部は滿鐵二年度滿洲國衛生司調査による全省居住滿人をいふ。



森永製品滿洲販賣株式會社

森永の菓子

大連市雲井町二七番地 沙河局私書箱第六號 電話 四九九〇 四九八四 四九八〇 (九〇二) モリナガ 振替口座大連四二〇二番

〔日滿衛生委員會〕 昭和八年ベスト防疫を模範として滿洲國、關東軍、關東局、大使館、滿鐵など日滿共同組織の下に日滿ベスト防疫聯合委員會を設置したが、同年末に同委員會を日滿防疫委員會と改稱してベストのみならず一般防疫事項に關しても緊密なる連絡統制を圖ることとし、更に昭和十一年八月より日滿衛生委員會と改め、ひろく滿洲に於ける諸般の衛生問題を審議し、日滿兩國に於ける衛生行政の連絡統制に當らしめることとなつた。

結核 滿洲における肺結核死亡者は逐年増加の傾向あり、在滿邦人の死亡率は人口一萬に對し二〇人三分にして内地へ轉地療養する患者の死亡を加へればその死亡率はより高率と觀られる。最近一箇年間の診療患者は平均七千六百餘で死亡率は總患者

百人に對し一人八分に當る。

ツベルクリン反應調査

在滿邦人兒童生徒の結核に關する基礎的調査として、滿鐵地方部衛生課では昭和九年五月下旬より約三箇月に亘り、滿鐵經營に係る鐵道附屬地主要都市の幼稚園より専門學校に及ぶ六十校二二、四一五人の邦人兒童生徒に對し各地一齊にツベルクリン皮内反應検査を實施したが、さらに關東州總務課でも大連醫院、關東體育研究所の協力を得右滿鐵の調査と同方法により昭和十一年一月十一日より約二箇月間に亘り關東州内日滿學校生徒五十一校三四、七八一人(内邦人二二、八一五人)に對し同様反應調査を行つた。

かくの如く廣汎なる地域に亘り系統的に、而も各地一齊に被検査者數萬に對しツベルクリン反應調査を實施せるは日本内地及び諸外國に於ても未だその例を見ないことで、結核に關する世間的な世界的文献なるは勿論兎角内地兒童に比較し甚しく劣悪といはれてゐる在滿邦人兒童の結核に對する豫防對策、その早期診斷上に重要な資料を提供した。

今その調査成績より在滿兒童生徒の結核率を見るに左記各表に示す如く、(一)年齢別では年齢の増加に伴ひ規則的階段的上昇を示し、(二)都市別に見ると大都市は小都市に比して高率となり、(三)また滿人兒童は邦人兒童に比して遙かに高率であり、更に(四)在滿邦人兒童と日本内地兒童との結核率は滿洲の兒童は内

モルヒネ・阿片 慢性中毒新治療剤

福至丸

吾人もし不幸にして一朝治療を誤り「慢性モルヒネ中毒症」に移行し「モヒ」奪除困難に苦惱せらるる者には直ちに「福モナル」療法に依り、然も完全に業に従ひつゝ「モヒ」を除去し速かに舊健康体に復するを以つて安んじて應用せられんことを切望す

適應症
モルヒネ、ヘロイン、阿片、ペンポン、コカイン等
其他同類似麻酔薬
の中毒症

【包装】
五十管入 二五〇〇
二十管入 一〇〇〇
十管入 五〇〇
五管入 二五〇
（片下用）
一八〇
一三〇
一〇〇

製造元 順天堂醫學研究所
發賣元 田邊五兵衛商店
大阪市東區船場



營業科目

土木建築
機械据付鐵骨組立
煖房衛生其他附帶工事
設計及施工請負

電話

事務室 長(2) 四二二三番
長(2) 六九八一番
主任室 長(2) 三五四八番
技術室 (2) 一〇〇七番

大連市山縣通大倉ビルディング内

大倉土木株式會社出張所

本社 東京市京橋區銀座三丁目四

管内詰所
鞍山、奉天、撫順、南坎、本溪湖、
新京、哈爾濱、齊々哈爾、牡丹江、
密山、錦縣、通化、天津、青島

土木建築請負業

本店
支店
營業所
工作所

大阪市東區京橋三丁目七五番地
東京、橫濱、名古屋、福岡、京城
京都、神戸、金澤、静岡、廣島、仙臺、臺北
大阪、東京

大連市東公園町三五番地



株式會社

大林組大連支店

電話代表(2) 二一七一番

奉天	大連	佳木斯	錦州	羅縣	承德	承慶	牡丹	齊哈爾	哈爾濱	鞍山	奉天	新青
工務	出張	出張	出張	出張	出張	出張	出張	出張	出張	出張	出張	出張
場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所

奉天	大連	三河	錦州	朝陽	承德	承慶	牡丹	齊哈爾	哈爾濱	鞍山	奉天	新青
西區	市三	省佳	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北
區南	三春	市佳	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北
三路	三春	市佳	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北
二二	三春	市佳	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北
番地	三春	市佳	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北	縣南	縣北

鐵道車輛線路用品
機器類設計並製作



株式會社

大連機械製作所

取締役社長 高田友吉
專務取締役 佐藤恕一

本店 大連市臺山町
電話四一九一五二番
支店 奉天西塔大街
電話二二〇三番

ネオンサイン
電氣看板
一般看板
野立看板
金立看板
文立看板
字立看板

滿洲電業株式會社全滿各營業所特約
日滿鐵道廣告社特約

光彩の良
故障のない
サービスの
親切な

クロムビネイト

滿洲クロード電氣株式會社

大連支店	大連市越後町三十八番地	(電話二、二三四六番)
奉天出張所	奉天青葉町四二番地	(電話四九三六番)
新京出張所	新京曙町二丁目十八番地	(電話分局五九二二番)
東京本社	東京市芝區芝浦町三ノ一	(電話三田一二五二番)
大阪支店	大阪市西區川口町三二	(電話西三八五五番)

營業品目

製氷(日産能力二二〇噸)
冷藏業(冷藏能力二六〇噸)
清涼飲料水製造
物品販賣業
倉庫業及家屋賃貸業

大連市常盤町二二三番地

大連製氷株式會社

支店 青島寶山路二號 電話三一五四八〇番

出張所 旅順市殿島町二番地 電話二〇二三番

出張所 新京吉野町六丁目三番地 電話一〇一〇番

出張所 電話二七八六番

本店
營業
科目

東京市麴町區丸ノ内二丁目四番地
 物品販賣業・問屋業・運送業
 仲立業・代理業・製造加工業
 工業請負業・上記各營業ニ附帶スル事業・竝ニ保險代理業

大連市山縣通



三菱商事株式會社大連支店

電話代表本局二一八一五一番

主要取扱商品
 大豆・豆粕・雜穀・豆油・硫安・麥粉・砂糖・セメント・木材・石油・重油・機械油類・一般金物・電機其他一般機械類

出張所所在地
 哈爾濱道裡水道街三七
 新京中央通二三滿鮮ビル内
 奉天浪速通三九

出張員所在地
 營口新市街平和街一六ノ二
 安東驛前二四

妊娠時

産褥時

授乳時

オリザニン

三共のビタミンB



オリザニンを服用すれば
 悪阻を去り、脚氣を豫防し、便通を整へ、
 食慾を増す。又胎兒の發育もよく、乳汁分泌
 も佳良となるを認められてゐます………

錠劑、粉末、液、エキス、注射液各種
 (説明書添付) 知名藥舖にて販賣す

東京・室町 三共株式會社

名聲の持續

良きものは榮へ、悪きものは衰へば自然淘汰の原則です

茲に數十年來
名聲を持續せる

中將湯は
何を物語るでせう？

よく効く証左です

下記症状の治癒にはお迷ひなく

一効主一

- 腰足冷感、頭痛、眩暈
- 下腹痛、月經不順
- 子宮病、ヒステリー
- こしけ、産前産後
- 神經衰弱、血氣感胃



中將湯

本舖 津村順天堂
東京・大阪



價定
¥ 0.20
¥ 0.50
¥ 1.00
¥ 2.00
¥ 3.00
¥ 5.00
¥ 10.00

滿洲國の保健衛生施設

滿洲國では建國以來銳意國民保健の向上に留意し(一)地方衛生機關の充實、(二)醫療施設の社會的普及、(三)傳染病の豫防撲滅の三大方針を確立し衛生行政の振興發達を期し本年度において(一)各省に衛生指導官の派遣、各縣に衛生係員の常置、(二)各省に細菌衛生試驗室の設置、(三)各縣に公醫の駐在、國民診療所の設置、(四)衛生技術廠、國立醫院、檢疫所、ベスト調査所、同監視所、同隔離所の設置など近代衛生施設を漸々實行に移しつつある。

○國立醫院 吉林國立醫院、哈爾濱國立醫院、承德國立醫院の三院にて繼續低廉民衆の醫務に應じ本年度毎月平均診察人員は二萬數千に及ぶ。

○檢疫所 國境及海港檢疫に關する事項を專ら更に一般診療所、保健の指導に當る、所在地は山海關、黑河、長春河、滿洲里、營口、安東の六ヶ處である。

○救護所 民政部大臣の管理に關し阿片及鴉片中毒者の矯正救護に當る、所在地は奉天(分所安東、營口、山海關)新及分所哈爾濱)齊齊哈爾分所滿洲里)吉林、承德の十ヶ處。

○衛生技術廠 本廠は新京、分廠は哈爾濱にあり、傳染病その他の病原菌、病畜血清その他の豫防治療材料の製造検査、傳染病豫防方法の講習等を行ふ。

衛生行政機關 中央統制機關として民政部に衛生司を置き、地方機關としては各省公署に衛生科を置く。外に首都警察廳、哈

社會—衛生

爾濱警務廳、新京哈爾濱兩特別市及び市公署に衛生科を設け衛生行政機關の統一を圖つてゐる。

衛生法規 康徳二年より同三年四月迄に制定された衛生法規中主要なるもの左の如し。

阿片法(改正)阿片法施行令同上同施行手続、同上

臨時防疫職員設置に關する件、衛生技術廠官制(改正) 正 衛生法、同施行細則

醫官機關 滿洲醫科大學(滿鐵經營)奉天
醫科專門學校、哈爾濱醫科專門學校、吉林
國立醫院附屬醫學校、哈爾濱僑俄第一、第二
齒科醫學校。

官公立醫療機關 (康徳二年十二月末現在)

種別	名 稱	設置數	診察員數	收 入	設備力
官 立	國立醫院	三	二一	一三五	最大
同 立	公署診療所	八八	八八	一一一	一般
同 立	國民診療所	二八	二八	一一一	一般
同 立	救護所	一〇六	一〇六	一一一	一般
同 立	地方診療院	二〇	二〇	一一一	一般
同 立	地方救護院	四八	四八	一一一	一般

各省別醫師(士)數 (康徳二年十二月末現在)

省 別	醫師(士)數	人口一萬に對する比率
吉林	三〇	二・五
西 滿	二五	二・〇
東 滿	二〇	一・五
南 滿	一五	一・〇
北 滿	一〇	〇・五

齒科醫、産婆、看護婦數 (康徳三年八月末現在)

省 別	齒科醫	産 婆	看護婦
江 省	一	一〇	一〇
黑 省	一	一〇	一〇
三 省	一	一〇	一〇
江 省	一	一〇	一〇
安 省	一	一〇	一〇
東 省	一	一〇	一〇
天 省	一	一〇	一〇
熱 省	一	一〇	一〇
河 省	一	一〇	一〇
北 省	一	一〇	一〇
計	六	六〇	六〇

防疫施設 滿洲國に於ける康徳二年度の防疫施設中最も注目すべきものはベストに關する施設で、日滿共同防衛により全國に特定地區を定め二十五ヶ所にベスト調査所、隔離所、監視所を恒久的に常設して防疫の完備を期した。

(註) 目下全省に互に調査中にて現在判明せるもの右の四省。

(四) 社員保健施設 昭和十年度初めて設置した施設を十一年度に於て更に二名増員して八名とし、従來會社醫院醫師、公醫、嘱託醫をして行はせてきた年一回の社員健康診断を専ら検診醫をして分擔施行せしめる外更に平常に於ける社員健康診断に當らしてゐる。

なほ各地醫院に夫々傳染病棟を附設する外コレラ、ペスト等の特殊傳染病の流行に備へ新設、公主催、四平街、崇天、撫順、安東、大石橋、營口の八箇所にて特殊傳染病隔離所を特設した。更に前述の保健所に於て保健醫を配置し警察官署と連絡し患者の收容治療、消毒場所の消毒、保潔者の検査、種痘及預防注射の施行、夏期蠅の撲滅、野鳥消毒など傳染病の預防撲滅に努めてゐる。

研究施設 大正十四年大連に衛生研究所を設置し滿洲に於ける保健衛生に關する研究、傳染病預防治療劑の製造、衛生試験及び藥品鑑定その他衛生思想の普及宣傳等を行つてゐる。

藝術・娛樂

文藝

この一年間に於て、特に在滿邦人インテリゲンチアの文學活動は著しく、文學運動の総合的な進展を目指しての「滿洲ペン俱樂部」、又純正アマチュア演劇の創造を意圖しての「大連藝術座」の相次ぐ生誕をはじめ、在滿詩人團體或ひは歌人團體結成運動

の隆頭及び「詩と民謡の展覽會」開催、新に同人雜誌「滿洲文藝」の發刊等々。一方、これらの情勢の裡にあつて、作品(特に小説)の制作活動も相當に旺盛な活動性を示し、殊に既成文學團體「作文」に據る人々が最も堅實な活躍をつとめた。

文學

(一) 小説 一般の傾向は作者が、滿洲に在住する日本人としての生活感情を基礎にする立場からの創作態度を示した。本年度に於ける小説の主なる作品を挙げれば、三宅豊子「雪至る」(作文)、「野依とむつ子」(新天地)、「大木一男」(初七日まで)、「作文」(西塔大橋)、「滿洲ペン俱樂部」(青木實)、「張といふ男」(滿洲)、「鈴木啓吉」(沙・九)、「滿洲ペン俱樂部」(秋原勝二)、「仲間」(作文)、「大谷健夫」(人形のやうな女)、「作文」(吉野治夫)、「或る精神病院風景」(作文)、「岡二郎」(歩郎)、「滿洲ペン俱樂部」等があるが、最もユニークな存在を示したものは三宅豊子であつた。

(二) 評論 滿洲の文學に對する再検討再批判、郷土文學、植民地文學の問題、在滿邦人作家の役割の問題等、かなり華々しい論戰が展開された。大谷健夫、八木橋雄二、青木實、武川葉之輔、西村眞一郎、川上旗男等が主としてこれらの問題について論じた。殊に大谷健夫の「土地と文學」は

注目された。

(三) 詩 かつて北川冬彦、安西冬爾等が日本詩壇に重要なエポックを劃した「亞」の運動の歴史を繼承して、滿洲の詩人群はその作品と共に特異な存在を示してゐる。詩人としては、瀧口武士、城小龍、八木橋雄二、井上麟二、安達義信、落合郁郎、小松茂樹、古川賢一郎、加藤郁哉、諸谷司馬夫、小池亮夫、横澤宏、岡冬彦等があり、同人雜誌として活躍をつとけてゐるものには瀧口、八木橋等の「鶴」がある。

(四) 短歌 西田啓之輔主宰「合朋」及び滿洲郷土青術協會發行「滿洲短歌」等の他、中央歌壇各結社の支社等がある。歌人としては西田啓之輔、甲斐水棟、三井翔吉、西島貞子、八木沼淳雄、城所英一等がある。

(五) 俳句 三浦沙美主宰「平原」高山謙一主宰「滿洲」等の俳句雜誌があるが、これもあまり顯著なる活動は見られない。俳人としては三浦沙美、三木朱城、江川三味、久米幸義、高山謙一等があり、一般に「ホト、ギス」派の傾向が多い。

(六) 兒童文藝 昭和八年滿日のごども新聞及び大連新聞の「小學生新聞」(後に兩者合併して滿日・小學生新聞)が日刊として發行されて以來、特殊な兒童文學の存在を一般に認識させるに至つた。童話、童

話作家としては石森延男、政本勇、八木橋雄二、山田健二、中瀨新一、山田樹子郎、久富榮次郎、平方久直、赤塚末造、境一之、杉野一湖等がある。

(兒童文藝) 國語と教育、新童話、愛兒と家庭、満日小學生新聞。

(俳句) 平原、滿洲。

(兒童文藝) 國語と教育、新童話、愛兒と家庭、満日小學生新聞。

(作文俱樂部) (作文) 青木實、秋原勝二、池淵錦江、大木一男、大行健夫、落合郁郎、小杉茂樹、佐々木勝造、竹内正一、富田啓、町原幸二、松原一枝、三宅豊子、吉野治夫。

(鶴) 瀧口武士、八木橋雄二、井上麟二、大原龍三郎、小池亮夫、三好弘光。

(滿洲ペン俱樂部) 鈴木啓吉、大木一男、武川葉之輔、横澤宏、宮川賢、岡田健之介、岡二郎その他。

(滿洲文藝) 森田茂、貞松健二、石川春男、井上徹郎、藤山光太郎、金養茂、吉野治夫、三井虎義、河合滿雄。

演劇

従來滿洲の演藝界は映畫に比し全くみづるべきものなく、劇場の如きも大連劇場(大連)奉天劇場(奉天)長春座(新京)興業劇場(新京)安東劇場(安東)協和會館(大連)記念

社會—藝術・娛樂

公會堂(新京)常盤座(大連)の少數で、而かもこの中純然たる劇場は僅かに大連劇場一箇所、他は全部映畫の常設館または一般集會用を兼ねてゐる。然しながら滿洲各都市の目覺しき發展及び内地よりの移住民の増加は文化乃至は娛樂としての各種演藝(所謂藝術をも含む)を需要しつゝあり、これを裏書するものとして三六年度における滿洲演藝界に左の如き事象を擧げ得る。

△大連演藝座の誕生 在連の同好者によつて組織されるアマチュア劇團で會員は二十五名、昭和十年暮に生る。昭和十一年四月九日第一回公演(出し物「菊池寛父歸る」他二種)を、九月二十六日第二回公演(野上彌生子「唄れかけた家」)を何れも協和會館に行ふ。

△新京興業劇場の閉場及び大連常盤座の舞臺改裝 新興の國都に過しく全滿第一の興業股會を日美して建業の興業劇場は昭和十年十二月十五日閉場、平素は舞臺上にあつた可なり。常盤座は映畫、演藝兩者を目的に從來の發展なる舞臺を修葺、八月末改裝成る。

△石井演藝研究所大連支部の設置 石井演の島田謙三演藝部長となり昭和十一年一月開設、六月二十七日協和會館に第一回作品發表會を開く。

△其他 (一) 滿洲、同埠頭、同鐵道工場、國際運輸、電業公司合同メンバー(二〇名)フランスバンド演奏會(六月十三日夜中央公園、指揮島津義)、(二) 大連管絃樂協會設立(七月下旬)、(三) 在連外人によつて組織される大連アマチュア・ドラマチツク・ソサイエティの公演、五月十九日協和會館。

社會—藝術・娛樂

大ケ、ベチイ田(十二月)田田まつ(流行歌壇...)

映畫

近年全滿に互る日本人映畫館の増加と... 共に日本映畫の進出著しきものあり...

的上映館少く、且つ最近支那並に滿洲國南... 側に於てこれ、支那映畫の輸入に壓迫...

邦人經營の映畫館

Table listing cinema venues, locations, systems, and operating status.

邦人經營の映畫館

Table listing cinema venues, locations, systems, and operating status.

社會—藝術・娛樂

Table listing cinema venues, locations, systems, and operating status.

露人經營の映畫館

映畫製作界 現在滿洲に於ける映畫製作... は概ね記録、教化、報告等の目的の下に...

音樂

一と頃滿洲も流行歌時代を現出したが、... やつと本年度はこの聲が消え主として外國...

映畫班(新京)滿洲映畫班(大連)... 滿洲國情勢の製作にかゝる映畫は協和會が各地に...

新しく出来た團體

出た。即ちブラス・バンド群が綜合されて... 滿洲吹奏樂團の出現を見、その大量編成は...

連) ▲クラツノフ音楽學校(哈爾濱) ▲滿洲
 醫科大學管絃樂團(奉天) ▲旅順工科大学管
 絃樂團(旅順) ▲白系譯人オペラ團(哈爾濱)
 ▲滿洲國軍樂隊(新京) ▲南滿洲工業專門學
 校マンドリン合奏團(大連) ▲ハルビン、パ
 ラライカ合奏團(哈爾濱) ▲滿鐵本社ブラ
 スバンド(大連) ▲沙河口鐵道工場ブラ
 スバンド(大連) ▲滿鐵埠頭ブラスバンド(大
 連) ▲國際艦隊ブラスバンド(大連) ▲電
 業公司ブラスバンド(大連) ▲鞍山製鐵所ブ
 ラスバンド(鞍山) ▲撫順製鐵所ブラスバンド
 (撫順) ▲奉天ブラスバンド(奉天) ▲新京ブラ
 スバンド(新京) ▲大連ハルモニカ合奏團
 (大連) ▲各ダンスホール専屬ジャズバン
 ド。

田小學校) ▲堀里太(奉天高女) ▲宮下トミ
 子(橋本高女)
 在滿外人音樂家 ▲ムットマン(チエロ)
 ▲メデブデフ(ピアノ) ▲アレキシーフ
 (ピアノ) ▲アンナジターフ(ソプラノ)
 音樂會記録 (一月) ▲ムットマン氏セロ演奏
 會 ▲ベルトラメリ氏女子史第二回獨唱會(二月)
 ▲大連、旅順、西貝子に於て滿洲國軍樂隊の大連神前
 高女聲部演奏會 ▲ロシアのオペラ團、アンナ、ジ
 ダーフ女史等唱ふ ▲三浦理女史獨唱會(三月) ▲グ
 エルチンスキ獨唱會 ▲シヤリアピン獨唱會(四月) ▲
 陸軍軍樂隊演奏會(五月) ▲イールドベルグ、ク
 ラウス女史同演會 ▲小唄壽太郎、徳山瑠、小林
 千代子等にロムビニアオペラケストラ軍樂隊演奏會
 (六月) ▲滿洲國交際團團員女演奏大會 ▲四家女子
 リヂンガタの無類と音樂の夕に出演(七月) ▲チ
 ヤツク、タイボー提燈演奏會(八月) ▲ザパルスカヤ
 夫人獨唱會 ▲ザイワツヒ夫人歌ふ(九月) ▲日下部ヨ
 ランガ女史ピアノ演奏會

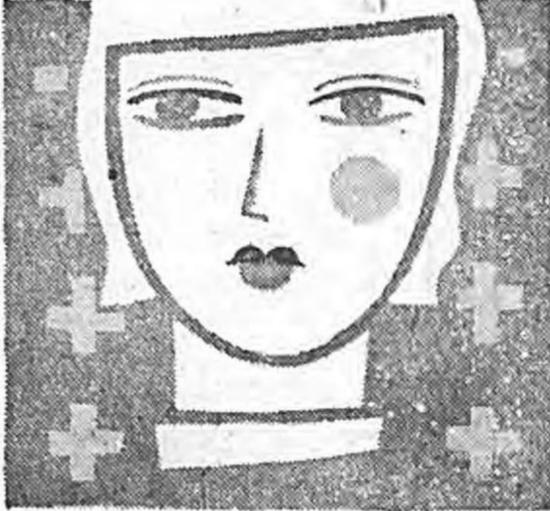
邦樂 滿洲に於ける邦人の人口増加と
 共に邦樂界も漸次活況を呈しつつあるが、
 三五年後半、三六年前半の兩期間もその意
 味に至極平常な過程を踏んだ。個々の分野
 に就いては長唄、清元、常磐津、哥澤、小
 唄、舞踊等三味線によるもの及び三味線を
 從屬させるものは概ね花柳界方面に、義太
 夫、落曲、琵琶等は一般趣味の同好者間に
 顯著な活動を示した。

全滿の傾向として三味線音類では長唄、清元が依然
 優位の地歩を占めてをり、通れ難せながら哥澤も漸次
 隆盛しつつある。昭和十年十月哥澤芝居が奉天、大連
 ヤマトホテル使全滿各所に巡回演習を行ひ、また同
 十一月には特選團七女史の全滿三味線演習行脚等を
 挙げ得る。舞踊方面で特記すべきものは昭和十一年
 七月中旬若柳吉蔵の奉天演習に若柳渡舞大進先鋒會文
 部結成(大演會)がある。三味線に於けるものでは
 曲最も盛んで愛好者も多く、獨立した演奏會も殆んど
 各都府月の如く開催してある。昭和十年八月大連陸軍
 隊演奏會以後はこれが活況に利用され、既に昭和十一年
 八月内地より多數旅団を遣へての各都府合演會は正
 に新界のために萬丈の氣を吐いたものといへよう。義
 太夫及び琵琶は前年度に於いて極めて盛況振りを示し
 したが、三五、三六年度にはや、従前の面目を恢復し
 つつある。昭和十一年三月には琵琶團の發展、向上、
 普及を期すべく在連同好者の發起により滿洲琵琶協會
 が設立された。

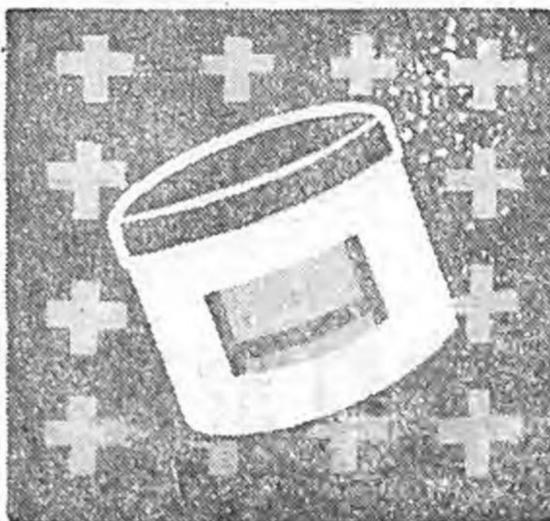
▼落曲 豐後流(泉源一郎、堀田勇、渡邊與十郎、渡
 邊三作、青木正雄、櫻井権九郎、中家幸吉、白根三
 郎、渡邊常司、河合孫太郎、五十嵐吉太郎、福本新
 右衛門、井上圓太郎、青山貞雄) 實生流(若柳祥之
 助、片桐敬博、三原潤子、森川三吉、若柳若波、岩村
 馬、久世哲三、國政與三郎、岩村潤三郎、岩村
 安藤吉三郎) 善多流(白井晴雄) 福王流(八坂芳彦) 龍
 岡流(森川三吉) 延慶流(土田徳吉郎)

▼長唄 東屋流(吉住小之助) 改修東屋流(吉住小一
 郎) 大連文化演習(竹屋彌代治、竹屋七津) 千之五會
 (竹屋六郎三郎) 紫竹會(竹屋六郎) 菊野會(竹屋三喜
 乃) 菊野會(竹屋六代清) その他竹屋六郎次、長島長
 英佐、竹屋佐一郎、竹屋六家女、若村伊藤、竹屋
 口藤美。

▼清元 清元延慶加津、清元延慶佐榮、清元延慶花露、



産國純る誇に界世
 成完い-りの子粒微超
 適快びの・きつの粉白



30 セン
 50 セン
 70 セン

東京 總本
 店商七源野天

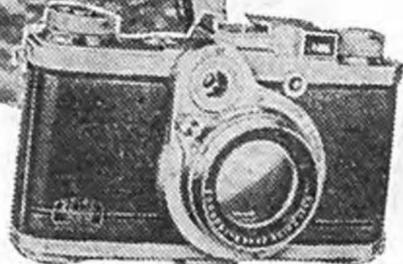
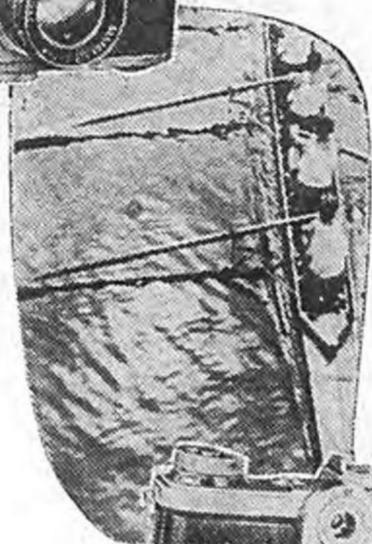




contax III

新しい材料

新しいカメラ



NETAX III

各地關東軍酒保 一手御用達
各本部隊司令部酒保

寫真機械 櫛村洋行
直輸入

小賣部 大連市伊勢町浪速町角 電(2)3737
支店 新京興安大路三二九 電(2)1567

家具



應接用組椅子
洋服箆笥
和服用桐箆笥
本箱・書棚
机・椅子類
茶棚・鏡臺
テーブル掛
カーテン・窓幌
別に設計・製作も致します

街鎖連連大

店具家洋ノカ

番三三一・三電

大日本製糖株式會社
大和染料株式會社
國產ロングピストン、リング
三菱マダグネスト
住友SSKピストン
三井鑛山目黒砥石工場

第一扛重機製作所
愛知工業會
米國ダイアモンドタイトラック
米國ワキコマグネット
米國チャンピオンスパークプラグ

滿洲總代理店

株式會社 永順洋行

本店 大連市大山通五十八番地
出張所 奉天、四平街、新京、吉林、哈爾濱、營口、天津



和洋酒・洋食料・洋食器
直輸入商

株式會社

明治屋大連出張所

大連市信濃町十八番地
電話二六八六(二)番
振替大連四八二番

○白虹會第四回展、○五果會三人展、○五果會七人展
 ○神津港人形洋畫展、○吉田博氏創作版畫展、○辰巳
 女史結婚人形洋畫展、(六月)○大倉國雄新作工藝品展
 ○日本畫明會第一回展、○銀座銀座新現代一流洋
 畫展、○田代步進氏洋畫展、○小本時恵、門松徳
 二氏二人展、○田代村竹田畫師集展、○鈴木誠氏油
 畫展、(七月)○第三美術協會展、○玉置利石氏畫會、
 柳英夫氏畫展、○田代村竹田畫師集展、○鈴木誠氏油
 畫展、○東野大新洋日本畫小品展、○河村めろじ氏寫
 真展、○小松義喜氏洋畫展、○井澤源次氏水畫展、
 ○五果會第八回會展、(八月)○藤田平八郎氏作品蒐
 集展、○藤原淳石氏洋畫展、○三浦繪畫展、○山崎成
 忠氏第二回個展、○藤田恒生氏作品展、○井上長
 三郎氏滿洲第四回油畫展、○東都洋畫聯合展、○滿洲
 醫科大學繪畫作品發表展、(九月)○滿洲女畫展、
 ○池田氏洋畫展、(十月)○三井正次氏新作發表油畫
 展。

寫真

大連 十年中には寫真熱が更に大衆化
 され絶大な飛躍を遂げ大小の寫真俱樂部が
 無數に生れた。寫真機の傾向は相變らず小
 型カメラ就中六六判、ブローニー名刺全盛、
 その内でも昨年より擡頭して来た雙玉レフ
 レックマはその頂天に達しコーライ、スバ
 ーブ、イコフレック等市場の勢力を占め

てゐる。又往年の大形レフ、グラフィック
 ス、ソルトンレフの返咲きも侮れぬ。
 ▼一月 一、滿洲寫真社創立五周年記念懸賞募集
 「冬の滿洲」主催 滿洲寫真社
 ▼四月 一、新光俱樂部主催「初歩寫真講習會」於
 レンサホール
 一、滿洲寫真趣味普及會主催「寫真攝影
 大會」於羽衣女講堂
 一、カローウイツツ商會主催「コンタ
 ヲクス寫真展」於商工會講堂
 一、第三回「カメラ祭」於電氣館 主催
 「子供」
 一、滿洲作家協會主催「個人作品展」於滿
 日樓上
 一、新光俱樂部主催「同人作品展」於樓上
 展

- ▼五月 一、滿洲寫真趣味普及會主催「金大銀カ
 メラハイキング」
 一、イーストマンコダック主催「大懸賞
 寫真募集」於樓上
 ▼六月 一、シニエツト商會主催「パウエル、ウオ
 ルフ氏ツイカ展」於商工會講堂
 ▼七月 一、六團社主催「寫真講習會」於連珠會館
 ▼八月 一、オリエントル主催「海の女王攝影會」
 夏家河子海水浴場
 一、寫真趣味普及會主催「講演と映畫の
 タ」羽衣女講堂にて開催

小型カメラ概況 兎角沈澆氣味のムービー
 も今年に入り八ミリの出現は異狀の飛躍
 を遂げ、イーストマン後援の下に入り協
 會の誕生を見た。
 「大連寫真俱樂部」新光俱樂部、滿洲寫
 真趣味普及會、光影俱樂部、光攝影會、
 大連寫真研究會、遼東寫光會、滿洲作家協
 會、電業俱樂部、大連醫院カメラクラブ、
 三菱寫友會、映畫會、赤陽會、日本航空寫
 友會、滿日寫友會、九人會、大連アマチュ
 アシネマ協會、ハミリ映畫協會。

新京、奉天 新京寫真材料商組合主催の
 下に十一年春第二回カメラ祭が催され、ま
 た森洋行が新京寫友會を形造るに當り、忽
 ち百名の會員を包蔵し毎月例会には非常な
 盛會を極めてゐる。
 「新京寫真俱樂部」 新京寫友會、國都映
 畫研究會。
 「奉天寫真俱樂部」 光攝影俱樂部、寫陽會、
 アマチュアシネタラプ。
 哈爾濱 まだ攝畫時代にあり唯一つ哈光
 タラプのみは會員五十有餘名を擁してゐ
 る。

軍犬

滿洲の軍犬界 世界大戦に際し獨逸軍が
 開戦當初約六千頭の軍用犬を戦線に立て傳
 令、警戒、搜索、救護に、彈藥の補充及作
 業補助等に大きな軍用價値を實現して以來
 各國軍は軍犬の整備に力を注ぎ、一方軍用
 犬は犬界の寵兒となつた。日本では當時直
 接この必要を認めなかつたので一般に普及
 を見守るかに軍隊の一部に於て試験的に飼
 育訓練する程度であつた。ところが滿洲事
 變は圖らずも日本軍犬の初舞臺となりその
 軍用犬の活躍は軍隊は勿論、世人をして軍
 用犬の必要性を十二分に認識せしめた。こ
 の滿洲事變に於ける軍犬の偉大な活動は内
 地に於ける軍用種犬統制の機運を醸成し
 陸軍省後援の下に昭和七年帝國軍犬協會の
 設立を見た。然るに滿洲では在來より獨立
 守備隊に於てその使用を試み鐵道警備に匪
 賊討伐に軍用犬は日夜兵士と共に第一線に
 立ち、又滿鐵其の他でも守備犬として大な
 る功績を挙げつゝあつたので事變に於ても
 あの活躍を示し得たのである。以來、
 滿洲の軍犬界は軍犬報國の思想と結び付き

躍進を遂げて關東軍では遼陽に軍犬育成所
 を設けたが、昭和八年には關東軍、關東局、
 滿鐵等の共同支持の許に民間團體たる滿洲
 軍用犬協會が誕生した。

滿洲軍用犬協會 本部を遼陽に置き、支
 部を大連、奉天、新京、安東、哈爾濱、牡
 丹江、四平街、錦州、吉林、齊々哈爾、海
 拉爾、承德に持ち、全滿の軍犬に關する訓
 育指導を行ひ本部並各支部には獨逸種秀種
 犬を備へて會員犬に種付し、又仔犬の分選
 を行ひ、且訓練所を設けて會員犬の訓練を
 指導し、機關紙軍犬讀本を發行してゐる。
 同會では高橋保太郎中將を理事長に置き、
 本部支部役員には丁實業部大臣を始め日滿
 諸名士が名を連ね文空通り日滿合作の協會
 である。

同會の事業 滿洲軍用犬協會は滿洲に於
 ける軍用犬の増殖を助成し、畜犬思想の普
 及向上を圖るを以て目的とし、その目的達
 成の爲め左記事業を行ふ。
 一、軍用犬を飼養する個人及團體の連絡統一を圖り、
 其事業の進展を助成す。
 二、軍用犬に關する能力審査會、訓練技術會、展覽會、
 品評會等の開催又は其助成をなす。
 三、大體要をなし血統證明書を發行す。

- 四、種犬を飼ひ、種付を行ひ、軍用種犬の純種維持
 及會員相互間種犬の交配、分譲の仲介を爲す。
 亦會員所屬犬を以て、軍用、其他の公體に對し優先
 之に應ず。
- 五、訓練所を設け、本協會所屬犬、會員種犬又は軍隊
 醫藥其他の諸官公衛等に關する犬の訓練を實施す。
- 六、軍用犬の改良を圖る爲め講習及實地指導を爲し、
 犬に關する圖書の編輯刊行をなす。
- 七、軍用種の下に軍用種種犬の検査を行ひ、合格證明
 書を發行す。
- 八、訓練犬の審査をなし、訓練證を付與す。
- 九、軍用犬の血統及能力を調査研究し、之が改良を圖
 る。

園藝

滿洲の基界は、滿洲事變後邦人數の激増
 につれ、好茶家の數亦著しく多きを加へ、
 殊に兩三年來、木谷七段、吳六段の全滿巡
 遊、井上、都谷森兩五段の來滿等によつて
 頗に園藝熱の熾烈を加へた。ただ諸種の事
 情から、内地各都市に見るが如き派手な競
 技會等催されなないために、表面的に盛行を
 示してゐないのは、斯道のために一抹の哀
 寂を感じしめる。

大連 昭和九年一月湯淺唯二、日下卓
 四郎、井上太郎、秋元豐次郎氏等の肝腹で、

在通知名氏士の贊助の下に創立された「大連棋院」がある。一般好棋家の懇親、聚樂、研究の機關として公開され、創立干與者の一人奥平文吾三段外數名の有段者が專屬教師として任に當り、特別會員、普通會員を以て組織の中核として居るが、臨時に參會することも差支へない。このほか、都谷森五段、須一四段、川松二段、杉山二段等がそれ／＼教室を開いて普及發達に努めて居る。

新京 中島比多吉(滿洲國宮内府囑託)、大磯義勇(電業技術部次長)兩三段、西園國三郎二段(前日本棋院關西支部棋士)がアマチュア界の王座を占め、一方、一般の聚樂場所としては「新京棋院」があり、川下初段格指導教授に當つて居る。

奉天 「奉天棋院」、「奉天クラブ」等があり、神山初段等これに據つて斯技の普及發達に努めて居る。

撫順 「撫順棋院」があり、水田二段これを經營し、指導に當る。

その他 哈爾濱に兒玉四段、安東に小峰四段があり、それ／＼教室を開き斯道のために氣を吐いて居る。各地に滿鐵社員クラ

ブの團基部等があり、何れも多數の同好者を擁して居る。

全滿大衆團圓大會 紙上に新しい試みの細解入り日本棋院大手台の名譜を掲げ、斯技の普及に資し好評を博してゐる滿洲日日新聞社は、前年滿洲最初の試みたる「十三段連基戰」を都谷森五段、關、奥平兩三段、濱島二段等在連棋士によつて行ひ、これを紙上に掲げて讀者奉仕の一端としたが、十一年度においては更に「全滿大衆團圓大會」を四月五日滿日講堂で開催した。參加者百十餘名、全勝者十五名を出し、同十二日大連棋院において決勝戦を行つた結果、門上俊二郎氏優勝の榮冠を獲得した。なほ優勝者門上氏は九月一日附で日本棋院から初段を授けられた。同大會の入賞者は左の如くである。

一等門上俊二郎、二等濱島治郎、三等内田一夫以下友田英爾、伊藤結之、初瀬清之助、野間口正人、水元等、長井廣道、飛島治郎、長野宮藏、石井一、青木由太郎、坂本卓枝、井上太市、平野武士、田中短一、三島駿六、宮本圭一、早川正典、白濱徳太郎、吉富秀夫、田中誠助、豐崎正元、坂城鐵也、新橋民夫、新井房吉、田中直治、峰真成、久宮憲一。

在滿有段者

- ▲五段 都谷森五段(大連)
- ▲四段 兒玉辰巳(哈爾濱)、小峰秀興(安東)、須一金之(大連)
- ▲三段 中島比多吉、大磯義勇(以上新京)、林仁作(奉天)、神尾常英(鞍山)、關東、奥平文吾(以上大連)
- ▲二段 須一四段、川松二段、杉山二段、濱島久義、川松平、福田四郎(以上大連)
- ▲一段 野手徳士、杉山泰輔(以上大連)
- ▲初段 佐藤三平、江口藤堂、關口要(以上新京)、池田幸治郎、大久保保吉、神山哲三、松野實(以上奉天)、中山豊實(關西)、谷村國介(旅順)、丸池藤平、門上俊二郎、伊藤結之、高橋唯二、井上太市、荒川隆、市川嶺三郎、濱田正則、中澤松男、甲斐兵八(以上大連)
- ▲初段格 川下庄三郎、廣瀬實、片岡正一、吉田(以上新京)、今井哲三郎、大豆田三三、柴本敏夫(以上奉天)、石橋茂、下津用慶(以上哈爾濱)、永井邦彦(吉林)、兒島正英(承德)、大石靜男(撫順)、吉岡庄左衛門、竹内東太郎、寺尾徳母、雨宮廣(以上安東)、藤谷佐一郎、細江清吉、出尾陽時、橋生大三郎、中村徳三郎、西島廣吉、平田徳太郎、中尾榮之助、櫻田義造、田中務三郎、青木由太郎、金井昇、植村武久(十七歳)(以上大連)

北支概観



面積・人口

支那を地理的に區分すれば(一)支那本部と、(二)屬領とに大別される。而して後者は前清時代蒙古人の支那侵入を防ぐための外壁であり、民國以後は特別區として統治されてゐる地域である。而して現に滿洲國と境を接する察哈爾、綏遠及び内蒙古、寧夏、青海、新疆等がこの屬領として取扱はれ、國民政府成立後始めて一省として統治されるに至つた。通常支那において華北(北支那)とは河北、山東、山西、河南、陝西、甘肅などを總稱したもので、察哈爾、綏遠、寧夏等は内蒙古に屬し支那から云へば本部に非ざる屬領である。従つて河北、山東、山西、察哈爾、綏遠の五省を北支と稱することは妥當でないが、茲には便宜上北支那として取扱つて置く。支那の面積は先進諸國の如く實地に就いて測量を加へたものでなく、主として地圖を基礎として推算したものであるから、直に信憑する譯に行かな

い。新設數省の如きはその面積大體の數字に過ぎない状態である。

北支五省面積統計表

省名	單位平方公里	平方哩	平方支里
察哈爾	1,164,000	450,000	1,164,000
綏遠	1,164,000	450,000	1,164,000
察哈爾	1,164,000	450,000	1,164,000
綏遠	1,164,000	450,000	1,164,000
察哈爾	1,164,000	450,000	1,164,000
綏遠	1,164,000	450,000	1,164,000

北支五省人口統計表

省名	別	戶數	男子數	女子數	合計
察哈爾	省	1,164,000	1,164,000	1,164,000	2,328,000
綏遠	省	1,164,000	1,164,000	1,164,000	2,328,000
察哈爾	省	1,164,000	1,164,000	1,164,000	2,328,000
綏遠	省	1,164,000	1,164,000	1,164,000	2,328,000
察哈爾	省	1,164,000	1,164,000	1,164,000	2,328,000
綏遠	省	1,164,000	1,164,000	1,164,000	2,328,000

政治

日本との關係において北支那が現局勢を

北支政權

形成するまでには凡そ三段のエボックを劃してゐる。塘沽停戰協定締結、北支協定締結、警察政權成立の三段階である。停戰協定 滿洲事變勃發後日支斷交狀態に陥つた時期において滿洲に接觸し經濟、

交通その他すべてに支那の他の地域より密接な關係を滿洲に持つた北支那は頗る反滿抗日の兇焰を燃やし續けたのであるが...

部は北支の徹底肅正を決意し十年五月二十九日酒井天津軍參謀長、高橋駐平武官は政務整理委員會、軍事分會に對して停戰協定違反の諸多の事實を指摘して中央軍、黨部の北支五省よりの總撤退と反滿抗日工作の...

副員を抑留侮辱した事件)に因つて察哈爾省を逃はれた第二十九軍々長宋哲元は察哈爾省政府主席を辭して天津に引籠り北支の情勢に悟る所があり過去の抗日主義を清算して日本との提携の上に北支自治に乗出すべく決意したが...

軍 事

撤消したことは勿論である。冀察政務委員會 北支自治政權は當初河北、察哈爾、北平、天津四省市は勿論山東、山西、綏遠、青島を合せて五省三特別市を領域とすることを理想とされたるものである...

- 陸軍部、○石友三、劉汝明、○齊燮元(○印は國民政府の任命を經ず冀察獨自に任命せる者)(右の内曹汝霖、湯恩和は未就任)
財政部 長 趙 鼎 次 長 趙 之 溥
外交部 長 伍 朝 樞 次 長 伍 朝 樞
陸軍部 長 趙 倜 次 長 趙 倜
海軍部 長 陳 肇 基 次 長 陳 肇 基
司法部 長 王 寵惠 次 長 王 寵惠
教育 長 蔣 夢 麟 次 長 蔣 夢 麟
農商 長 張 謇 次 長 張 謇
工商 長 張 謇 次 長 張 謇
交通 長 陳 延炯 次 長 陳 延炯
郵傳 長 陳 延炯 次 長 陳 延炯
參議院 長 曹 汝霖 次 長 曹 汝霖
國務院 長 曹 汝霖 次 長 曹 汝霖
各省長官
河北省長 魏 邦平 (財政廳長) 曹 汝霖 (建設廳長) 王 景岐 (教育廳長) 李 登 瀛 (教育廳長)
察哈爾省政府 (主席) 劉 汝明 (秘書長) 湯 恩和 (民政廳長) 湯 恩和 (財政廳長) 湯 恩和 (建設廳長) 湯 恩和 (教育廳長)
北平特別市 (市長) 湯 恩和 (社會局長) 湯 恩和 (衛生局長) 湯 恩和 (財政局長) 湯 恩和 (工務局長)
天津特別市 (市長) 湯 恩和 (社會局長) 湯 恩和 (衛生局長) 湯 恩和 (財政局長) 湯 恩和 (工務局長)
北平鐵路局長 陳 延炯
平漢鐵路局長 張 維 祺
石太鐵路局長 湯 恩和
長 湯 恩和 次 長 湯 恩和
河北礦務局長 湯 恩和
井陘礦務局長 湯 恩和

北支概観—軍事

冀察政務委員會組織
委員長 宋哲元
委員 王揖唐、劉哲、曹錕、高福麟、胡景翼、高汝霖、王冠雄、周作民、門致中、石敬亭、張自忠、曹錕、張作霖、冷家驥、○趙德三、○韓中孚、○曹錕、○張作霖

昭和十年六月の北支協定に依り中央軍、冀東北軍は全部北支五省以外に撤退したが十一月二月陝西共産軍が山西に大舉侵入するや蔣介石は中央軍約十萬を山西に入れ共産軍の山西放棄後も尙ほ若干の中央軍は山西省内に留まつてゐる。然し冀察兩省内には中央軍は一兵も留めてゐず宋哲元麾下の第二十九軍が完全に冀察兩省の軍權を把握し事實上冀察政權の中核を爲してゐる。二十九軍以外には冀東の第五十三軍が河北の一隅に二十九軍の友軍として存在してゐるに過ぎない。第二十九軍は十年六月以前即ち察哈爾時代には兵力約三萬に過ぎなかつたが宋哲元が冀察兩省の軍政の實權を握つて以來兵力も飛躍的に増大し現在八萬と稱せられてゐる。なほ宋哲元は國民政府軍事委員會の統帥の下に冀察政務公署主任の職に在り地方軍事の最高權を有してゐる。
冀察政務公署主任 宋 哲 元
同 參謀長 曹 錕
第二十九軍 軍長 宋 哲 元
第三十七師 師長 湯 恩和
第三十八師 師長 湯 恩和
第四十三師 師長 湯 恩和
第四十三師 師長 湯 恩和
第四十三師 師長 湯 恩和
他に軍司令部直轄の特務部隊及び獨立旅四團、騎

河北省の財政は、中央集権型であり、省長が財政の中心を握っている。...

河北省の財政は、中央集権型であり、省長が財政の中心を握っている。...

財政

河北省の財政は、中央集権型であり、省長が財政の中心を握っている。...

河北省歳入出豫算概算

Table with columns for 科目 (Category), 歳入 (Revenue), and 歳出 (Expenditure). Includes sub-sections for 田賦 (Land Tax) and 牙稅 (Dental Tax).

北支概観—財政

察哈爾省歳入出豫算概算

Table with columns for 科目 (Category), 歳入 (Revenue), and 歳出 (Expenditure). Includes sub-sections for 田賦 (Land Tax) and 牙稅 (Dental Tax).

北支概觀——財政

山西省歲入出豫算概算

(民國二十三年度、單位元)

Table of Shanxi Province's budget for 1934, showing income and expenditure across various categories like land, industry, and education.

綏遠省歲入出豫算概算

(民國二十一年度、單位元)

Table of Suiyuan Province's budget for 1932, detailing financial flows for different sectors.

山東省歲入出豫算概算

(民國二十四年度、單位元)

Table of Shandong Province's budget for 1935, covering various administrative and public service expenses.

北平市歲入出豫算概算

(民國二十四年度、單位元)

Table of Beijing's budget for 1935, listing income and expenditure for public works, education, and other municipal services.

天津市歲入出豫算概算

(民國二十二年度、單位元)

Table of Tianjin's budget for 1933, detailing financial operations for urban infrastructure and public administration.

北支概觀——財政

北支概観—貿易

Table showing trade statistics for North China, including categories like 社會局各項經費, 工務局各項經費, etc., with values in 1933 and 1935.

青島市歲入出豫算概算

Table showing the estimated income and expenditure for Qingdao City, including 田賦, 營業稅, 地方稅, etc., with values in 1934 and 1935.

貿易

北支の外國貿易額は世界並に漸減傾向を辿つて居り、輸出入總額について見れば天津港は一九三三年度は二億一千萬元、一九三四年度は一億八千萬元、一九三五年度は一億六千七百萬元弱となつてをり、青島港

について見るも一九三三年度一億一千萬元、一九三四年度八千四百萬元、一九三五年度は八千萬元弱と同じ傾向を示して居る。かゝる減退の原因は支那貿易全體の萎縮とその因を共にして居る以外、更に北支が中南支より極度の搾取を受けて居るといふ事實によつて更に強められて居る。

九、三九三三(元)之が主因は各國別輸出表に見得るが如くその大半を對日輸出の著増に歸する事が出来る。而も今後北支の棉花と羊毛に對しては日支經濟提携、民衆の福祉増進のため相當の犠牲を拂つて日本側が購入する事となつてをり、北支の輸出貿易は久しい不振を脱して活況に向ふ事が既に約束されて居る事は注目すべき事實である。

北支諸港外國貿易額

Table showing foreign trade statistics for North China ports (Tianjin, Beijing, etc.) for 1933 and 1935, including 輸入, 輸出, 合計, and 百分率.

北支諸港輸出入額一九三六年上半年期前年同期比較表

Table comparing import and export values for North China ports in the first half of 1936 against the same period of 1935, including 金額位, 百分數, and 國幣.

北支概観—貿易

北支匯關—貿易

天津港一箇年間輸出入額

Table showing trade statistics for Tianjin Port, including categories like '輸出入之部' (Import/Export Dept), '輸出入之部' (Import/Export Dept), and '輸出入之部' (Import/Export Dept) with columns for 1935 and 1936.

天津港國別貿易額 (單位千円)

Table showing trade statistics for Tianjin Port by country, including categories like '日本', '朝鮮', '滿洲', '英國', '法國', '美國', '香港', '其他'.

青島港國別貿易額 (單位千円)

Table showing trade statistics for Qingdao Port by country, including categories like '日本', '朝鮮', '滿洲', '英國', '法國', '美國', '香港', '其他'.

金融

天津は上海、廣東、漢口と並んで支那四大金融市場の一つである。従つて北支の金融問題を論ずる場合、奥地都市に於ける地方金融並に農村金融の部門を除けば、天津の金融事情を明かにすることによつて大體全般を窺ひ得る。本編は繁を避けるために

北支匯關—金融

天津の金融事情のみに限ることとした。

天津に於ける通貨 一九三三年四月、國民政府財政部が幣制整理の第一歩として兩銀を廢止して以來、通貨は一律に銀元に統一されたが一九三五年十一月幣制改革断行によつて現銀は總て政府系の中央、中國、交通の三銀行券と交換され、自由流通を許さなくなつたため、現在では支那貨幣制度

の基準であつた硬貨「一元」は全く市場から姿を没し、名目貨幣たる所謂法幣によつて代位されてしまつた。現在天津市場に流通してゐる紙幣は法幣たる政府系三銀行券のほか支那、外國銀行合計十四行の發行にかゝる一元、二元、五元、十元、五十元、百元の六種類である。元來支那銀行券は發券地外に於ては若干

の交換手数を要し、これは銀、錢、銅等の有力な所得の一つであつたが、幣制改革後法幣によつて統一されて以來此種不合理な歩打は廢止され、旅行者にとつては非常に便利となつた。

補助貨幣としては、毛票(小額紙幣)角銀(小洋銀貨)、銅貨の三種類がある。毛票は十進法によつて計算され、十仙、二十仙、二十五仙、五十仙の四種、中央、河北省、中國農工、大中、邊業の五銀行が發行してゐるが流通高は大體七、八十萬元と見積られてゐる。小洋銀貨は二十仙、十仙の二種であるが純分率の低位から銀元に對する計算が十進法を離れて下落し、現在大洋一元に對し一元三、四十仙の比率で交換されてゐるが換算率復雜不便なため便利な毛票に押されてその流通範圍漸次縮小され、且つ銷毀されるものも多く、現在では殆んど流通をみず、天津市場に殘されてゐる額は大洋に換算して僅々一千元程度と推算されて居り、既に通貨として取上げるに足りない状態である。銅貨は銅元又は銅子兒と呼ばれ、二十文、十文の二種あり、北支では二十文銅貨のみ通用してゐるがこれは庶民階級的生活に最も緊密な關係を有してゐる。即ち勞働農民大衆の生活必需品は大洋から獨立した硬貨たる銅元建てになつて居るため、

大洋との換算率の變動は直ちに勤勞大衆の生活に影響を與へ、騰落の急激な場合は社會問題として取あげられる。十一年五月も銅元は流通額不足を理由に騰貴したが、その際天津兩市當局は銀行公會、錢業公會等の代表を集めて法定換算率を國幣一元につき銅元四百八十枚に定め、惡性投機業者の銅元相場操縱を防止すると共に銅元紙幣を發行して需要の不足を補つた。銅元票は河北省銀行から發行されてゐるが南京財政部から回收を命ぜられ、一九三四年二月來漸次回收しつゝあり、今年六月臨時發行の分も殆んど回收されてしまつた。元來小洋、銅元は大洋と分離した獨立硬貨の性質を有してゐるため、その大洋との換算率は屢々投機の對照とされ、殊に正月、端午、中秋等の決済期前には高騰を示すのが例となつてゐる。然し銅元市價は私鑄、私鑄による品位の惡化、近年に於ては滿洲その他よりの密鑄、銅價自體の低落と銅價の騰貴等の諸原因によつて最近二十年間に著しい下落を示してゐる。

銅元市價下落狀況

Table with 4 columns: Year, Exchange Rate (銅元對一元), and other metrics. Data points for 1911, 1912, and 1926-1930.

なほ南京財政部は幣制改革徹底化のため十進法による補助貨、二十仙、十仙の白銅貨及び一仙銅貨を鑄造、今春來これを一般に通用せしめてゐるが北支では山東を除くほか未だ流通してゐない。唯十一年七月蕭振瀛が天津市長時代に天津造幣廠で鑄造された財政部鑄造のものと同様の補助貨約三十萬元が市場に現れたが結局私鑄なりとの理由で不通となり未だ解決されてゐない。天津金融市場に直接的な關係はないが、滿洲國と北支との經濟關係が漸次回復すると共に滿洲國幣の北支に流入する額が逐年急激に増加しつゝあり、精確な數字は勿論ないが一部専門家の推算によれば平津兩地に流入してゐる滿洲國幣は十萬圓に達するだらうと云はれる。滿支關係の緊密化によつてこの傾向は感々加重されるであらう。

天津に於ける紙幣流通高

Table showing circulation of banknotes in Tianjin from 1935 to 1936. Columns include bank names and circulation amounts.

Table listing various banks and their financial data, including 交通銀行, 中央銀行, 中國銀行, etc.

天津に於ける銀行、銀號 天津に於ける支那銀行は從來から所謂浙江財閥の支配下にあつたが十年十一月國民政府の幣制改革後に於ける政府系三銀行、殊に中央銀行の進出目醒ましきものあり、中央、中國、交通三銀行が幣制改革後約一箇年間に天津に於て増設した紙幣は合計約一億元に達し、天津市場流通紙幣の約八割五分を占めるに至り、(十年七月末八割)北支金融界に於ける中央系銀行の地歩は感々絕對的なものとなつて來た。然し冀東防共自治政府管下では中央銀行券は流通を禁止して居り、且つ管下の金融統制、産業開發の必要上中央銀行としての冀東銀行の設立を準備中で近く實現をみるものと期待されてゐる。また

冀察政權もこれら政府系銀行の勢力に對抗して、冀察政權の中央銀行としての機能發揮せしむべく、同行の内容強化を圖り、今春來獨自の立場に立つて兌換券を頻りに増設して來たが、冀察政權自體の脆弱性に出發する政治的原因から、冀察政權の計劃的操作が行はれる以前の狀態に比較して、單に十數倍の兌換券を發行したに過ぎず、金融界の絕對的支配權は依然として浙江財閥の手中にある。政府系三銀行の急激な進出と直接的な關係はないが外國銀行側の業務が著しい退縮の傾向を示してゐる。日本を除く外國銀行の發券高は昨年七月から約一箇年間に五割近くの激減をみせてゐる。これは支那の幣制改革に對するモラル・サポートの結果生じた準備銀の減少、一般的財界不況の影響就中冀東特殊貿易に壓倒された結果による自國貿易の減退等の諸原因に基因するものであるが歐米勢力の北支に於ける退潮の傾向を示す最も顯著な一例であらう。この間にあつて日本側の銀行は我が經濟工作の進展に伴つて感々重要性を加重して來たが、冀東貿易の進行に伴ふ副産物として北支金融界に新らしい問題が提起された。それは金圓券流通範圍擴大問題である。金圓券は日本銀行及び朝鮮銀行券を合して

從來三、四十萬圓程度は流通してゐるが、金勘定による冀東貿易の進展は天津に於ける金圓券流通高を著しく増加した。朝鮮銀行は滿洲國から退却、北支進出を企圖してゐる際として、此の傾向に乗つて金圓券流通範圍擴大を熱心に主張してゐるが、爲替管理法の適用不可能な北支に於て金圓券の多數流通はわが爲替管理上重大支障を來す惧ありとして有力な反對あり、結局此の問題は自然の推移のまま放置されてゐる。銀行の發達に伴つて銀號は感々衰退の一途を辿つてゐるが、天津の銀號も此の例に洩れず、殊に幣制改革後は金銀買賣の主要取引對象を失つたのと新式銀行が益々銀號の營業範圍内まで喰込んで來たため、實力薄弱な銀號は漸次淘汰されつゝある。現在天津にある銀號は大小合して約二百八十、このうち大、中銀號約七十が集まつて錢業公會を組織してゐるが資本金は最高三十萬元から五千元程度の小資本のものあり、銀號資本總額は大體六、七百萬圓と推算されてゐる。

天津に於ける支那銀行

Table listing banks in Tianjin and their capital amounts. Columns include bank name, location, and capital.

北支概観—金融

行名	資本	本店所在地	公積資本	拂込資本
天津銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
北平銀行	1,000,000	北平	100,000	100,000
中法銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
交通銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
大陸銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華北銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華南銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華東銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華西銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華南銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華北銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華東銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000
華西銀行	1,000,000	天津	100,000	100,000

天津に於ける外國銀行

行名	資本	本店所在地	公積資本	拂込資本
東方匯理銀行	100,000,000	上海	10,000,000	10,000,000
渣打銀行	100,000,000	上海	10,000,000	10,000,000
荷蘭銀行	100,000,000	上海	10,000,000	10,000,000
橫濱正金銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華比銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華僑銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華南銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華東銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華西銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華南銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華北銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華東銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華西銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000

四四二

行名	資本	本店所在地	公積資本	拂込資本
東方匯理銀行	100,000,000	上海	10,000,000	10,000,000
渣打銀行	100,000,000	上海	10,000,000	10,000,000
荷蘭銀行	100,000,000	上海	10,000,000	10,000,000
橫濱正金銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華比銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華僑銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華南銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華東銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華西銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華南銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華北銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華東銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000
華西銀行	100,000,000	天津	10,000,000	10,000,000

特殊金融機關

天津に於ける特殊金融機關として信託及び貯蓄會がある、信託會社として純粹に獨立經營してゐるものはないが新華信託儲蓄銀行が大體これに近いものであり、浙江興業、大陸、金城、興業、中南等の諸銀行は信託部を有してゐる。外國人側では佛人經營の義品放款公司、英人經營の先農公司等が信託業務を行つてゐる。貯蓄會では佛人經營の萬國儲蓄會、中法儲蓄會及び金城、大陸、興業、中南等四行の共同經營に係る四行儲蓄會等があるが財政部が儲蓄法を制定し、有獎儲蓄會を禁止し、結局中法儲蓄會は中央銀行信託部がこれを業務を引繼いだ。而してこれら特殊金融機關の投資對照は内債を含む證券が主要部分で、上海に於けるが如き土地投資は極めて不活潑で、義品、先農兩會社のほか最近に於て新華、明華の兩銀行が僅かに着手した程度である。

發行準備管理委員會天津分會管理の平津在銀高

項目	金額
天津在銀高	1,000,000,000
北平在銀高	1,000,000,000
合計	2,000,000,000

農業

支那は新疆、甘肅、青海、綏遠、察哈爾省等の邊疆を除く外は、到處よく開墾されてゐる。河北省、山東省、山西省其他の北支諸省は、從來中央政府が北京にあつた關係上、中央政府と近接してゐたため中央政府の庇護獎勵を受けることが厚く、歴代政府は保護獎勵して來たので、支那全土の中でも最も生産額豊富な優良農業省となつた。察哈爾及び綏遠は元來蒙古に屬し、清朝は滿洲族をこの地に封じ外藩として蒙古の南下侵略を防止したが、産業開發は全く放任して顧みなかつたので、牧畜は盛んであるが土地は開發されず今尙廣大な未耕の草

北支概観—農業

四四三

一 北支概観——鐵業

農家戸の平均家畜所有数量

省別	本年		前年	
	頭数	頭数	頭数	頭数
山東	1.0	1.0	1.0	1.0
山西	1.0	1.0	1.0	1.0
河北	1.0	1.0	1.0	1.0
察哈爾	1.0	1.0	1.0	1.0
綏遠	1.0	1.0	1.0	1.0
遼寧	1.0	1.0	1.0	1.0
吉林	1.0	1.0	1.0	1.0
奉天	1.0	1.0	1.0	1.0
熱河	1.0	1.0	1.0	1.0
察哈爾	1.0	1.0	1.0	1.0
綏遠	1.0	1.0	1.0	1.0
遼寧	1.0	1.0	1.0	1.0
吉林	1.0	1.0	1.0	1.0
奉天	1.0	1.0	1.0	1.0
熱河	1.0	1.0	1.0	1.0
合計	1.0	1.0	1.0	1.0

鐵業

支那の鐵業は、周時代より製鐵の行はれたことによつて見るも可成り古い歴史を有するが、多大の鐵産資源を有しながら開墾されずして近代に至つた。支那の資源に早くより着目した英佛諸國は、前清以來貿易及び交通事業の利権を獲得すると共に、各省に埋藏される鐵、石炭、アンチモン等の鐵山探掘権を獲得してその開發に着手したため、支那における鐵山の大部分は單

獨又は合辦の外人經營である。而して鐵産の分布を見るに金銀鐵は四川、雲南等の西南諸省に多く、鐵礦は湖北、江西省に石炭は南方諸省にも少くないが、最大埋藏量を有するものは山西省の、一、二七〇億噸を始めてとして河北、山東、河南等の北支諸省であり、現に採掘中の開闢、中原、瀋川炭礦等の大炭礦は何れも北支にあり、支那石炭産額の約八〇%はこれら諸省において産出されてゐる。更にこれら北支における主要炭礦の經營状態を見るに、支那における最大炭礦たる英支合辦の開闢炭礦はその鐵區が海港に近い關係から、運搬費少額のため原價極めて低く最も有利とされ、前清末開墾以來漸次設備を擴張して、一九三二年には未曾有の鐵安に集れて年間五百二十萬噸の大出炭を見たが、その後米國の鐵買上案の實施によつて鐵價暴落したため、支那國內工業は世界的生産増加の影響を受け、鋼産業者續出して消費量激減した反面、生産増加によつて餘剰を生せる各國は支那市場に對して旺んに投資したため、支那石炭市場は漸次下落し、從來上海その他南支那に牢固たる市場を有してゐた開闢炭礦の南支移出は四百萬噸を漸次低下、一九三四年は二七四萬噸、一九三五年には二〇〇萬噸程度に減じたと傳へられる程、不振を

石炭埋藏量

省別	一九三二年		一九三三年		一九三四年	
	億噸	億噸	億噸	億噸	億噸	億噸
山東	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
山西	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
河北	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
察哈爾	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
綏遠	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
遼寧	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
吉林	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
奉天	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
熱河	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
合計	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

石炭	中	一	無煙炭及有煙炭	同	交通不便
褐炭	中	二	有煙炭	同	同
泥炭	中	二	無煙炭	同	同
石油	中	二	有煙炭	同	同
煤油	中	二	無煙炭	同	同
鹽	中	二	有煙炭	同	同
鐵	中	二	無煙炭	同	同
銅	中	二	有煙炭	同	同
錫	中	二	無煙炭	同	同
鉛	中	二	有煙炭	同	同
鋅	中	二	無煙炭	同	同
錳	中	二	有煙炭	同	同
鉻	中	二	無煙炭	同	同
鎳	中	二	有煙炭	同	同
鈷	中	二	無煙炭	同	同
鉑	中	二	有煙炭	同	同
金	中	二	無煙炭	同	同
銀	中	二	有煙炭	同	同
水銀	中	二	無煙炭	同	同
硫磺	中	二	有煙炭	同	同
硝石	中	二	無煙炭	同	同
芒硝	中	二	有煙炭	同	同
重晶石	中	二	無煙炭	同	同
螢石	中	二	有煙炭	同	同
石墨	中	二	無煙炭	同	同
雲母	中	二	有煙炭	同	同
石棉	中	二	無煙炭	同	同
螢石	中	二	有煙炭	同	同
磷	中	二	無煙炭	同	同
鉀	中	二	有煙炭	同	同
鈉	中	二	無煙炭	同	同
鎂	中	二	有煙炭	同	同
鋁	中	二	無煙炭	同	同
錳	中	二	有煙炭	同	同
鉻	中	二	無煙炭	同	同
鎳	中	二	有煙炭	同	同
鈷	中	二	無煙炭	同	同
鉑	中	二	有煙炭	同	同
金	中	二	無煙炭	同	同
銀	中	二	有煙炭	同	同
水銀	中	二	無煙炭	同	同
硫磺	中	二	有煙炭	同	同
硝石	中	二	無煙炭	同	同
芒硝	中	二	有煙炭	同	同
重晶石	中	二	無煙炭	同	同
螢石	中	二	有煙炭	同	同
石墨	中	二	無煙炭	同	同
雲母	中	二	有煙炭	同	同
石棉	中	二	無煙炭	同	同

北支五省合計	青島	濟南	天津	北平	保定	石家莊	張家口	歸綏	綏遠	察哈爾	熱河	遼寧	吉林	黑龍江
10,000	5,000	3,000	2,000	1,500	1,000	800	600	400	300	200	150	100	80	60
...

工業

北支における工業は一言にして云へば見るべきものは種と云って差支へなく、工業製品は殆ど外國よりの輸入と中南支よりの移入に俟つてゐる。北支工業の中心たるべき紡績を例にとつても支那側資本經營によるものは悉くが封建的高利貸的イデオロギイによつて經營され、生産手段の擴大改善等は毫も顧られず目前の高率利潤追求に全力が傾けられたため萎微沈滞し、日本紡績資本の全面的進出を招來するの結果を生ずるに至つた。

紡績工業

北支の紡績は青島、天津、その他の三に區分される。まづ青島を見るに、青島は直接的な海上交通が開け在華日本紡績が早くより壓倒的優勢を持してをり他地方と甚しく事情を異にしてゐる。青島七工場の中唯一つ華新紡績公司（一九二二年設立、資本金二七〇萬元）のみが支那人經營である。

青島の紡績工場

工場名	リノ	ミユ	シロ	タカ	ヒメ	カネ	キヨ	フキ	トキ
設立年	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922
資本	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000

北支概観—工業

濟南の紡績工場

工場名	リノ	ミユ	シロ	タカ	ヒメ	カネ	キヨ	フキ	トキ
設立年	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922
資本	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000

天津の紡績工場

工場名	リノ	ミユ	シロ	タカ	ヒメ	カネ	キヨ	フキ	トキ
設立年	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922
資本	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000

従来の天津紡績工場

工場名	リノ	ミユ	シロ	タカ	ヒメ	カネ	キヨ	フキ	トキ
設立年	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922	1922
資本	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000

日本資本の進出 然るに我が北支工作の進展は一應北支における政治的安定を招來し日支經濟提携の機運が強く醸成されるに至つて、日本紡績資本が積極性を覺悟して勇敢に進出し始めた。その第一歩は東洋紡績で特別第四區に新工場（裕豐紡績）を建設中であり、第一次計畫五萬鐘は昭和十二年八月より操業開始の豫定で更に第三次第三次擴張によつて十萬鐘の増鐘計畫を有してゐる。讀いて紡績は休業中の裕元、華新兩紡績を買取し公大第六、公大第七廠とそれ／＼改稱伊藤忠の裕大紡も實成紡の委任經營を引受ける事となつた。支那紡績の買取は支那人株主の損害保障と多數労働者の失業防止といふ經濟提携の建前より行はれたものであつて、また同操業の非運にあつた恒源、北洋の二工場は支那紡績聯合會が直接經營をなす事となり、天津紡績工場は連成紡を除く六工場が悉く身賣りをする事となつた譯である。以上の他大日本紡績及び上海紡も天津進出を企圖してゐるが未だ具體化を見るに至らず、瀋陽紡の工場新設は既に決定されてゐる。

北支概観—工業

その他の地方の紡績 その他の地方における紡績工場は交通の不便と雑税賦課といふ關係障礙に圍繞され、且つ原料生産地である

所在地	設立時	資本
山西	1923年	1,000,000

その他の工業

その他の北支における主要工場左の如し

所在地	設立時	資本	工場
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司

り直ちに消費地である地方の工場は却つて都市工場よりも好成绩をあげてゐる。その主なるものは左の如し。

所在地	設立時	資本	工場
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司

四五四

所在地	設立時	資本	工場
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司

セメント工業

(新永成公司)河北省唐山にあり、資本八百八十萬元の支那最大工場で年産百六十萬噸
(濟南致成水泥公司)資本二百五十萬元、年産九萬噸
(西北洋灰廠)山西省にあり昨年三月操業開始、日産四百萬噸

染整料工業

所在地	設立時	資本	工場
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司

(一) 天津電業股份有限公司 本公司は天津市特別第一區の配電を行つてきた北電電業株式會社を現物投資として、天津市政府と興中公司との中日合辦會社として十一月八月創立されたもので、公稱資本八百萬元二分の一拂込、二萬キロワットの火力發電所建設を始め、河川水定額方面に水力發電所設計書を有してゐる。同社の事業目的として掲げられてゐるものは電燈電力の供給、天津特別市内電氣鐵道の經營、電氣機械器具の販賣又は買入、同種事業に對する投資助成、前各項に附帯する事業となつてをり投資會社の性質を有してゐるため今後の事業發展は頗る注目されてゐる。

支那に於ける鹽の販賣は極めて複雑なるもので、現在にて所謂新鹽法を以て、その改革が計畫なされつゝあるものであるが、その改革は牢固たる因習によつて極めて困難なるものとなつてゐる。河北省の狀態に就て云へば、鹽の販賣を獨占してゐる所謂鹽商は七戸あり、長蘆に産する鹽は河北・河南及び山西の一部を販賣區域即ち引岸とし、一縣に對して一定量の販賣をなしつゝあり、しかも鹽稅と云ふものは非常に高率で百斤十仙に對して鹽稅六仙に上り、その他また種々の名目で、鹽稅せられるので、非常に高價なるものとなり、隨つて鹽販賣

工業に對する日本の新投資

前述の日本紡績資本の大々的進出のほかに各種工業に對する日本資本の投資は漸々と進捗してゐる。その主要なるものを掲げれば左の如し。

所在地	設立時	資本	工場
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司
天津	1923年	1,000,000	成興粉粉公司

(二) 膠濟玻璃股份有限公司 資本金二百五十萬元、ベルギー資本によつて經營されてきた日本製品の輸出に關係されてきたが、加藤子に身賣りすることとなり、十一月九月同社の株式接受を終了し同社の經營は加藤子の子會社たる昌光硝子社が主として當る體である。會社の生産能力は板硝子年産六十萬枚。

中山工業天津工場 材料を内地より運搬して天津で新設備を製造するもの、目下新工場を建設中である。

水産

北支の漁業に關して中國經濟年鑑の古い統計以外に資料なく、この統計數字も極めて疑はしいものであるから之を省く。唯最近の渤海漁業は殆ど日本漁船によつて占め

北支概観—水産

北支概観—物價・生活費

或は土中のアルカリ性硝鹽の採取等種々なる社會問題を醸生せしめつつある。

北支の精鹽會社

久大精鹽公司 河北唐山 資本 千圓 營業許 可年次 一九一四年
山東精鹽公司 山東芝罘 資本 千圓 營業許 可年次 一九一九年
永通精鹽公司 河北唐山 資本 千圓 營業許 可年次 一九二一年
永通精鹽公司 山東青島 資本 千圓 營業許 可年次 一九三三年

長蘆鹽の對日輸出 支那の鹽は元來輸出を禁止されてゐるが、從來山東鹽のみは山東鹽附の際における協定によつて華鹽出口辦法を規定し、特に一箇年最高三億五千萬斤より最低一億斤の輸出が行はれ來つた。然るに河北省沿岸の長蘆鹽は年產約七十萬噸を前後してゐるが、二十五年來の滯貨七十五萬噸に達し、鹽田(鹽田業者)を始め一般農民(鹽田労働者の窮狀は極めて深刻なるものあり、我が北支文明化の努力はかかる方面にも向けられ、專賣局が既に本年度輸

華北卸賣物價指數表

Table with columns for year (1910-1929), category (Food, Textiles, etc.), and index value. Source: 天津南開大學經濟研究所編

物價・生活費

北支における物價の中心は天津、青島の二港である。理由は北支が南支よりの移入並に殊に最近激増せる冀東特殊貨品によつてその生活資料を供給されてゐるからである。二港が中心となるのはその經濟關係を以てせるためである。物價變動の大勢を窺ふに一九三一年(民國二十年)最高に達せる物價がその後の極度のデフレーションによつて一九二六年(民國十五年)の基準を遙かに

Table with columns for year (1910-1935), category (Food, Textiles, etc.), and index value. Source: 天津南開大學經濟研究所編

青島卸賣物價指數表

Table with columns for year (1910-1935), category (Food, Textiles, etc.), and index value. Source: 實業部編

天津労働者生活費指數表

Table with columns for year (1910-1935), category (Food, Clothing, etc.), and index value. Source: 天津南開大學經濟研究所編

北支概観—物價・生活費

北支鐵路—交通

Table with 5 columns: 年次, 收入, 支出, 純收入, 純支出. Rows for years 1925-1930.

交通

概説 北支那の交通は鐵道、國道、海運、水運、航空の五つに大別されるが、會つて數年前まで中央政府が北京にあつた關係上、鐵道は他のいづれの地方よりも最も早く開通し、現に運行中の北支、津浦、平漢、平綏、正太鐵道は總て北平を中心にして大部分外國資本を以て敷設されたが、民國以來打續いた内亂はこれら鐵道を軍略と軍需品輸送に使用し、しかも軍閥は運賃を引上げられるだけ引上げて私腹を肥やし、軌道や車輛の修理は打捨て、顧なかつたため、軌道も車輛も腐朽して使用に堪へぬもの續出し、一九三五年十月の鐵道部統計によれば全國鐵道總車數一、二二八輛中修繕のため工場に倒されてゐるものが三一五輛、總數の約二八%、貨車總數一四、六五六輛中同様に工場入りしてゐるものが一、二五八輛、總數の一七%といふ高率を示してゐる。而して前記の如くその營業收入は殆んど軍閥のために横奪され、毎年償還すべき外債元利の償還を怠つて來たため、北支諸鐵道の

Table with 5 columns: 年次, 收入, 支出, 純收入, 純支出. Rows for years 1925-1930.

みにもその負債總額は七億二千餘萬元の多額に上り國內經濟の萎靡不振は營業收入の減少となり、毎年各鐵道共百數十萬元乃至數百萬元の赤字を示してゐる。鐵道部は一兩年來銳意整頓に努めてゐるが、收支債ふ、城に達するには多額の資金を要し、財政の援助を俟つ外ない状態に陥つてゐる。公路(國道)は前清以來殆んど改修も新設も行はれなかつたが、國民政府成立以來蔣介石は軍隊を以つて公路敷設を行ひ、後には地方產業復興策の一として全國經委會をして全國公路の管理新設を統制せしめ、最近數年間に約八萬軒の開通を見、北支においでも河北、山西、山東等の北支諸省も亦軍隊を以つて或は地方民を徴發して修築に努めたため漸次公路網は完備しつつある。更に海運は秦皇島、天津、芝罘、青島等の海港を有する關係上、北支と國內各港及び日本歐米諸國間に汽船連絡を有するも、青島を除く外の各港は巨船を碇泊せしむるに足る施設を有しないのと、農産物以外には大量生産品がないので國內各港及び日本以外には定期航路なく、大部分は不定期の臨時入

北支鐵路—交通

Table with 5 columns: 年次, 收入, 支出, 純收入, 純支出. Rows for years 1925-1930.

湖船のみである。水運は會つて鐵道敷設を見なかつた前清時代には、唯一の長距離交通機關であつた關係上、北支と南支を繋ぐ大運河を始めとして、河北省内には白河、大清河、滹沱河、永定河等の河川があり、奥地と天津間の物資輸送に寄與してゐる。航空は漸やく數年前より米支合辦の中國航空会社の滬平線と、獨支合辦の歐亞航空会社の平魯線が、北平を終點として上海、青島、天津、北平間及び北平漢口間、北平西安間の旅客及び郵便物の輸送が行はれてゐるが、國內產業經濟の幼稚と不振は、なほこれら近代輸送機關を經濟化するまでに至らず、僅かに軍政界要人の邊疆往來の具に供されてゐるに過ぎない。總觀して最近の北支交通は國內經濟の衰退と資本の缺乏から、比較的資本と技術を要しない公路の修築が漸次發達しつつあること、山西省が經濟建設十年計畫によつて省内の蒲州と大同間の同蒲鐵道の敷設を急ぎ、その一部たる太原と蒲州間の開通を見てゐることが、大きな出來事と云ふ程度で建設を要する各種交通施設は總て今後に残され依然として沈滞を續けてゐる。

北支諸鐵道の負債額

Table showing debt amounts for various railways like 平漢, 津浦, 平綏, etc. Columns include 年次, 收入, 支出, etc.

最近正太鐵道營業收入內譯

Table showing operating income breakdown for the Zhengtai Railway, categorized by passenger, freight, and other services.

各鐵道車輛統計表

Table providing statistics on the number of locomotives and passenger cars across different railway lines.

諸鐵道營業里程

Table listing the operating mileage of various railways in the region.

北支鐵路—交通

北支鐵路—交通

膠濟鐵路營業

續(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Table with columns for year (年), quarter (次), revenue (收入), and expenditure (支出) for the Jiaozhou Railway from 1925 to 1934.

最近膠濟鐵路營業收入內譯

(單位千元)

Table showing the breakdown of revenue for the Jiaozhou Railway from 1925 to 1934, categorized by passenger (旅客), freight (貨物), and mail (郵便).

平漢鐵路營業成績

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Table with columns for year (年), quarter (次), revenue (收入), and expenditure (支出) for the Pinghan Railway from 1925 to 1934.

最近平漢鐵路營業收入內譯

(單位千元)

Table showing the breakdown of revenue for the Pinghan Railway from 1925 to 1934, categorized by passenger (旅客), freight (貨物), and mail (郵便).

津浦鐵路營業成績

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Table with columns for year (年), quarter (次), revenue (收入), and expenditure (支出) for the Tianjin-Peking Railway from 1925 to 1934.

最近津浦鐵路營業收入內譯

(單位千元)

Table showing the breakdown of revenue for the Tianjin-Peking Railway from 1925 to 1934, categorized by passenger (旅客), freight (貨物), and mail (郵便).

最近平漢鐵路營業收入內譯

(單位千元)

Table showing the breakdown of revenue for the Pinghan Railway from 1925 to 1934, categorized by passenger (旅客), freight (貨物), and mail (郵便).

北寧鐵路營業成績

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Table with columns for year (年), quarter (次), revenue (收入), and expenditure (支出) for the Beiping-Ningbo Railway from 1925 to 1934.

最近北寧鐵路營業收入內譯

(單位千元)

Table showing the breakdown of revenue for the Beiping-Ningbo Railway from 1925 to 1934, categorized by passenger (旅客), freight (貨物), and mail (郵便).

北支鐵路—交通

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Text describing the railway operations and revenue trends in the North China region, mentioning specific lines like the Beiping-Ningbo and Tianjin-Peking railways.

北支鐵路—交通

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Text describing the railway operations and revenue trends in the North China region, mentioning specific lines like the Beiping-Ningbo and Tianjin-Peking railways.

北支鐵路—交通

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Text describing the railway operations and revenue trends in the North China region, mentioning specific lines like the Beiping-Ningbo and Tianjin-Peking railways.

北支鐵路—交通

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Text describing the railway operations and revenue trends in the North China region, mentioning specific lines like the Beiping-Ningbo and Tianjin-Peking railways.

北支鐵路—交通

(單位千元)

(中國國有鐵路月刊に據る)

Text describing the railway operations and revenue trends in the North China region, mentioning specific lines like the Beiping-Ningbo and Tianjin-Peking railways.

北支鐵道—交通

月測量を開始、十月着工、二十四年五月軌條敷設を開始、八月一日臨時侯馬鎮間六〇軒の開通を見、以後専ら工事を急ぎ二十五一年一月一日全線開通した。

(三)支線
折騰線(折騰—鄭州五〇軒)及び平汾支線(平汾—汾陽三四・三軒)太原豫定線(太原—汾陽二〇軒)西山線(太原—白家莊一〇軒)津浦線—運茅豫定線(運城—茅津渡)

六〇軒)等の支線があり、右の内折騰線平汾支線、西山線、懷瓦鎮線は既に工事完成し開通済である。
北支五省内の交通計畫線
遼瀋鐵道沿線の遼瀋より山東省濟南に至るもの、山東省濟南より河北省滄州に至るもの、河北省滄州より察哈爾省張家口に至るもの、河北省張家口より同天津に至るもの。

北支六港出入船舶噸數 (一九三四年度)

港名	對外		對内	
	噸數	噸數	噸數	噸數
天津	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
漢口	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
青島	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
烟台	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
威海衛	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
龍口	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000

天津港入港船舶噸數別比較 (一九三五年六月中)

船種	噸數
汽船	1,100,000
帆船	1,100,000
駁船	1,100,000
其他	1,100,000

天津港入港船舶の出港比較 (一九三五年六月中)

船種	噸數
汽船	1,100,000
帆船	1,100,000
駁船	1,100,000
其他	1,100,000

公路里程統計表 (一九三五年十二月迄)

省	里程
山東	1,100,000
河北	1,100,000
察哈爾	1,100,000
遼寧	1,100,000
熱河	1,100,000
山西	1,100,000
河南	1,100,000
安徽	1,100,000
浙江	1,100,000
江西	1,100,000
湖北	1,100,000
湖南	1,100,000
四川	1,100,000
陝西	1,100,000
甘肅	1,100,000
寧夏	1,100,000
青海	1,100,000
新疆	1,100,000
合計	1,100,000

本線鐵路區分區統計表 (民國二十四年六月底現在)

區分	里程	車站	車輛
北支	1,100,000	1,100	1,100
平漢	1,100,000	1,100	1,100
津浦	1,100,000	1,100	1,100
石太	1,100,000	1,100	1,100
平綏	1,100,000	1,100	1,100
平張	1,100,000	1,100	1,100
平秦	1,100,000	1,100	1,100
平石	1,100,000	1,100	1,100
平石衡	1,100,000	1,100	1,100
平石衡石	1,100,000	1,100	1,100
平石衡石衡	1,100,000	1,100	1,100
合計	1,100,000	1,100	1,100

圖書借覽證

借覽人 所屬氏名	借出 昭和 昭和 昭和	年 年 年	月 月 月	日 日 日
著者名	分類	國番號	登番號	冊數
書名				

※注意 記入ノ文字ハ明瞭正確ニ指定欄ニ記載スベシ

東亞研究所

月測量を開始、十月着工、二十四年五月
軌條敷設を開始、八月一日臨汾侯馬間
六〇杆の開通を見、以後専ら工事

六〇杆)等の支線があり、右の内忻密線
平汾支線、西山線、煉瓦網線は既に工事

大連汽船 三三三三
和洋行 三三三三
三三三三

北支無線電機一覽表 (民國二十四年五月現在)

省名	地名	呼號	電瓦	電報	電報局	營業處	代辦處	合計
河北省	天津	XKE	50					50
		XKF	50					50
		XKG	50					50
		XKH	50					50
		XKI	50					50
		XKJ	50					50
		XKK	50					50
		XKL	50					50
		XKM	50					50
		XKN	50					50
		XKO	50					50
		XKP	50					50
		XKQ	50					50
		XKR	50					50
		XKS	50					50
		XKT	50					50
		XKU	50					50
		XKV	50					50
		XKW	50					50
		XKX	50					50
		XKY	50					50
		XKZ	50					50
察哈爾省	張家口	XKZ	10					10
綏遠省	歸綏	XKV	10					10
熱河省	承德	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10
	赤城	XKV	10					10
	宣化	XKV	10					10
	張家口	XKV	10					10
	歸綏	XKV	10					10

北支概観—教育

教育を實施してゐるが北平市が昭和十一年八月調査した所に據れば未就學兒童三萬五千四百九十三名に對し短期小學校は四百八十學級あるに過ぎず、學級の大増加を謀らぬ限り失學兒童を減少せしむることは不可能であると言はれてゐる。また同年九月十日南京政府行政院が内政部に諮達した所に依れば南京市の失學兒童は二萬餘人、全國では三萬以上に達するであらうと指摘し未就學兒童の體育衛生に關し適當な處置を講ずることを訓令してゐる。文化の中心である北平、南京において斯の如き多數の未就學兒童を有してゐるのであるからその他の省市の普通教育狀況は想像に難くなく國民政府の第二國民文盲退治政策も到底所期の目的を達せられさうにないが果して角中央、地方とも義務教育問題には大いに關心を持つて努力してゐることは認められる。

北支各省市義務教育費

(民國二十四年度單位元)

省市	義務教育費
北平	110,000
山東	100,000
山西	100,000
河北	100,000
察哈爾	100,000
綏遠	100,000
熱河	100,000
遼寧	100,000
吉林	100,000
黑龍江	100,000

初等教育

人口一千に對する就學兒童比較 (二十一年度)

省市	人口	就學兒童數	比較率
北平	2,000,000	100,000	5%
山東	1,500,000	75,000	5%
山西	1,200,000	60,000	5%
河北	1,000,000	50,000	5%
察哈爾	800,000	40,000	5%
綏遠	600,000	30,000	5%
熱河	500,000	25,000	5%
遼寧	400,000	20,000	5%
吉林	300,000	15,000	5%
黑龍江	200,000	10,000	5%

高等教育

北支の大專 (私立は省立、△印は)

省市	大專校名	校長	分科
北平	北平師範大學	徐誦	師範、文、法
北平	北平大學	徐誦	文、法
北平	北平農學院	徐誦	農、文、法
北平	北平醫學院	徐誦	醫、文、法
北平	北平工業學院	徐誦	工、文、法
北平	北平女子師範學院	徐誦	師範、文、法
北平	北平法政學院	徐誦	法政、文、法
北平	北平經濟學院	徐誦	經濟、文、法
北平	北平政治學院	徐誦	政治、文、法
北平	北平法律學院	徐誦	法律、文、法
北平	北平音樂學院	徐誦	音樂、文、法
北平	北平美術學院	徐誦	美術、文、法
北平	北平體育學院	徐誦	體育、文、法
北平	北平衛生學院	徐誦	衛生、文、法
北平	北平農業學院	徐誦	農業、文、法
北平	北平林業學院	徐誦	林業、文、法
北平	北平牧業學院	徐誦	牧業、文、法
北平	北平蠶桑學院	徐誦	蠶桑、文、法
北平	北平製鹽學院	徐誦	製鹽、文、法
北平	北平鑛業學院	徐誦	鑛業、文、法
北平	北平地質學院	徐誦	地質、文、法
北平	北平生物學院	徐誦	生物、文、法
北平	北平物理學院	徐誦	物理、文、法
北平	北平化學學院	徐誦	化學、文、法
北平	北平數學學院	徐誦	數學、文、法
北平	北平自然科學學院	徐誦	自然科學、文、法
北平	北平社會科學學院	徐誦	社會科學、文、法
北平	北平人文學院	徐誦	人文、文、法
北平	北平藝術學院	徐誦	藝術、文、法
北平	北平戲劇學院	徐誦	戲劇、文、法
北平	北平電影學院	徐誦	電影、文、法
北平	北平廣播學院	徐誦	廣播、文、法
北平	北平出版學院	徐誦	出版、文、法
北平	北平印刷學院	徐誦	印刷、文、法
北平	北平製紙學院	徐誦	製紙、文、法
北平	北平製糖學院	徐誦	製糖、文、法
北平	北平製茶學院	徐誦	製茶、文、法
北平	北平製藥學院	徐誦	製藥、文、法
北平	北平製酒學院	徐誦	製酒、文、法
北平	北平製油學院	徐誦	製油、文、法
北平	北平製鹽學院	徐誦	製鹽、文、法
北平	北平製糖學院	徐誦	製糖、文、法
北平	北平製茶學院	徐誦	製茶、文、法
北平	北平製藥學院	徐誦	製藥、文、法
北平	北平製酒學院	徐誦	製酒、文、法
北平	北平製油學院	徐誦	製油、文、法
北平	北平製鹽學院	徐誦	製鹽、文、法

北支の單科大學

(○印は省立、△印は私立、其他は國立)

校名	所在地	校長	分科
△唯仁大學	天津	李書田	文、教育
△中法大學	天津	李書田	文、教育
△南開大學	天津	張伯苓	文、教育
△齊魯大學	濟南	劉世傳	理、醫、文
○河北法政學院	保定	王景岐	法、政
○河北農學院	保定	王景岐	農、文
○中國學院	北平	江正廷	文、教育
△北平協和醫學院	北平	劉瑞恒	醫、文
△北平平民醫學院	北平	劉瑞恒	醫、文
△北平鐵路學院	北平	關麟徵	文、法
△天津工商學院	天津	關麟徵	文、法

北支の學術機關

名稱	所在地	代表者	內容
國立北平研究院	北平	李石曾	物理、化學、生物、地質、地質、地質
山東省立鄉村建設研究院	濟南	傅斯年	社會、政治、經濟、教育
山西省立理化實驗所	太原	王鍾文	物理、化學
北平物理學會	北平	胡先謙	物理
中國氣象學會	北平	李書田	氣象
中國農學會	北平	李書田	農業
中國地質學會	北平	李書田	地質
中國生物學會	北平	李書田	生物
中國物理學會	北平	李書田	物理
中國化學學會	北平	李書田	化學
中國醫學會	北平	李書田	醫學
中國教育學會	北平	李書田	教育
中國社會科學學會	北平	李書田	社會科學
中國自然科學學會	北平	李書田	自然科學
中國人文科學學會	北平	李書田	人文科學
中國藝術科學學會	北平	李書田	藝術科學
中國戲劇科學學會	北平	李書田	戲劇科學
中國電影科學學會	北平	李書田	電影科學
中國廣播科學學會	北平	李書田	廣播科學
中國出版科學學會	北平	李書田	出版科學
中國印刷科學學會	北平	李書田	印刷科學
中國製紙科學學會	北平	李書田	製紙科學
中國製糖科學學會	北平	李書田	製糖科學
中國製茶科學學會	北平	李書田	製茶科學
中國製藥科學學會	北平	李書田	製藥科學
中國製酒科學學會	北平	李書田	製酒科學
中國製油科學學會	北平	李書田	製油科學
中國製鹽科學學會	北平	李書田	製鹽科學

北支各省合作社(組合)數

(二十三年末現在、數字右側組合)

省市	合作社數	組合數
北平	1,200	1,200
山東	1,500	1,500
山西	1,000	1,000
河北	800	800
察哈爾	600	600
綏遠	400	400
熱河	300	300
遼寧	200	200
吉林	150	150
黑龍江	100	100

社會

最近の北支農村は對内的には封建的な官僚軍閥の苛徴課税と頻發する旱魃水災の爲に、又對外的には世界的農産物生産増加に因る投資及び外國爲替の昂騰などに壓迫される結果、農産物の輸出減退と市價低落となり、疲弊を通り越して崩壊状態に達してゐる。而ち全人口の八割以上を占むる農民の疲弊は購買力の減退となり、都市商工業者の破産閉業を招來し都市農村共に失業者は年毎に増加の一途を辿つてゐる。農村崩壊の際に驚いた國民政府を始め各省政府當局は前年來田賦(地租)の附加税及び農産物に課税してゐた諸種の地方税を廢止し、或は農村合作社組織を獎勵してゐるが、農村經濟機構の痛たる地主階級の擯取に對しては何等の制限も取締規程も制定してゐないので、農民の困窮は深刻化するのみである。

而して漸やく勃興しつつあつた都市の紡績業及び製粉、織寸、製革等の民族工業も

北支概観—社會